道路基盤地図情報（整備促進版）

製品仕様書
（案）

平成27年 5月

はじめに

国土交通省は，平成18年8月から直轄国道を対象に大縮尺道路地図である道路基盤地図情報の整備を開始している。また，高速道路各社も同様に道路基盤地図情報の整備を推進しており，一定の見通しがたってきた状況にある。この道路基盤地図情報は，道路管理の支援システムや走行支援サービス等への利用に期待されている。

道路基盤地図情報を道路管理業務で利用するためには，管理区間全線に亘る一定レベルの整備が前提となる。これを踏まえ，未整備区間の道路基盤地図情報を効率よく整備・更新する可能性や産学ニーズを探るため，平成 22～23 年度に道路基盤地図情報の試行提供を実施し，官民の各機関保有の地図等との親和性を確認した。また，道路基盤地図情報は走行支援サービス等の実現に資するとの報告を民間事業者から得た。

このような道路基盤地図情報の利用を実現するためには，より具体的に官民保有の技術を相互に提供し合い，大縮尺道路地図を整備・更新する手法を研究する必要がある。

そこで，平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月の 2ヵ年にて，「大縮尺道路地図の整備・更新に関する共同研究」を実施し，官民の各機関保有の地図，図面や計測アーカイブ（点群座標データ）等の既存資源を活用し，官民ニーズに応じた大縮尺道路地図を効率よく整備・更新する手法の確立に取り組んだ。本製品仕様書はこの共同研究の成果の一つである。

本製品仕様書の策定にあたっては，共同研究各社から様々な意見，協力を頂いた。以下に，共同研究に参画して頂いた民間企業・団体を記すとともに，ここに謝意と敬意を表す次第である。

【大縮尺道路地図の整備・更新に関する共同研究　参加企業・団体（五十音順）】
- アジア航測株式会社
- 株式会社インフォマティクス
- 株式会社ウエスコ
- 株式会社ゼンリン
- 一般財団法人道路管理センター
- 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
- 株式会社パスコ
- NTT空間情報株式会社

平成27年　5月

国土技術政策総合研究所　防災・メンテナンス基盤研究センター
メンテナンス情報基盤研究室

目次

1. 概覧 5

1.1 道路基盤地図情報（整備促進版）製品仕様書の目的 5
1.2 道路基盤地図情報の基本構造 7
1.3 引用規格 8
1.4 用語と定義 9
1.5 本製品仕様書における変更点の記載 12

2 適用範囲 13

3 データ製品識別 13

4 データ内容及び構造 14

4.1 応用スキーマクラス図 14
道路基盤地図情報応用スキーマ 14
道路基盤地図情報パッケージ 14
基本地物のためのパッケージ 15
道路基盤地物パッケージ 15
道路基本地物パッケージ 16
道路関連地物パッケージ 16
道路支持地物パッケージ 17
境界線パッケージ 17
拡張地物のためのパッケージ 18
道路基盤地物パッケージ：道路基盤地物.拡張サブパッケージ 18
道路基本地物パッケージ：道路基本地物.拡張サブパッケージ 19
道路関連地物パッケージ：道路関連地物.拡張サブパッケージ 20
道路支持地物パッケージ：道路支持地物.拡張サブパッケージ 21
境界線パッケージ：境界線.拡張サブパッケージ 21
管理者パッケージ 21
空間スキーマ 22
時間スキーマ 22
4.2 応用スキーマ文書 23
道路基盤地物パッケージ 23
道路基盤地図情報データ集合 23
道路基盤地物 23
道路地物 23
道路基本地物パッケージ 24
道路基本地物 24
道路中心線 24
測点 25
管理区域界 26
距離標 27
道路面地物 28
車道部 29
車道交差部 32
踏切道 36
軌道敷 37
島 38
路面電車停留所 39
歩道部 40
植栽 42
自転車駐車場 43
自動車駐車場 44

道路基本地物.拡張サブパッケージ 45
公共基準点 *45*
車線 *46*
すりつけ区間 *51*
中央帯 *52*
側帯 *53*
路肩 *54*
停車帯 *56*
待避所 *57*
乗合自動車停車所 *58*
非常駐車帯 *59*
副道 *60*
分離帯 *61*
交通島 *62*
自転車歩行者道 *63*
歩道 *64*
自転車道 *67*
植樹帯 *68*
植樹ます *70*
道路関連地物パッケージ 71
道路関連地物 *71*
路面標示 *71*
区画線 *74*
停止線 *75*
横断歩道 *76*
立体横断施設 *77*
横断歩道橋 *78*
地下横断歩道 *79*
建築物 *80*
橋脚 *81*
道路関連地物.拡張サブパッケージ 81
建造物 *81*
地下出入口 *83*
柵・壁 *83*
道路反射鏡 *86*
道路標識 *86*
道路情報管理施設 *88*
気象観測装置 *89*
災害検知器 *89*
道路情報板 *90*
計測器 *92*
伸縮計 *92*
変位計 *92*
土圧計 *92*
傾斜計 *92*
土壌水分計 *93*
光ファイバー *93*
視線誘導標 *94*
柱 *96*
交通信号機 *96*
照明施設 *97*
階段 *99*
通路 *99*
斜路 *100*
エスカレータ *101*
エレベータ *102*

料金徴収施設 ... *102*
融雪施設 ... *103*
道路元標・里程標 ... *104*
排水施設 ... *105*
集水ます ... *105*
排水溝 ... *106*
側溝 ... *107*
排水管 ... *109*
排水ポンプ ... *109*
収容施設 ... *110*
地下駐車場 ... *111*
共同溝 ... *111*
電線共同溝 ... *112*
CAB ... *113*
情報BOX ... *114*
管路 ... *115*
管理用地上施設 ... *116*
管理用開口部 ... *117*
停留所 ... *117*
消火栓 ... *118*
郵便ポスト ... *119*
電話ボックス ... *119*
輸送管 ... *120*
軌道 ... *121*
道路支持地物パッケージ ... 122
道路支持地物 ... *122*
法面 ... *122*
斜面対策工 ... *123*
擁壁 ... *126*
橋梁 ... *127*
トンネル ... *128*
ボックスカルバート ... *130*
シェッド ... *131*
シェルター ... *132*
道路支持地物.拡張サブパッケージ ... 133
空地 ... *133*
自然斜面 ... *133*
境界線パッケージ ... 134
境界 ... *134*
交点 ... *134*
境界線.拡張サブパッケージ ... 134
用地界 ... *134*
出入口 ... *135*
境界標識 ... *135*
管理者パッケージ ... 136
管理者 ... *136*
道路管理者 ... *136*
兼用相手先 ... *136*
占用物件管理者 ... *137*

5 参照系 ... 137

5.1 座標参照系 ... 137
5.2 時間参照系 ... 137

6 データ品質 ... 138

6.1 品質要求 ... 138

6.2 品質評価手順 141
7 データ製品配布 142
7.1 配布形式情報 142
7.2 版 142
7.3 言語 142
7.4 符号化仕様作成のためのタグ一覧 142
7.5 符号化仕様 147
7.6 ファイル単位 147
8 メタデータ 147

附属書

附属書1（参考） 道路標識，区画線及び道路標示一覧 附 1-1
附属書2（参考） UML表記法 附 2-1

1. 概覧

1.1 道路基盤地図情報(整備促進版)製品仕様書の目的

道路基盤地図情報（整備促進版）製品仕様書（案）（以下，「本製品仕様書」という）は，道路基盤地図情報の整備をより一層促進することを目的として，道路基盤地図情報製品仕様書（案）に定められる道路基盤地図情報のうち，既存資源で整備可能な地物を対象として製品仕様を定める。

道路基盤地図情報製品仕様書（案）は，道路管理者が実施する行政相談，特車管理業務，工事進捗管理，巡回業務等の道路管理業務の支援を実現する上で必要となる情報のうち，共用性の高いデータ（共通基盤）の構築を目的として，製品仕様を定めている。

道路基盤地図情報製品仕様書（案）では，地上測量や航空写真測量等による新規測量，あるいは道路台帳附図や道路工事完成図及び同等の品質を有する既成図の数値化を前提とした品質要求がなされており，電子地図や点群座標データ等の既存資源を活用した場合の品質要求が規定されていない。

本製品仕様書と道路基盤地図情報製品仕様書（案）との関係を図1に示す。図1は，製品仕様の品質要求レベルを縦軸に，整備対象とする地物数を横軸に示している。図1に示すとおり，道路基盤地図情報製品仕様書（案）は，地図情報レベル500又は1000により基本地物及び拡張地物の全てを整備対象としている。これに対して，本製品仕様書は，道路基盤地図情報製品仕様書（案）と比べ，既存資源から整備可能な地物のみを対象として地図情報レベル2500の品質要求を追加している。

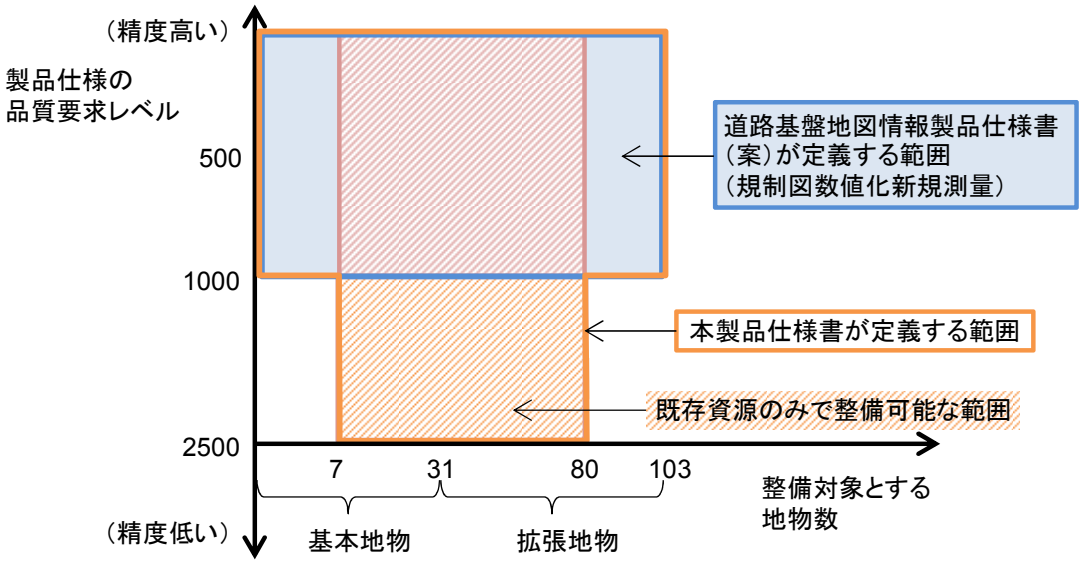


図1　本製品仕様書と道路基盤地図情報製品仕様書（案）との関係

利用する既存資源により異なるが，既存資源の活用により道路基盤地図情報のうち基本地物24地物，拡張地物49地物を整備できる。

表 1　既存資源により整備可能な地物

	整備可能な地物			
基本地物 （24地物）	道路中心線	車道部	車道交差部	踏切道
	距離標	歩道部	横断歩道橋	建築物
	軌道敷	擁壁	路面電車停留所	植栽
	島	区画線	停止線	横断歩道
	橋梁	トンネル	ボックスカルバート	法面
	シェッド	シェルター	斜面対策工	橋脚
拡張地物 （49地物）	車線	すりつけ区間	側帯	路肩
	乗合自動車停車所	非常駐車帯	副道	待避所
	中央帯	交通島	分離帯	歩道
	自転車歩行者道	自転車道	植樹帯	植樹ます
	建造物	地下出入口	交通信号機	軌道
	料金徴収施設	停留所	柵・壁	道路標識
	道路情報管理施設	道路情報板	照明施設	階段
	通路	斜路	エスカレータ	エレベータ
	道路元標・里程標	集水ます	排水溝	側溝
	管理用地上施設	管理用開口部	消火栓	郵便ポスト
	電話ボックス	輸送管	道路反射鏡	視線誘導標
	路面標示	自然斜面	柱	停車帯
	出入口			

1.2　道路基盤地図情報の基本構造

道路基盤地図情報の基本構造は，道路基盤地図情報製品仕様書（案）に従い，道路基本地物，道路関連地物，道路支持地物に区分する。

- 道路基本地物　：　道路面(連続面)を構成する地物等，道路の基本的な地物
- 道路関連地物　：　道路面又は道路構造物の上又は内部に設置する地物
- 道路支持地物　：　道路の構造を支持し，機能を保つために設置する地物

なお，道路基盤地図情報製品仕様書（案）にて示される基本構造と代表的な地物例を図2に示す。

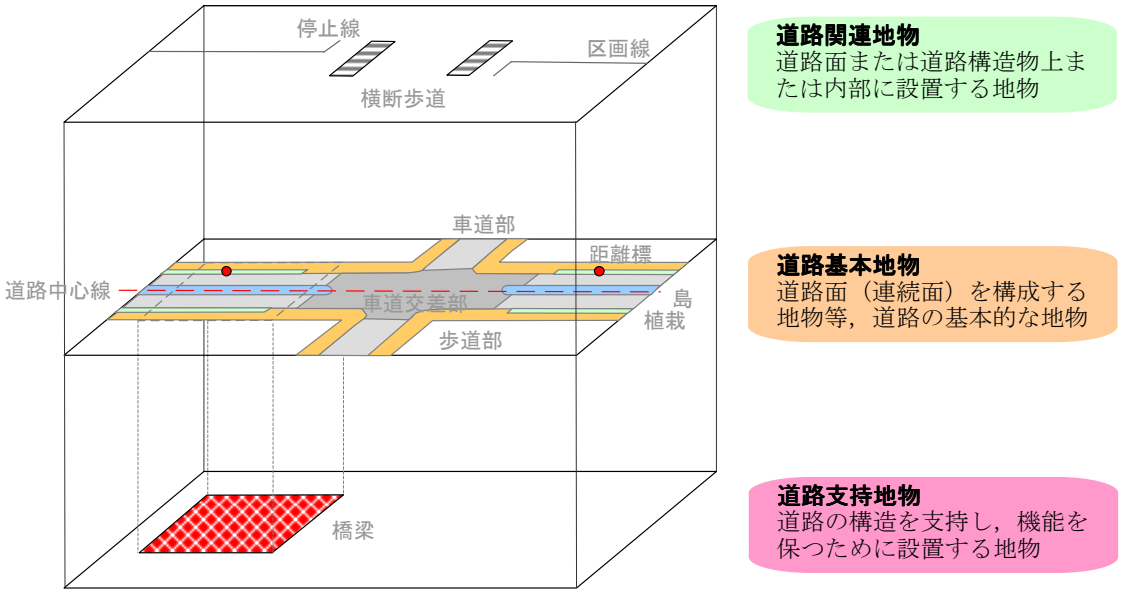


図2 道路基盤地図情報の基本構造と代表的な地物例

道路基盤地図情報の地物は，道路関連の法律，政令，通達で定義され，道路台帳及び道路台帳附図に記載があるもので，主に，道路区域内にある道路上に存在する施設と道路管理者が管理する地下埋設施設を対象としている。

また，対象地物のうち特に共用性が高く標準として作成するものを“基本地物”，その他を“拡張地物”に分類し，基本地物をベースに新たに地物を追加する場合の参考になるものとしている。

- 基本地物　：　特に共用性が高く，標準として作成する地物
- 拡張地物　：　基本地物をベースに新たに地物を追加する場合の参考になる地物
  （基本地物以外の地物）

1.3 引用規格

地理情報標準プロファイル(JPGIS)Ver.2.1
道路基盤地図情報製品仕様書(案)

法律
道路法，道路法施行令，道路法施行規則，道路構造令，道路構造令施行規則，道路交通法，高速自動車国道法，軌道法，踏切道改良促進法，共同溝の整備等に関する特別措置法，電線共同溝の整備等に関する特別措置法

省令
重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準，車道及び側帯の舗装の構造の基準に関する省令，道路標識，区画線及び道路標示に関する命令

通達
一般国道地点標の設置について，基準点の標識の道路占用について，道路法の施行に伴う踏切道の取扱について，軌道敷の修繕等の取扱いについて，道路に鉄道を交差させる場合の踏切道の道路占用の取扱いについて，駐車場設計・施工指針について，自動車駐車場の道路占用について，歩道における安全かつ円滑な通行の確保について，自転車道等の設計基準について，道路緑化技術基準の改正について，「道の駅」登録・案内要綱について，ベンチ及び上屋の道路占用の取扱いについて，アーケードの取扱について，地下鉄出入口案内の標識の取扱いについて，道路の上空に設ける通路の取扱等について，建築物の屋上部を連結する通路の取扱等について，防護柵の設置基準の改訂について，ガードレールの種別表示等について，道路標識設置基準の改訂について，道路情報表示装置の規格について，光ファイバーケーブルの敷設等に係る道路占用許可手続の簡素化について，電気通信設備の既設橋梁への占用の取扱いについて，光ファイバーケーブル等の橋梁への添架について，視線誘導標設置基準の改訂について，街燈の整備について，道路照明施設設置基準の改訂について，料金徴収施設設置基準（案）について，地上設置の光アクセス装置の道路占用の取扱いについて，照明式バス停留所標識（広告付）の道路占用について，バス停留所に設置される上屋に対する広告物の添加に係る道路占用の取扱いについて，消防水利の統一標識について，消火栓標識の適切な取扱いについて，郵便差出箱への周知板の取付について，公衆電話ボックス内に設置されるテレホンカード自動販売機の道路占用について，公衆電話ボックス内に設置されるICテレホンカード自動販売機の道路占用について，石油圧送施設の道路占用について，高圧のガスの供給施設の道路占用の取扱いについて，キャブシステム研究委員会報告，電線類地中化推進検討会議報告，橋，高架の道路等の技術基準について，道路トンネル技術基準（一部改正）について，落石覆工設置箇所の緊急点検について

参考資料
国土交通省公共測量作業規程，土木製図基準，道路構造令の解説と運用，立体横断施設技術基準・同解説，道路反射鏡設置指針，車両用防護柵標準仕様・同解説，路上自転車・自動二輪車等駐車場設置指針・同解説，道路橋示方書・同解説，道路土工-排水工指針，道路土工-のり面工・斜面安定工指針，道路土工-擁壁工指針，道路土工-カルバート工指針，共同溝設計指針，道路防雪便覧，落石対策便覧，改訂 交通信号の手引，改訂 路面標示設置の手引，電線共同溝試行案，プレキャストコンクリート共同溝設計・施工要領，道路トンネル点検・補修の手引き，技術マニュアル（案）解説キャブシステム，道路用語辞典，道路緑化技術基準・同解説，平面交差の計画と設計基礎編

1.4　用語と定義

インスタンス
　クラスを実現するオブジェクト。
　参考文献：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1 附属書5（規定）　定義

縁石線
　歩道や分離帯と車道との境界に，ある目的をもって縁石を連続的に配置し，物理的に境界を定める場合に，この連続的な縁石配置によって構成される境界。

応用スキーマ
　１つ又は複数の応用システムによって要求されるデータのための概念スキーマ。
　参考文献：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1 附属書5（規定）　定義

オブジェクト
　状態と振る舞いをカプセル化した，矛盾なく定義される境界と識別子をもつ実体。
　参考文献：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1 附属書5（規定）　定義

拡張地物
　基本地物をベースに新たに地物を追加する場合の参考になる地物（基本地物以外の地物）。
　出典：国土交通省国土技術政策総合研究所：道路基盤地図情報製品仕様書（案）,P3,2012.3
　道路基盤地図情報のうち，基本地物以外の72地物を「拡張地物」という。例えば，車線，路肩，非常駐車帯，交通信号機，道路標識等を指す。

管理者パッケージ
　地物の管理者の集合。

既成図数値化
　道路台帳附図等の既存図面やデータから道路基盤地図情報を作成する方法。
　出典：国土交通省国土技術政策総合研究所：道路基盤地図情報製品仕様書
　（案）,P141,2012.3

既存資源
　国・地方公共団体・民間企業等により作成された図面やデータで，道路基盤地図情報に定義された地物又はその属性を取得することが可能，あるいは加工により取得することが可能な資料。

基本地物
　特に共用性が高く，標準として作成する地物。
　出典：国土交通省国土技術政策総合研究所：道路基盤地図情報製品仕様書（案）,P3,2012.3

　道路基盤地図情報は，道路行政で用いる空間データ（位置，形状，範囲を持つ地物）のうち共用性の高いデータとして，103地物を定義している。このうち，特に共用性が高く，標準として整備する31地物が「基本地物」と定められている。「基本地物」とは，距離標，測点，道路中心線，管理区域界，車道部，島，路面電車停留所，歩道部，植栽，自動車駐車場，自転車駐車場，車道交差部，踏切道，軌道敷，区画線，停止線，横断歩道，横断歩道橋，地下横断歩道，建築物，橋脚，法面，斜面対策工，擁壁，橋梁，トンネル，ボックスカルバート，シェッド，シェルター，境界及び交点を指す。

境界線パッケージ
　地物を構成する境界の集合。

クラス
同じ属性，操作，メソッド，関係及び意味を共有するオブジェクトの集合の記述。
参考文献：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1 附属書5（規定） 定義

座標参照系
原子により地球に関連づけられた座標系。
参考文献：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1 附属書5（規定） 定義

製品仕様
論議領域の記述，及び論議領域をデータ集合へ写像するための仕様。
参考文献：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1 附属書3（規定） 品質 に記述された品質の要求，評価及び報告のための規則 Ver.1.0 3.定義

地物
現実世界の現象の抽象概念。
出典：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver2.1 付属書3（規定） 定義
本製品仕様書では，距離標や道路中心線等を示す。

抽象クラス
直接インスタンスが生成できないクラス。
参考文献：UML Notation Guide(OMG-Unified Modeling Language,v1.4)

データ集合
他と識別可能な，データの集合。
参考文献：地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1 附属書5（規定） 定義

点群座標データ等
車両に搭載したレーザ計測装置及びカメラ等によって取得された，道路及び周辺の地物の表面形状を計測した測地座標付けされた点群座標及び撮影画像。

電子地図
図面又はデジタルオルソ画像等からマップデジタイズ等により取得された位置精度を有した地図情報。ベクトル・ラスター形式のデータ（デジタルオルソ画像を含む）及びそれらに関連付けられた属性情報。

道路関連地物
安全・円滑な通行の確保や道路管理のために必要な施設，又は公共的機能を有するため，道路管理者の許可を受けて道路を占用する施設で，道路又は道路に接して設置される地物の抽象クラス。

道路関連地物パッケージ
道路関連地物の集合。

道路基盤地図情報
道路管理者がサービスを実現する上で必要となる情報のうち，共用性の高い情報。
出典：国土交通省国土技術政策総合研究所：道路基盤地図情報製品仕様書（案）,P4,2012.3
道路行政で用いる空間データ（位置，形状，範囲を持つ地物）のうち，車両や歩行者への各種サービスを実現する上で必要となる共用性の高いデータ（共通基盤）であり，地理情報標準プロファイル（JPGIS）に準拠し作成される。GIS等のシステムにおける大縮尺系の道路地図情報として，各種データと重ね合わせて利用することが可能となる。

道路基盤地図情報（整備促進版）
道路基盤地図情報の整備を促進することを主目的として，本製品仕様書に準拠して整備された道路基盤地図情報。

道路基盤地図情報パッケージ
　道路基盤地図情報の応用スキーマ。

道路基盤地物
　道路基盤地図情報を構成する地物のうち，道路基本地物，道路関連地物，道路支持地物，
　の抽象クラス。

道路基盤地物パッケージ
　道路基盤地物の集合。

道路基本地物
　道路を構成する基本的な地物の抽象クラス。

道路基本地物パッケージ
　道路基本地物の集合。

道路支持地物
　道路基本地物がその機能を果たすために必要となる地物の抽象クラス。

道路支持地物パッケージ
　道路支持地物の集合。

道路面地物
　道路の表面を連続的に表現するために必要な地物の抽象クラス。

パッケージ
　要素をグループ化するための機構。
　参考文献：UML Notation Guide(OMG-Unified Modeling Language,v1.4)

1.5　本製品仕様書における変更点の記載

本製品仕様書では，道路基盤地図情報の整備促進を目的として，道路基盤地図情報製品仕様書(案)における地物定義を逸脱しない範囲で，一部見直しを行っている。以下に，道路基盤地図情報製品仕様書(案)からの変更点を示す。

1. 地物間の関連を整備対象としない。
2. 他の地物との関連を用いてその形状(空間属性)を表現している地物は，関連がなくてもその形状を表現できるように取得基準を見直す。
3. 関連のみで構成される地物は，整備対象外とする。
4. 複数の空間属性の取得基準が存在する場合は，一つに統一する。

変更を加えた地物を表 2から表 4に示す。なお，変更を加えた地物は，全て拡張地物である。

表 2　空間属性の取得基準を変更した地物

取得基準を変更した地物	道路基盤地図情報製品仕様書(案)における定義	変更の内容
中央帯	側帯・分離帯を除く中央帯の領域を取得する。	側帯・分離帯を含む中央帯の領域を取得する。
路肩	側帯を除く路肩の領域を取得する。	側帯を含む路肩の領域を取得する。

表 3　整備対象外とした地物

整備対象外とした地物	備考
路線	路線ごとにファイルを分けるため，路線に含まれる地物の把握は可能となる。
道路地物集合施設	道路地物の集合として表現される施設であるため対象外とする。
立体横断施設	「横断歩道橋」又は「地下横断歩道」として取得するとともに，構成要素となる「階段」や「通路」等を取得する。

表 4　取得基準を統一した地物

取得基準を統一した地物	道路基盤地図情報製品仕様書(案)における定義	統一した内容
交通信号機	交通信号機専用柱の場合は，専用柱の中心位置を「交通信号機」として取得し，専用柱以外の場合は，交通信号機の灯器を「交通信号機」として取得し，柱は「柱」や「照明施設」など別の地物として取得する。	専用柱か否かに係らず，交通信号機の灯器を「交通信号機」として取得し，柱は「柱」として取得する。
照明施設	照明施設専用柱の場合は，専用柱の中心位置を「証明施設」として取得し，専用柱以外の場合は，照明施設の灯器を「照明施設」として取得し，柱は「柱」や「交通信号機」など別の地物として取得する。	専用柱か否かに係らず，照明施設の灯器を「照明施設」として取得し，柱は「柱」として取得する。

2　適用範囲

■ 空間的範囲　：　作成するデータの空間的範囲は，特記仕様書に従うものとする。

■ 時間的範囲　：　作成するデータの時間的範囲は，特記仕様書に従うものとする。

注記　空間的範囲について，以下の事項に留意する。
1．立体交差や高架道路の下層部の地物，横断歩道橋の下部に存在する地物も取得する
2．管理区域内に含まれる地物を取得する

3　データ製品識別

■ 空間データ製品仕様書の題名　：　道路基盤地図情報（整備促進版）製品仕様書（案）

■ 発行日　：　平成27年3月

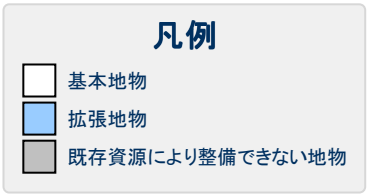
■ 問い合わせ先　：　国土交通省国土技術政策総合研究所

4　データ内容及び構造

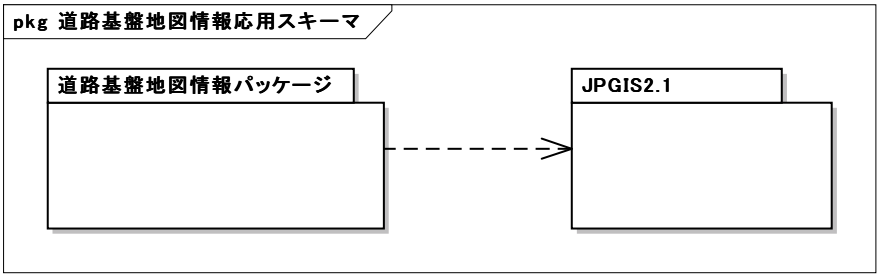
データ内容及び構造は，「道路基盤地図情報製品仕様書（案） 第4章データ内容及び構造」に原則として従うが，整備促進を目的として，関連を整備対象外とするとともに，空間属性の取得基準の統一，例図の追加及び属性定義域の拡張を行っている。

4.1　応用スキーマクラス図

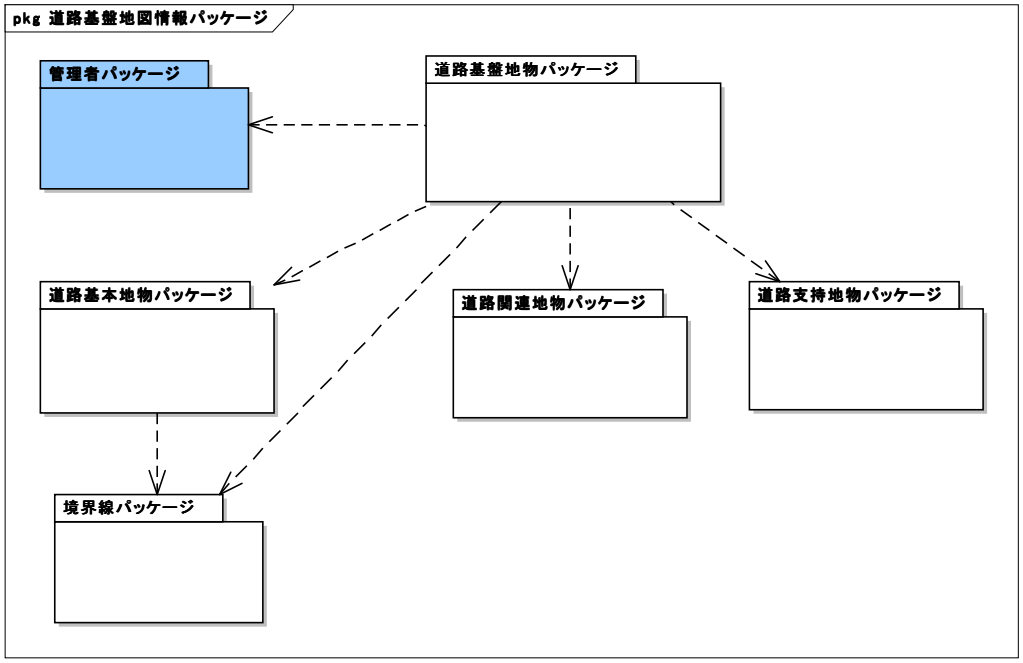
応用スキーマのUMLパッケージ図及びUMLクラス図を以下に示す。



道路基盤地図情報応用スキーマ

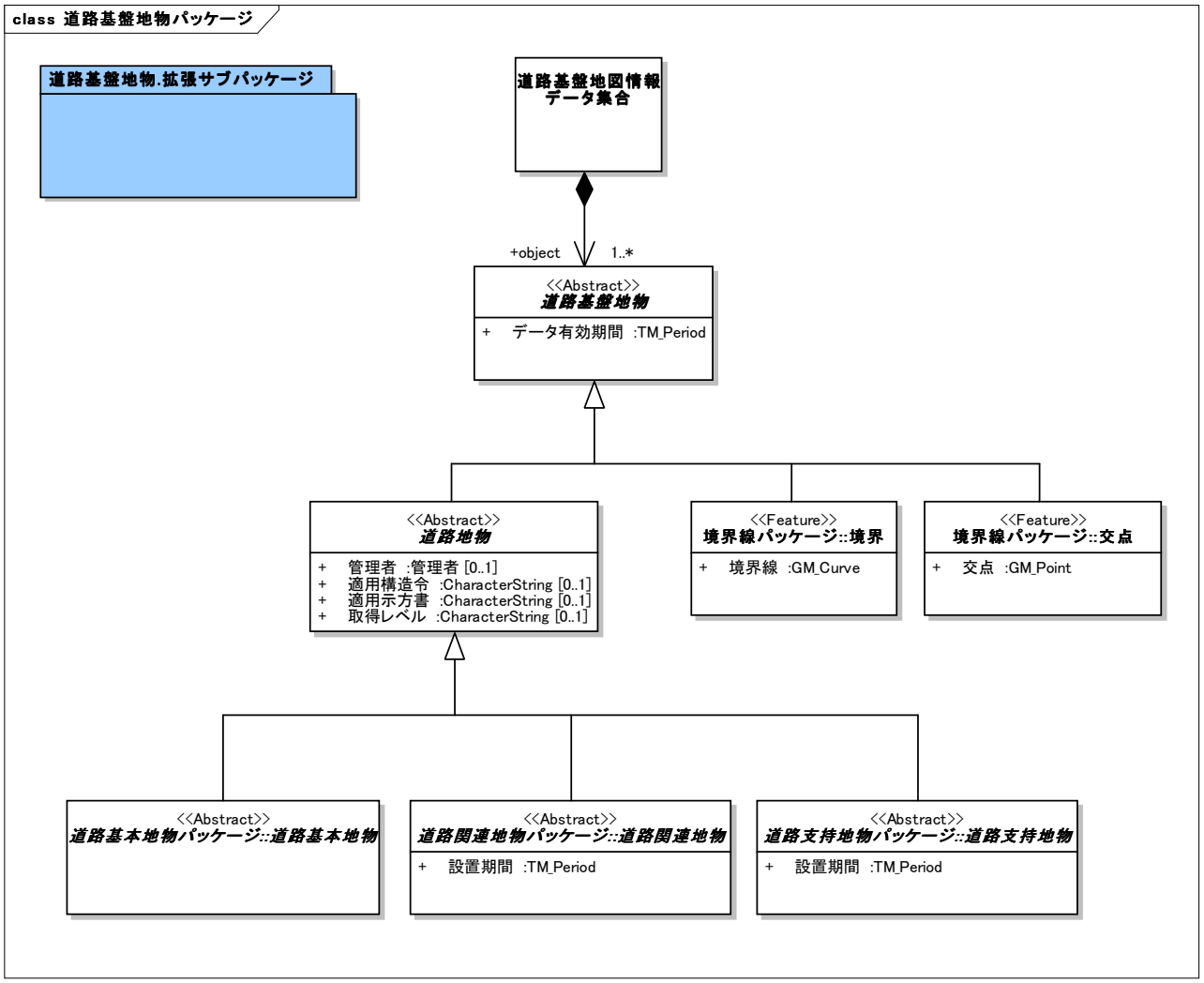


道路基盤地図情報パッケージ

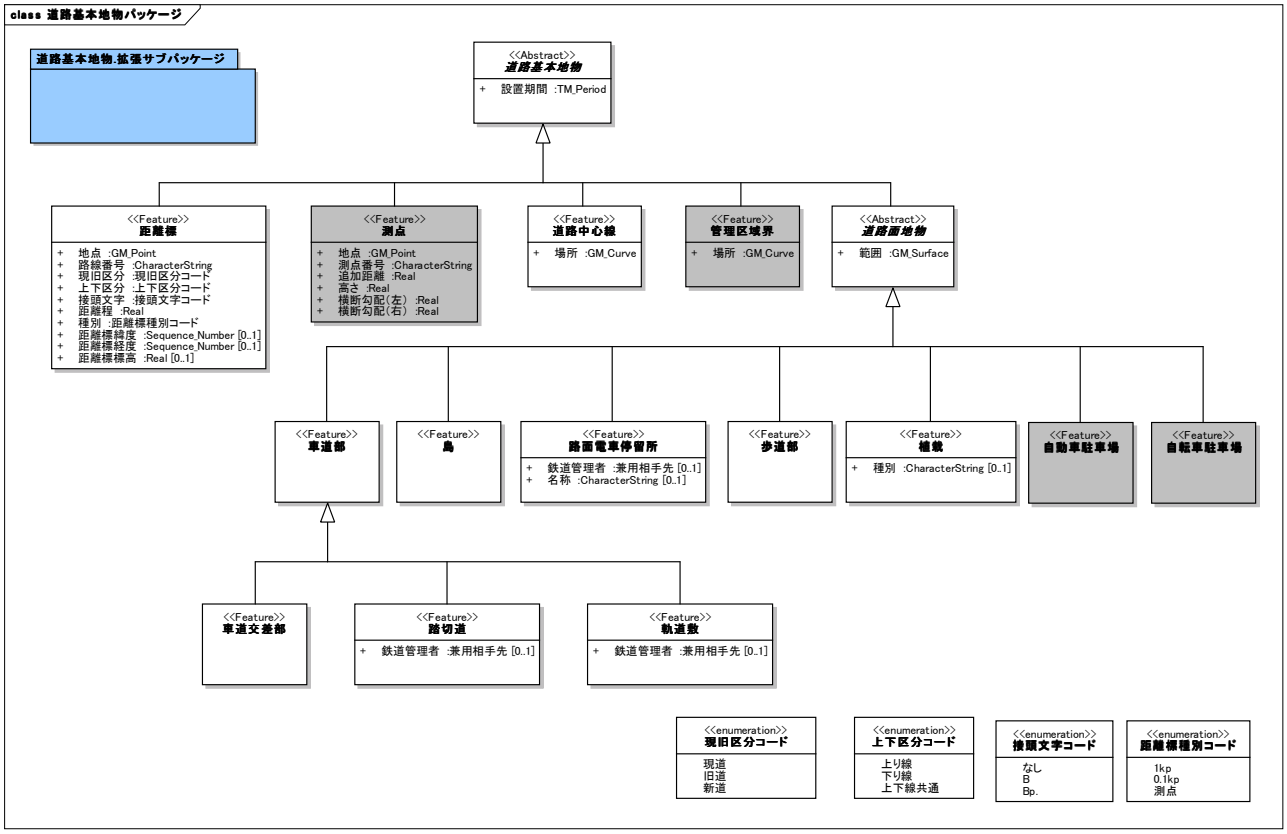


基本地物のためのパッケージ

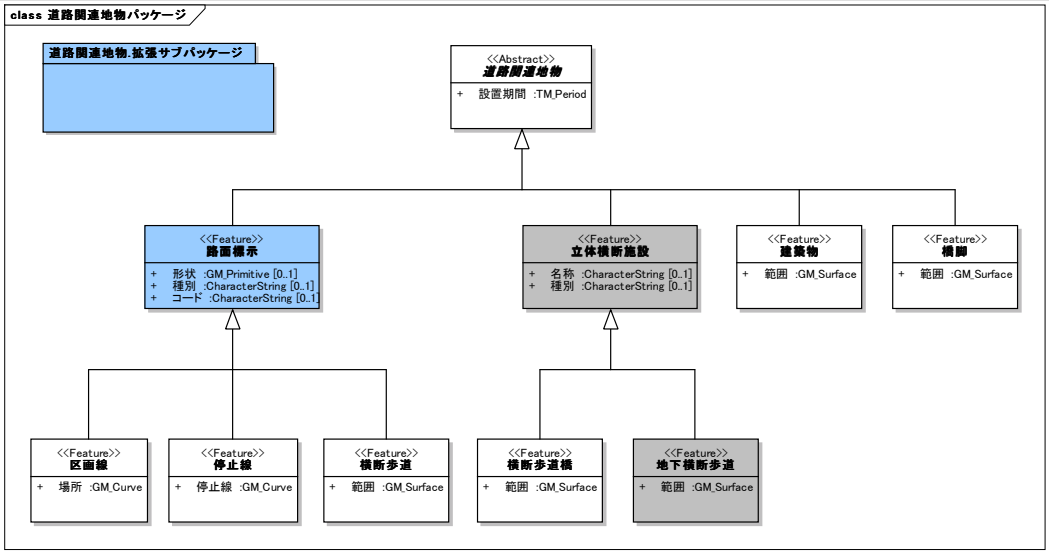
道路基盤地物パッケージ



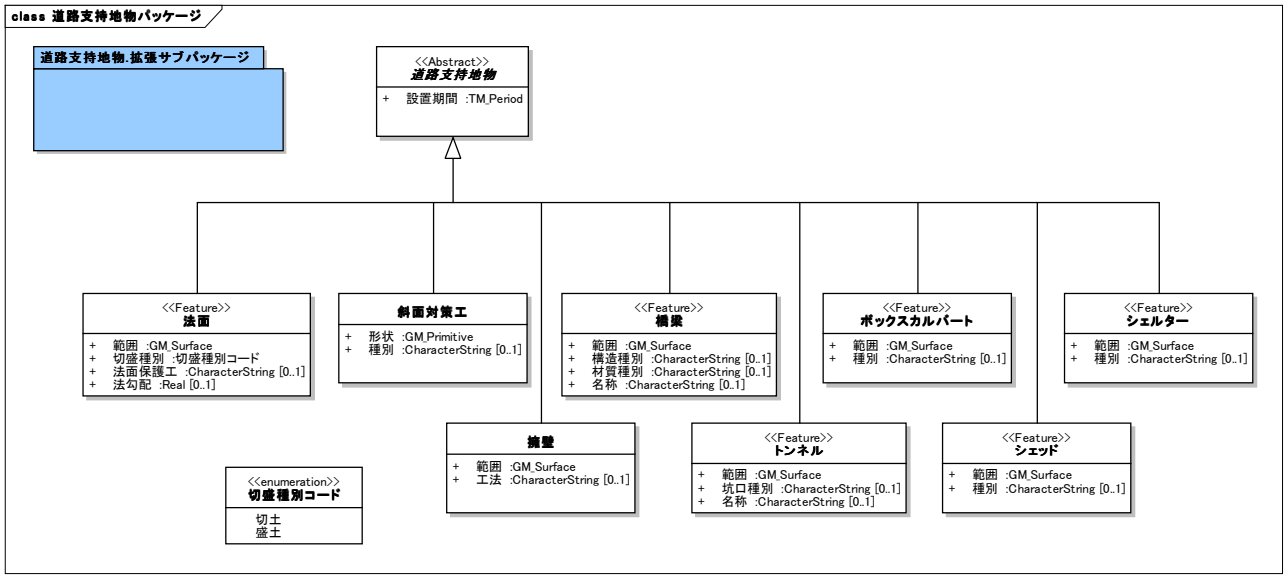
道路基本地物パッケージ



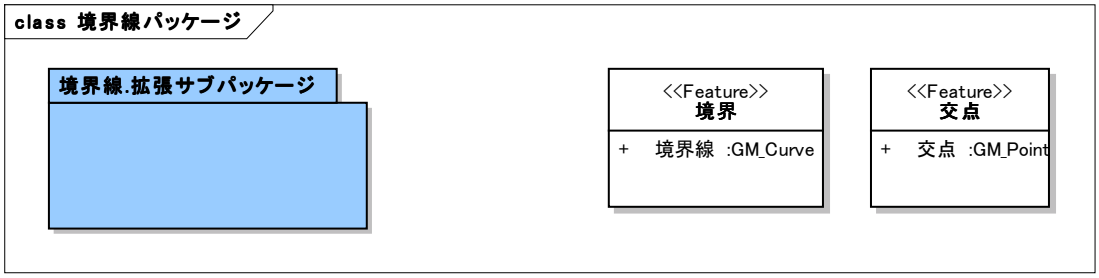
道路関連地物パッケージ



道路支持地物パッケージ

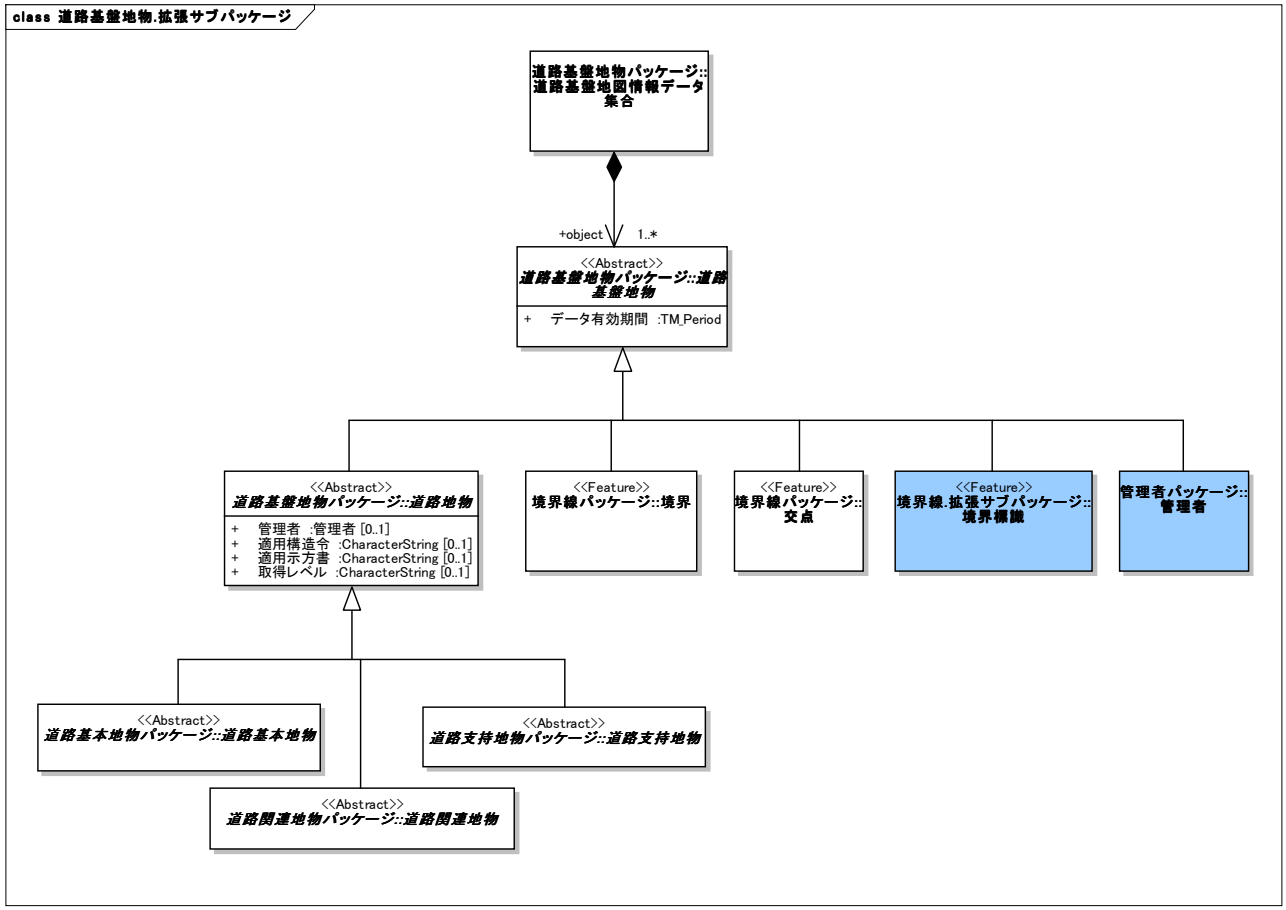


境界線パッケージ

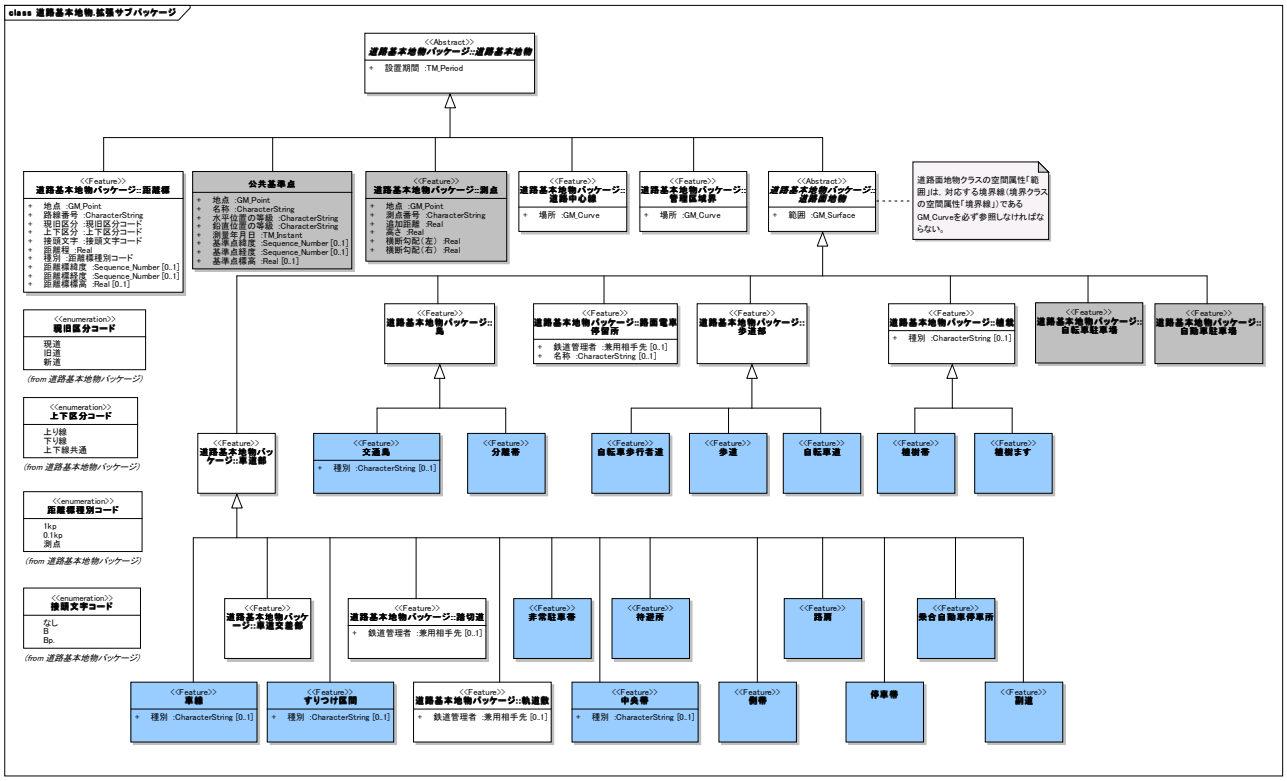


拡張地物のためのパッケージ

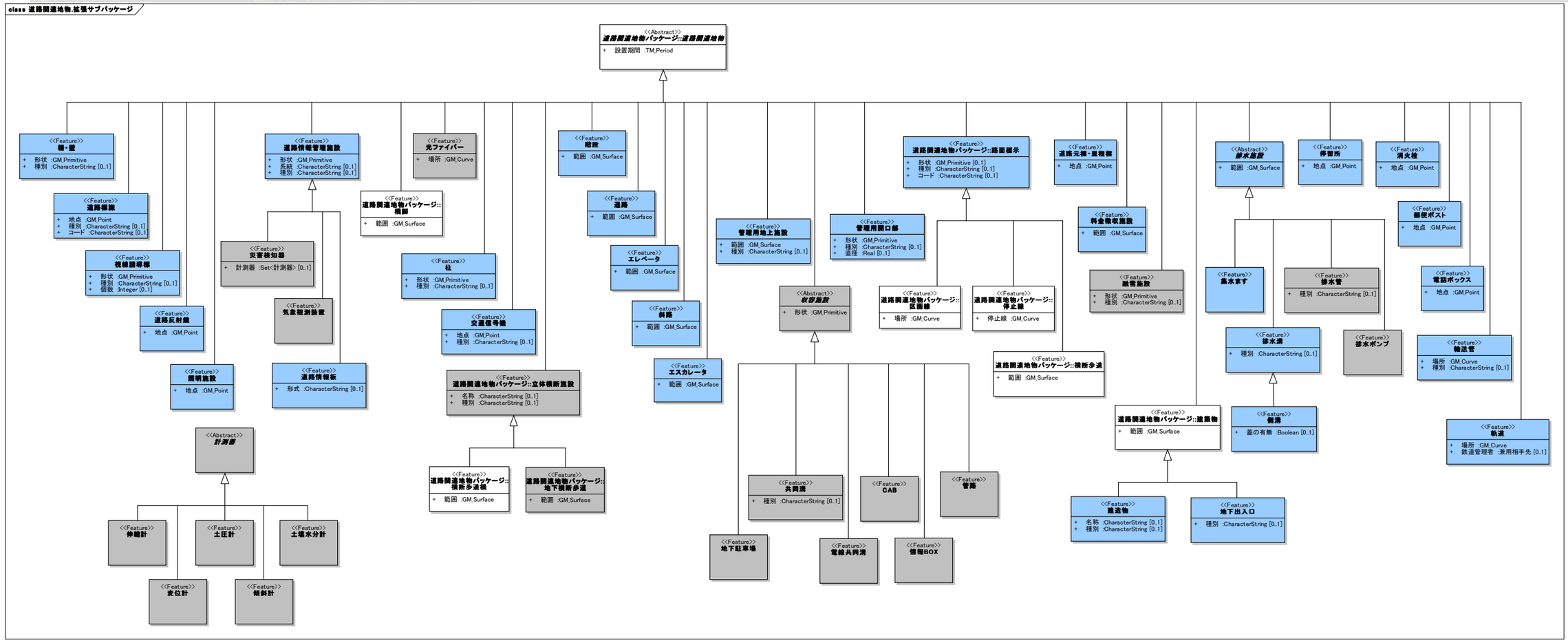
道路基盤地物パッケージ：道路基盤地物.拡張サブパッケージ



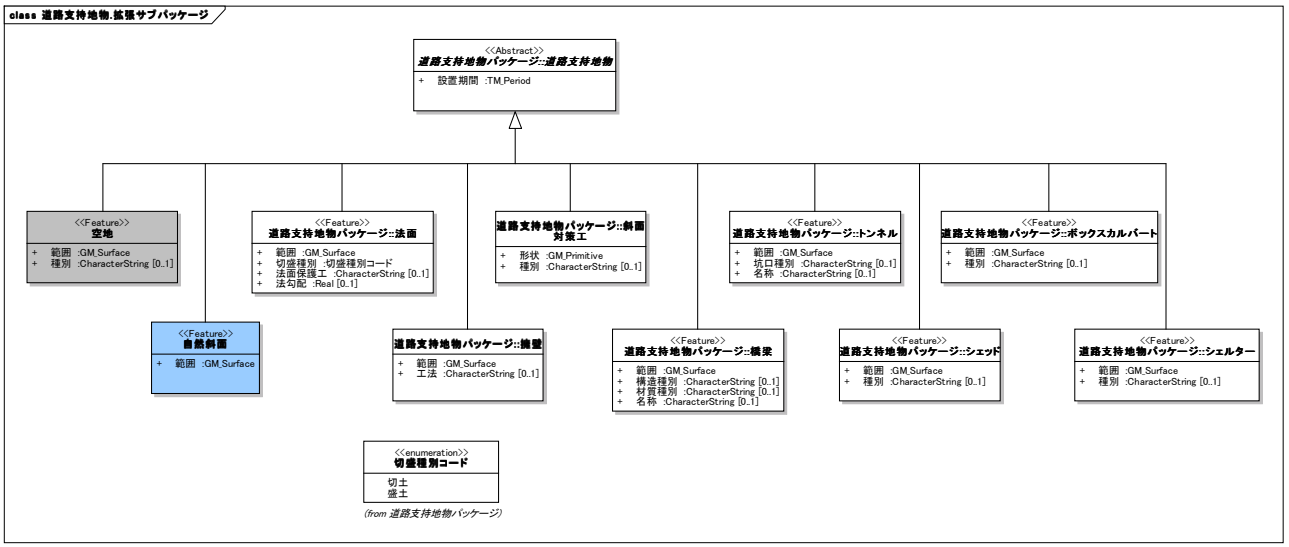
道路基本地物パッケージ：道路基本地物.拡張サブパッケージ



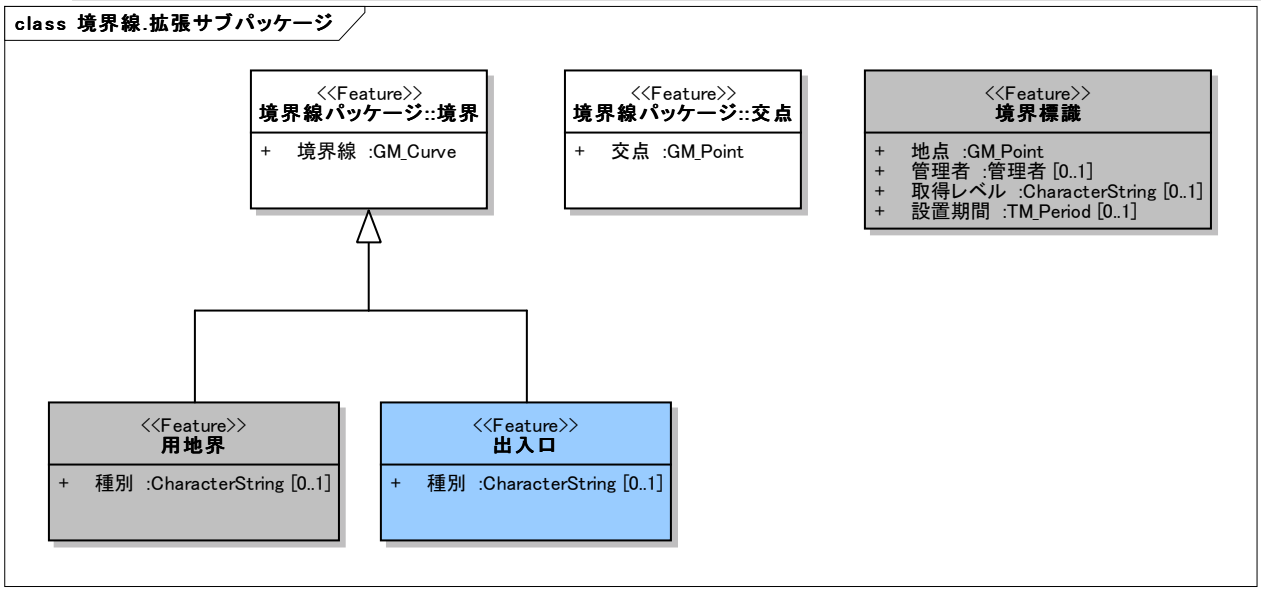
道路関連地物パッケージ：道路関連地物.拡張サブパッケージ



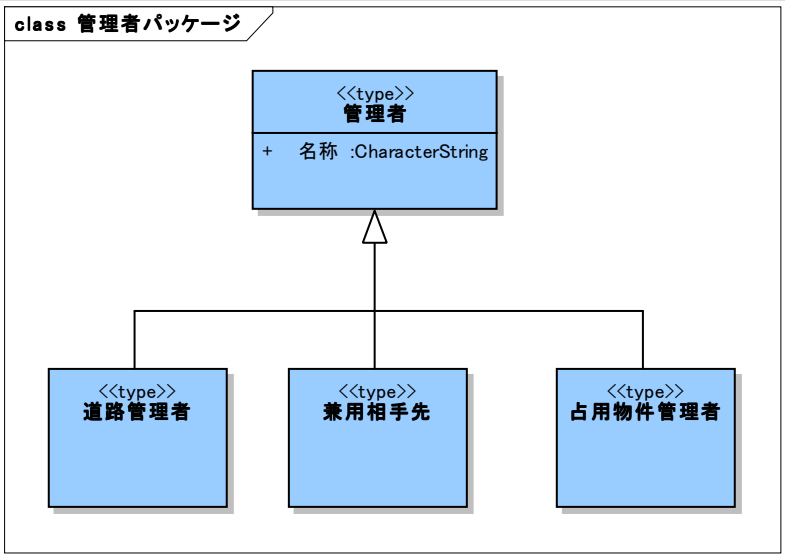
道路支持地物パッケージ：道路支持地物.拡張サブパッケージ



境界線パッケージ：境界線.拡張サブパッケージ



管理者パッケージ



空間スキーマ

地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1を採用する。

時間スキーマ

地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1を採用する。

4.2　応用スキーマ文書

応用スキーマに含まれる地物クラスの定義を以下に示す。
ただし，属性に「種別」又は「コード」を持つ地物で，定義域にない施設が存在する場合には，属性値を“その他”として取得する，若しくは，発注者と協議の上，定義域を拡張する。
定義域のいずれに該当するか不明な施設が存在する場合には，次のとおり属性値を取得する。
・文字型：「不明」と入力する。
・数値型：「9999」を入力する。

道路基盤地物パッケージ

道路基盤地図情報データ集合

道路基盤地図情報を構成する地物のデータ集合。

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

関連役割　：

object [1..n]：道路基盤地物
データ集合の要素である地物への関連（関連相手先　道路基盤地物パッケージ::道路基盤地物の下位クラス）

道路基盤地物

道路基盤地図情報を構成する全ての地物の抽象クラス。

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

道路地物

道路基盤地図情報を構成する地物のうち，道路基本地物，道路関連地物，道路支持地物，道路地物集合施設の抽象クラス。

上位クラス　：　道路基盤地物

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1]：管理者
適用構造令[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，及びには「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

道路基本地物パッケージ

道路基本地物

道路を構成する基本的な地物の抽象クラス。

上位クラス　：　道路地物

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

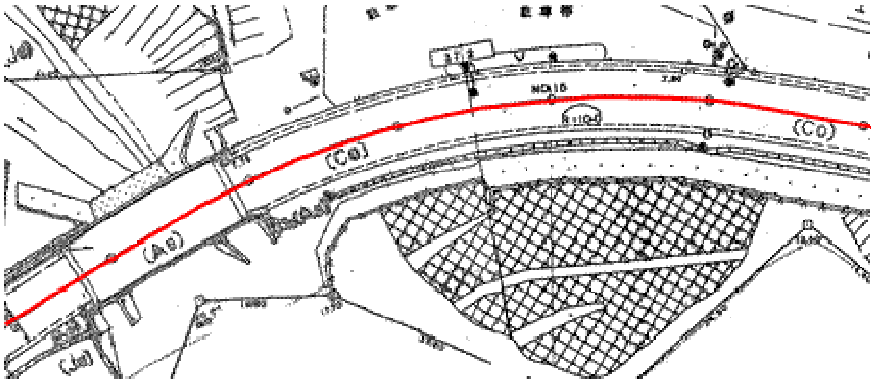
設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

道路中心線

道路の設計段階等で用いられる中心線。

【取得根拠】
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程第5編第2章第4節(中心線)
・土木製図基準



上位クラス　：　道路基本地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

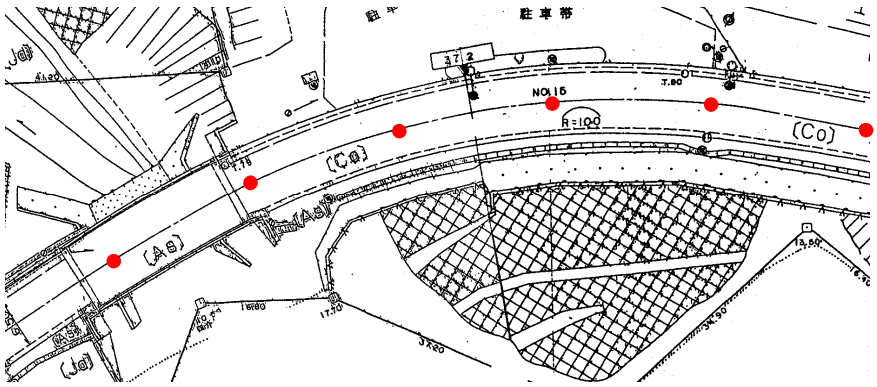
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

場所 : GM_Curve
道路の設計段階等で用いられる中心線の位置を線で取得する。既に管理段階におかれ，設計段階の中心線位置が不明である場合は，現存する道路の中央帯の中心，一方向道路又は往復分離されていない道路においては車道部の中心を表す線を取得する。

測点

道路の設計段階等で用いられる中心線上に，一定の間隔で配置される点。

【取得根拠】
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程第5編第2章第4節(中心点)
・土木製図基準



上位クラス　：　道路基本地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point

道路の設計段階等で用いられる測点の中心位置を取得する。設計段階の測点位置が不明である場合は，協議を行うものとする。

測点番号: CharacterString

測点毎に付与される番号。完成平面図，完成縦断図に記載された測点番号の値を入力する。

追加距離: Real

工事起点からの水平距離。完成縦断図に記載された追加距離を入力する。（小数点以下3 桁，単位「m」）

高さ: Real

計画高位置における路面高さ。（T.P.）
完成縦断図に記載された計画高(設計値)を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。（小数点以下3 桁，単位「m」）

横断勾配（左）: Real

工事起点から終点方向に向かって左側車線の横断勾配値。完成縦断図に記載された横断勾配（設計値）を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。（小数点以下2 桁，単位「%」）

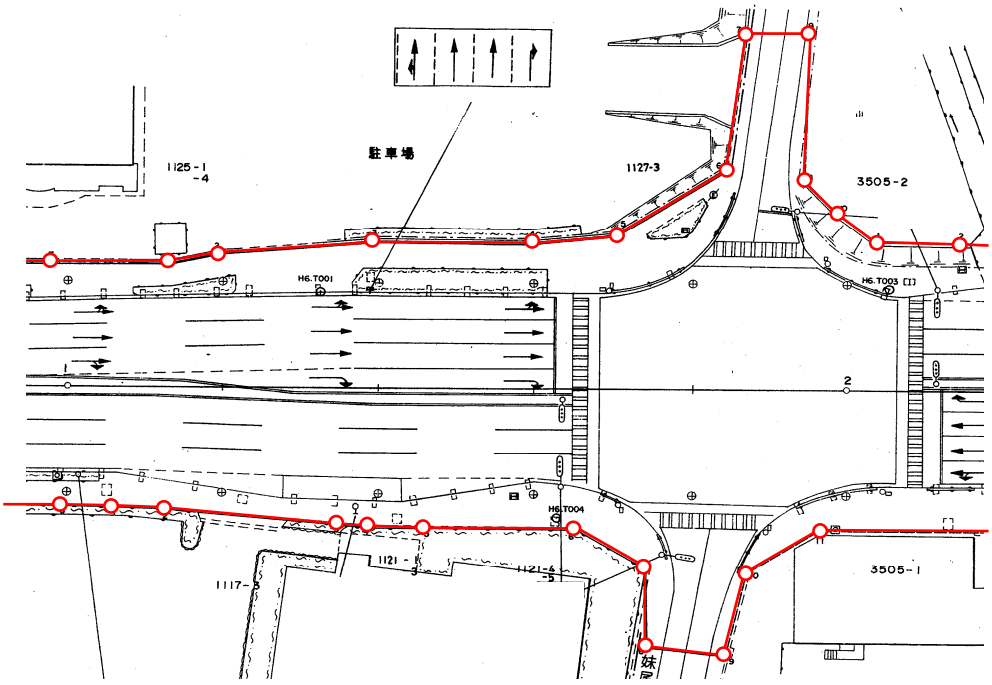
横断勾配（右）: Real

工事起点から終点方向に向かって右側車線の横断勾配値。完成縦断図に記載された横断勾配（設計値）を入力する。設計値が取得できない場合は出来形測量結果を入力する。（小数点以下2 桁，単位「%」）

管理区域界

行政上の管理域の境界で，他の土地又は他の管理者が管理する道路との境界。

【取得根拠】
・道路法施行規則第4条の2第4項第1号(道路の区域の境界線)



上位クラス　：　道路基本地物

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]： 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

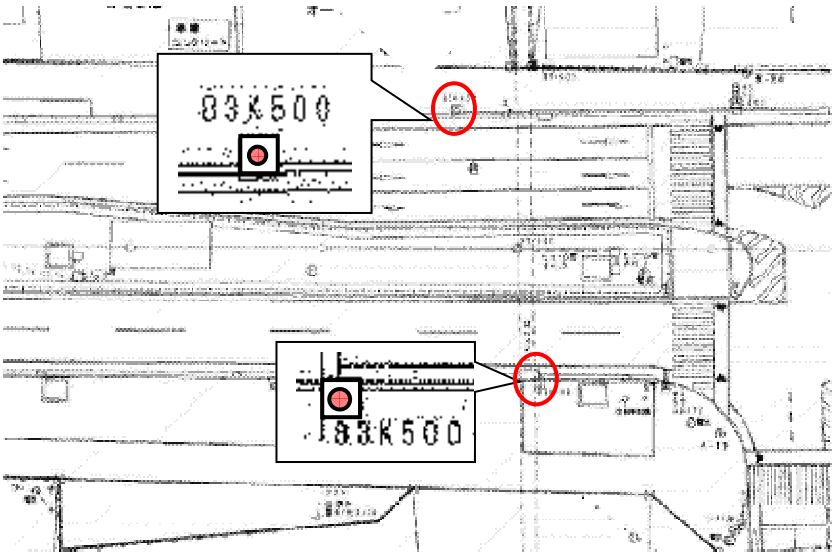
場所 ：GM_Curve

道路管理者が管理対象とする範囲の境界（道路管理者が管理する区域と他の区域との境界）である「管理境界」を取得する。管理境界標の位置が明確である場合，それらを結ぶ線として取得する。

距離標

1km又は0.1km毎に道路管理者が設置する地点標。

【取得根拠】
・道路法施行令第34条の3第1項第5号(地点標)
・一般国道地点標の設置について(地点標)
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定



上位クラス　：　道路基本地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]： 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 ：GM_Point

距離標の接地部分の中心位置を取得する。

路線番号: CharacterString

距離標が設置されている路線の番号。

現旧区分: 現旧区分コード

距離標が設置されている路線の現道，旧道，新道の区分。
定義域
現道，旧道，新道

上下区分: 上下区分コード

距離標の用途の区分。
定義域
上り線，下り線，上下線共通

接頭文字 ： 接頭文字コード

新道設置において用いる，距離標を識別するための接頭文字。
定義域
なし，B，Bp.
測点の情報を取得する場合は，“なし”と入力する。

距離程 ：Real

起点からの距離程数値を実数値（小数点以下１桁，単位「km」）で表す。
測点の情報を取得する場合は，測点の追加距離と入力する。（小数点以下2 桁，単位[km]）

種別 ： 距離標種別コード

距離標の種別。
定義域
1kp，0.1kp，測点

距離標緯度[0..1] : Sequence_Number

距離標の緯度。空間参照系は，日本測地系2000経緯度座標（空間参照系識別子：JGD2000 / (B, L)）。
距離標を直接測量して得られた緯度座標を，「度」「分」「秒」の単位で順番（スペース区切り）に記述する。
（「度」「分」の値は，整数値でなければならない。）
ただし，距離標を直接測量して得られた成果がない場合は，この項目自体をデータ化しない。
※測点の情報を取得する場合は，設計時に用いた座標値を変換した値を入力する。

距離標経度[0..1] : Sequence_Number

距離標の経度。空間参照系は，日本測地系2000経緯度座標（空間参照系識別子：JGD2000 / (B, L)）。
距離標を直接測量して得られた経度座標を，「度」「分」「秒」の単位で順番（スペース区切り）に記述する。
（「度」「分」の値は，整数値でなければならない。）
ただし，距離標を直接測量して得られた成果がない場合は，この項目自体をデータ化しない。
※測点の情報を取得する場合は，設計時に用いた座標値を変換した値を入力する。

距離標標高[0..1] : Real

距離標の標高。空間参照系は，東京湾平均海面（空間参照系識別子：TP / H）。
距離標を直接測量して得られた標高座標を記述する。
ただし，距離標を直接測量して得られた成果がない場合は，この項目自体をデータ化しない。
※距離標の設置位置における路面高を入力する。
※測点の情報を取得する場合は，設計時に用いた計画路面高を入力する。

道路面地物

道路の表面を連続的に表現するために必要な地物の抽象クラス。

上位クラス　：　道路基本地物

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

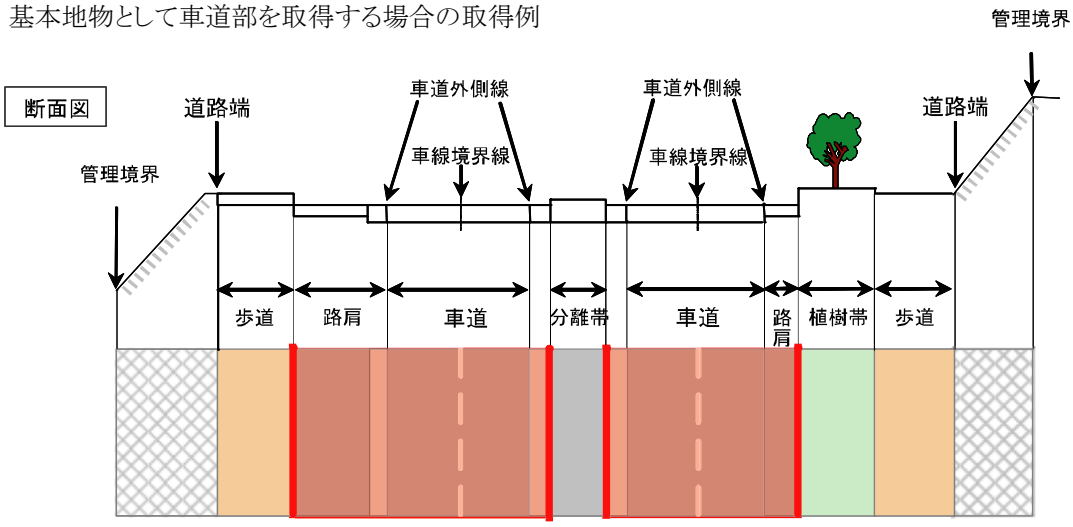
範囲 ：GM_Surface
地物の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。
道路面地物の空間属性は，道路面地物を継承する他の地物の空間属性と重なってはならない。ただし，以下の場合は道路面地物の空間属性の重なりを許容する。
- 高架部の上層・下層に存在する道路面地物の重なり
- 中央帯と側帯・分離帯及び路肩と側帯との重なり

車道部

主として自動車が利用する道路の部分で，車線，すりつけ区間，分離帯が切断された車道の部分，側帯，路肩，停車帯，待避所，乗合自動車停車所，非常駐車帯，副道を含む。

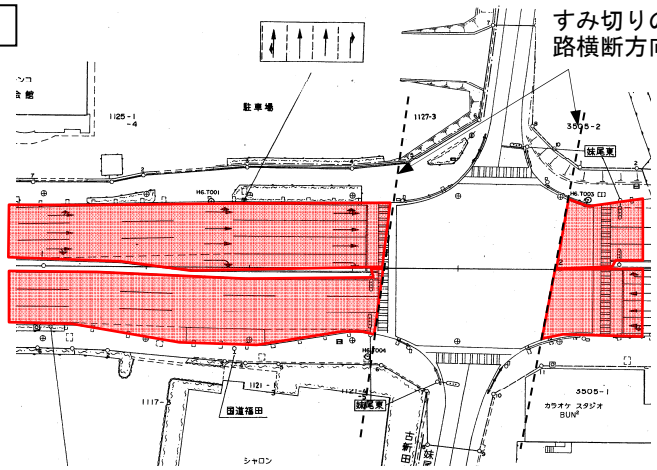
【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第4号(車道)
・道路構造令施行規則第2条(分離帯が切断された車道の部分)
・道路交通法第2条第1項第3号(車道)
・車道及び側帯の舗装の構造の基準に関する省令(車道)
参考資料
・道路構造令の解説と運用Ⅰ　1-3-2，Ⅲ　2-13-1

基本地物として車道部を取得する場合の取得例

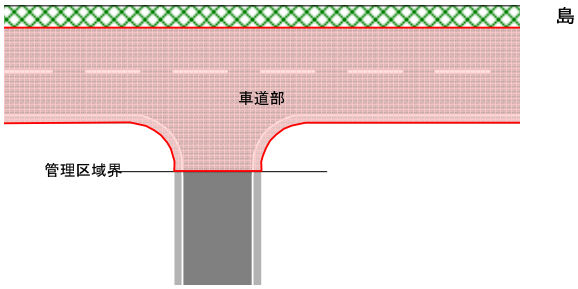


平面図

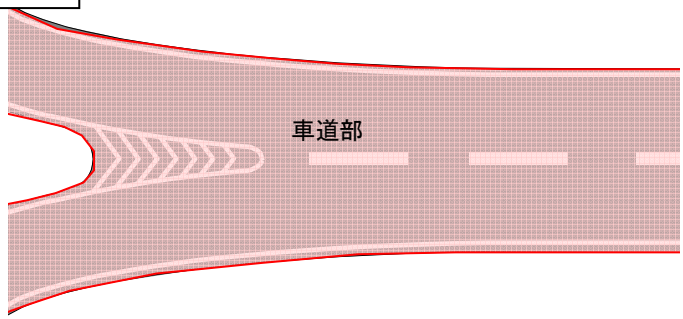
すみ切りの頂点を結ぶ線分を道路横断方向に区切る



T字路の場合



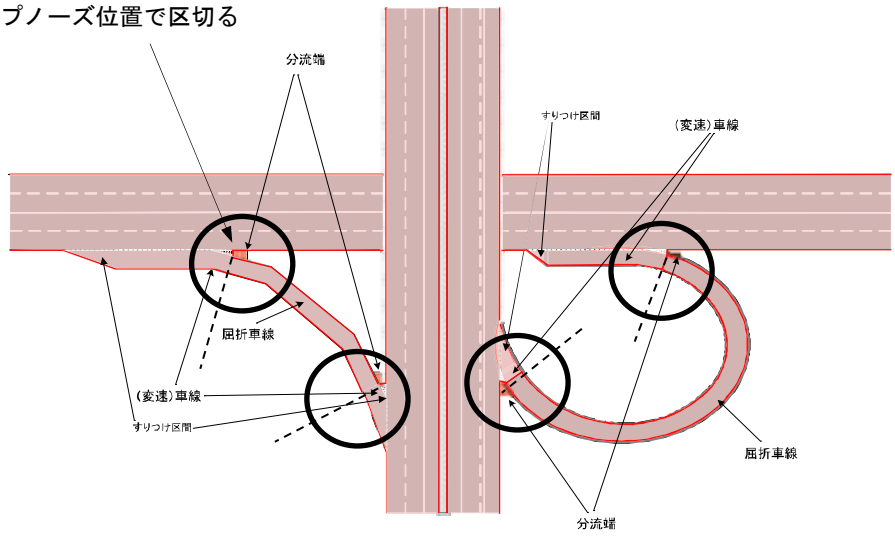
車線の分流，合流部の場合

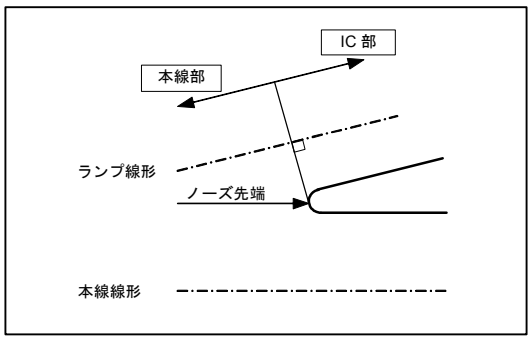


ランプの場合

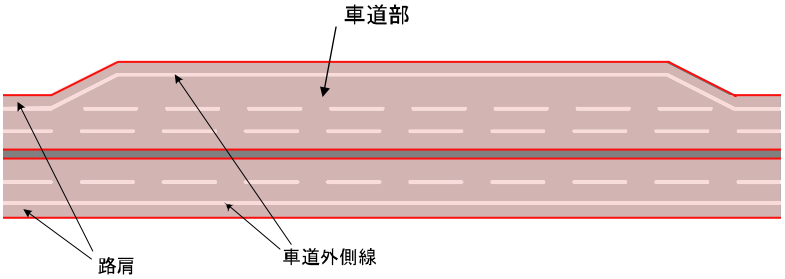
ランプノーズ位置で区切る

変速車線は流出入先端から分流端までを取得する。

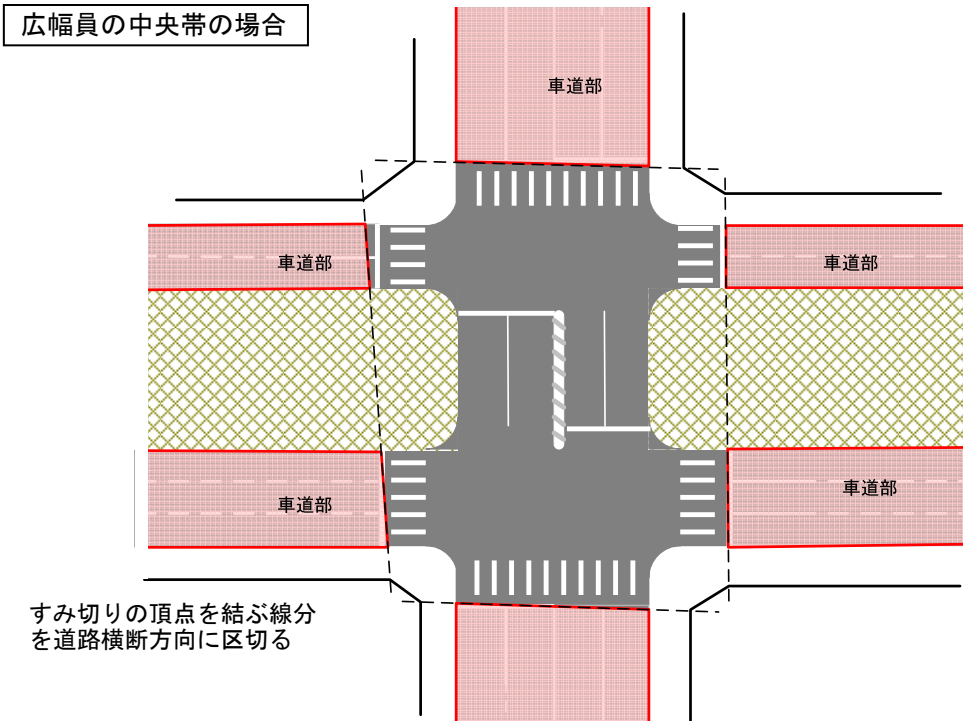




登坂車線の場合



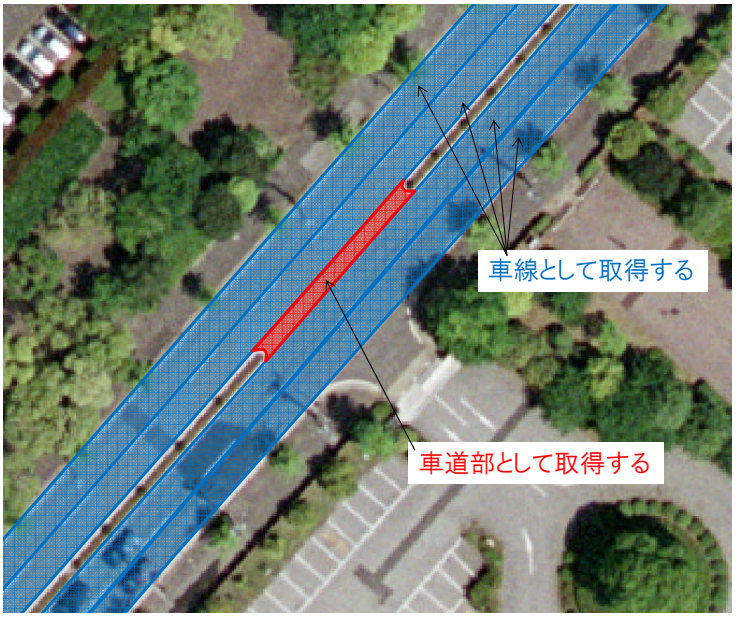
広幅員の中央帯の場合



すみ切りの頂点を結ぶ線分
を道路横断方向に区切る

拡張地物として車道部を取得する場合の取得例

基本地物の車道部の領域のうち，車道部を継承する地物（車線，車道交差部，中央帯等）として取得された以外の，残りの領域を「車道部」として取得する。



上位クラス　：　道路面地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

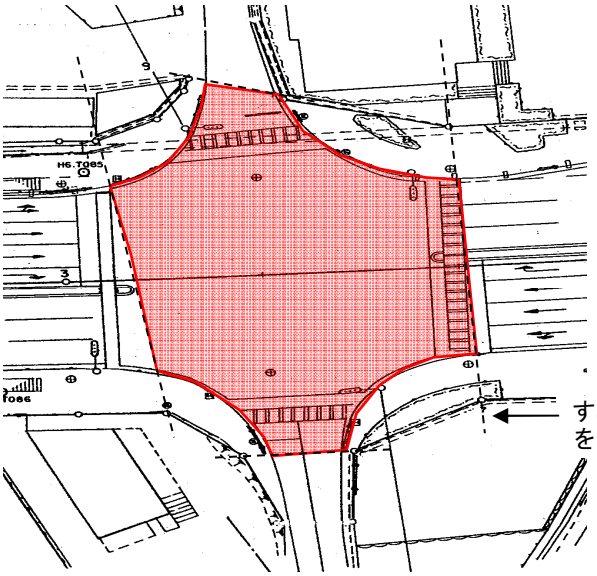
範囲 : GM_Surface
車道部の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。
ただし，車道交差部，踏切道，軌道敷の部分を除く。
・車道交差部の部分：車道交差部クラスのインスタンスとして取得する。
・踏切道の部分：踏切道クラスのインスタンスとして取得する。
・軌道敷の部分：軌道敷クラスのインスタンスとして取得する。
更に，車線，すりつけ区間，側帯，路肩，中央帯，停車帯，待避所，乗合自動車停車所，非常駐車帯，副道の各クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

車道交差部

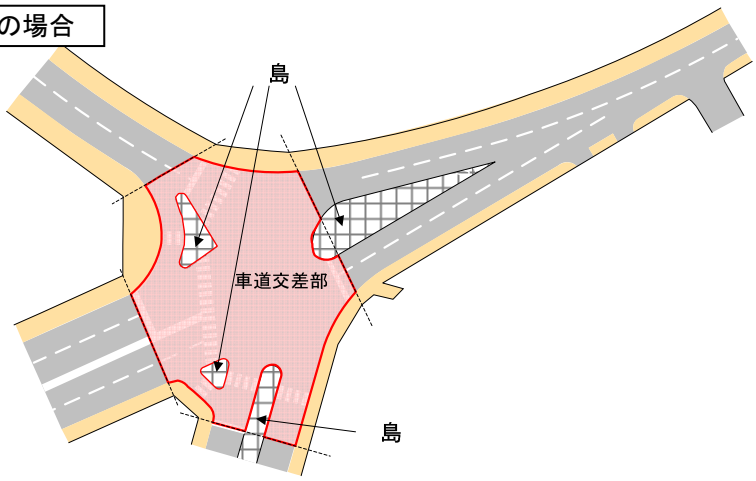
十字路，丁字路，その他2つ以上の車道が交わる部分。

【取得根拠】

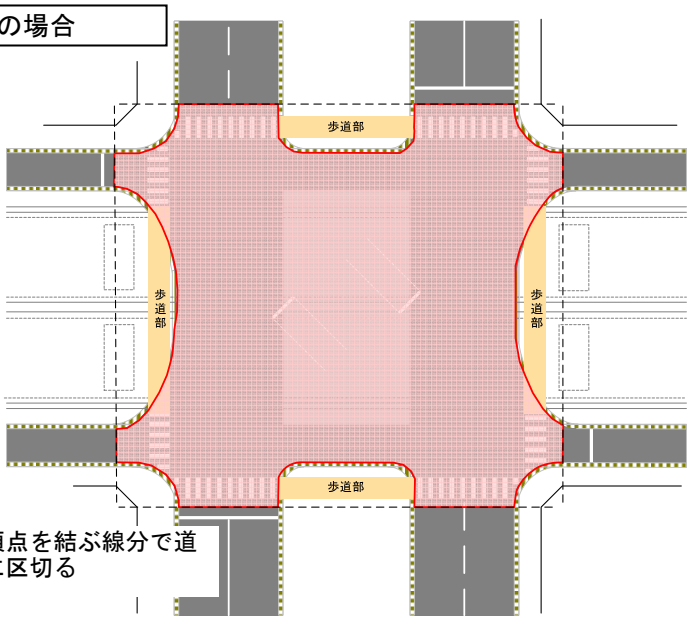
・道路法第30条第1項第8号（交差又は接続）
・道路構造令第27条（交差点）
・道路構造令施行規則第2条（交差点）
・道路交通法第2条第1項第5号（交差点）



Y字路の場合

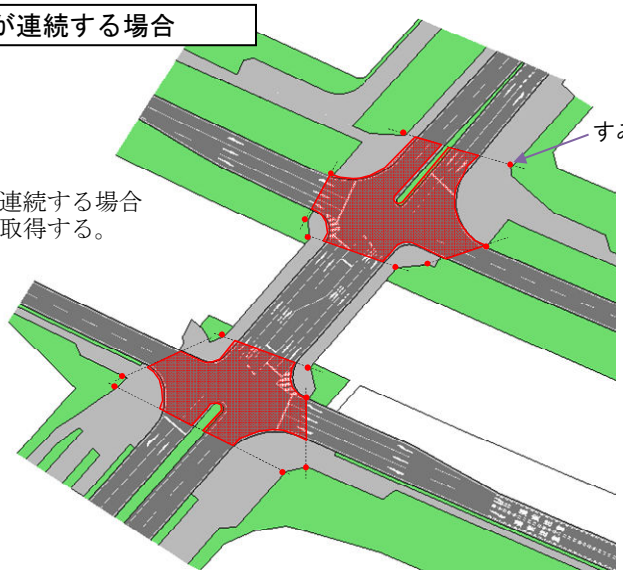


立体交差部の場合



すみ切りの頂点を結ぶ線分で道路横断方向に区切る

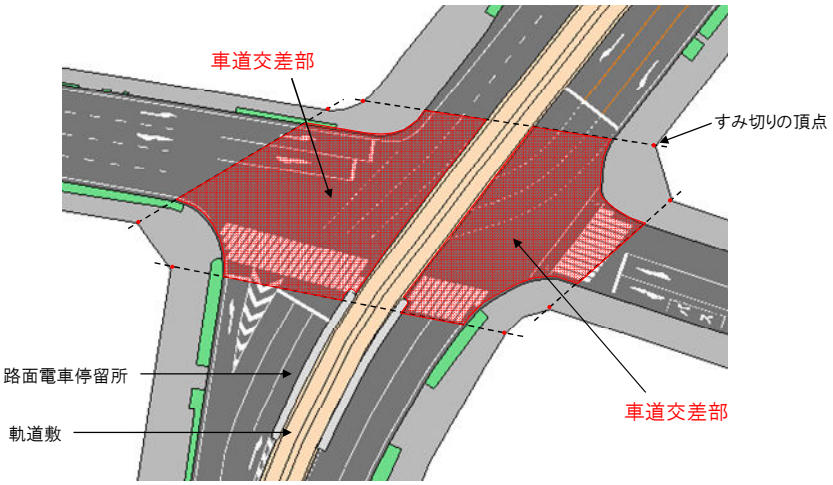
車道交差部が連続する場合



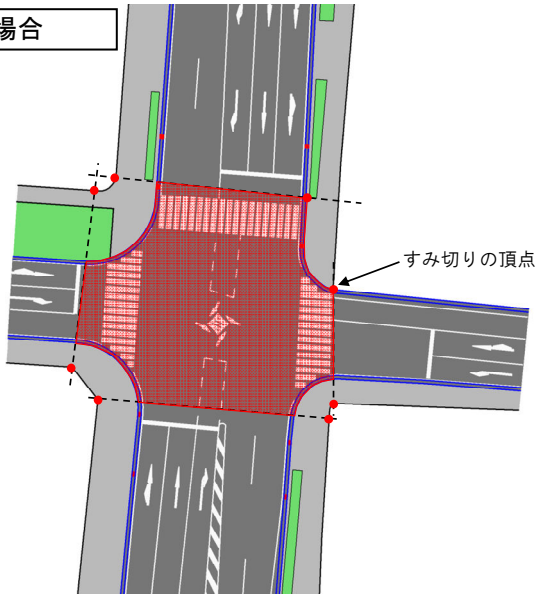
車道交差部が連続する場合は，それぞれ取得する。

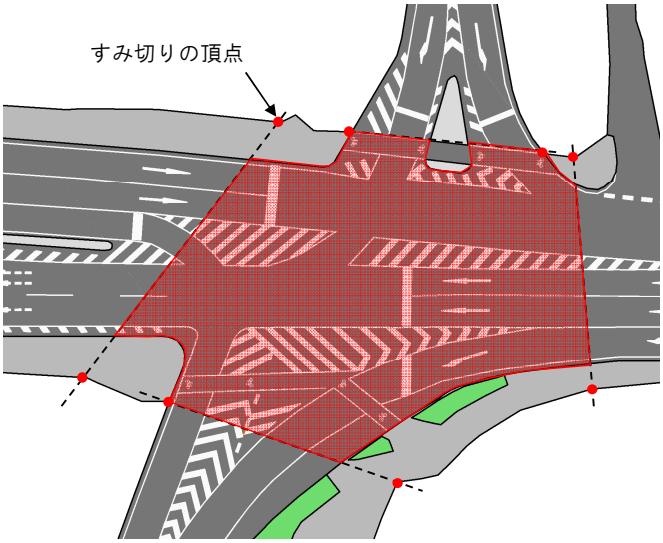
軌道敷がある場合

交差点内を通行する軌道敷が存在する場合，すみ切りの頂点を結ぶ線分，路肩端，分離帯端を境界線として取得し，それによって構成される領域から軌道敷を除く領域を車道交差部とする。



すみ切りの頂点が不明確な場合





上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

すみ切りの頂点を結ぶ線分，路肩端，分離帯端を境界線として取得し，それによって構成される領域を取得する。

注記　車道交差部の領域は，島（分離帯，交通島），車線，軌道敷など，他の道路面地物を継承する地物の空間属性と重なってはならない（高架部の上層・下層の重なりは除く）。

踏切道

鉄道と交差する道路の部分で，道路と鉄道敷地の境界線によって構成される部分。

【取得根拠】

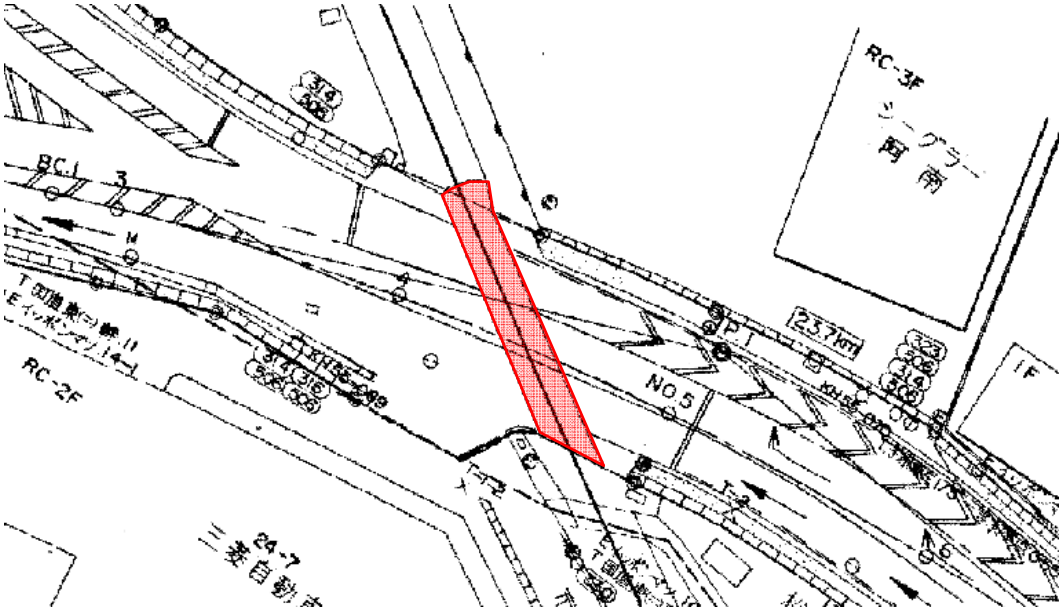
・道路法第20条

・道路構造令第29条第1項第2号

・踏切道改良促進法

・道路法の施行に伴う踏切道の取扱について

・道路に鉄道を交差させる場合の踏切道の道路占用の取扱いについて



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

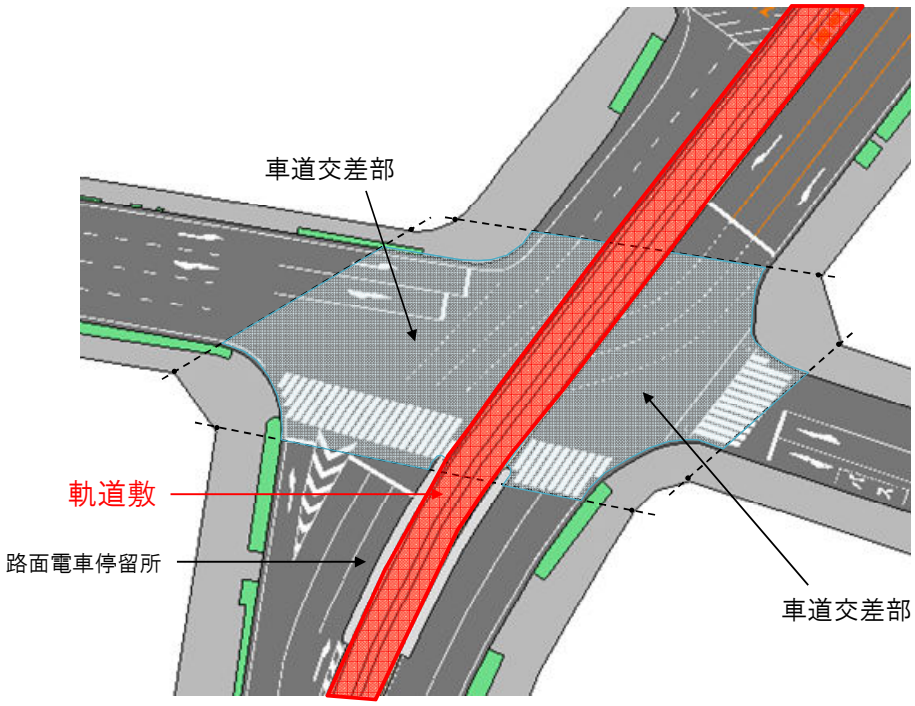
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
範囲 ：GM_Surface
踏切道の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。
鉄道管理者[0..1]： 兼用相手先
当該の踏切道に関係する鉄道管理者の情報を参照する。

軌道敷

路面電車が走行する道路の部分。

【取得根拠】
・道路法施行令第13条第1項
・道路構造令第2条第1項第15号
・軌道敷の修繕等の取扱いについて
・軌道法第9条(軌道敷地)



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1]： 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

軌道敷の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。
注記　交差点内を通行する軌道敷は，軌道敷として取得し，車道交差部として取得しない。

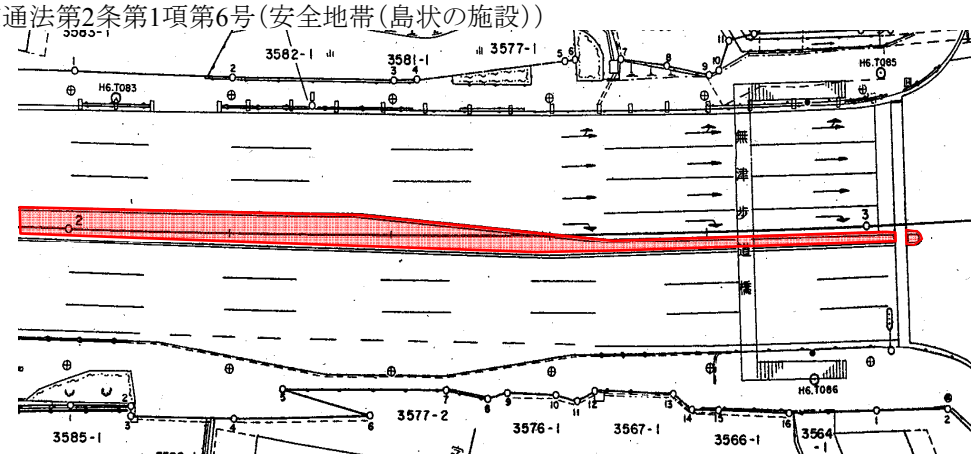
鉄道管理者[0..1] : 兼用相手先

当該の軌道敷に関係する鉄道管理者の情報を参照する。

島

車両の走行を制御し，安全な交通を確保するために設置される分離帯及び交通島の部分。
ただし，路面電車停留所に該当する部分を除く。

【取得根拠】
法令
道路交通法第2条第1項第6号(安全地帯(島状の施設))



上位クラス　:　道路面地物

抽象/具象区分　:　具象

属性　:

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

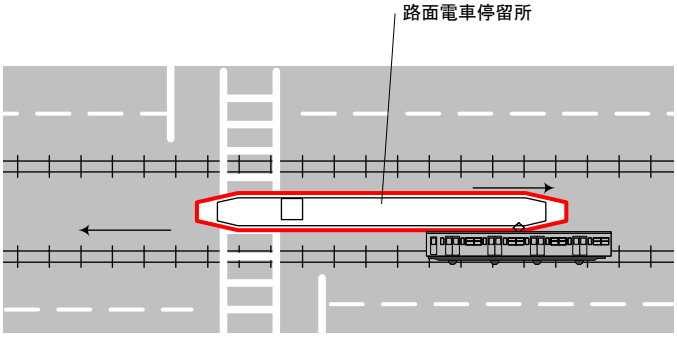
範囲 : GM_Surface

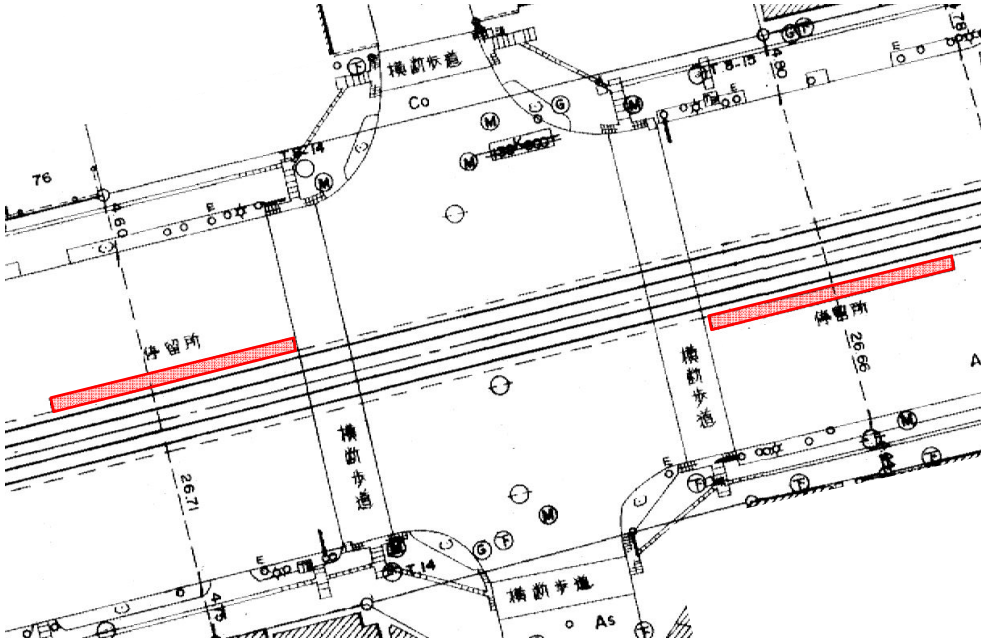
島の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。
ただし，分離帯，交通島の各クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

路面電車停留所

路面電車の乗降，待合のための停留場として利用される島状の部分。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第16号（路面電車の停留場）
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第19条





抽象/具象区分　：　具象

上位クラス　：　道路面地物

属性　：

データ有効期間　：TM_Period
　データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
　データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
　また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1]：管理者
適用構造令[0..1]：CharacterString
　対象道路の建設において適用した構造令。
　例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1]：CharacterString
　対象道路の建設において適用した示方書。
　なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
　例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1]：CharacterString
　例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 ：GM_Surface

路面電車停留所の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。

鉄道管理者[0..1]： 兼用相手先

当該の路面電車停留所に関係する鉄道管理者の情報を参照する。

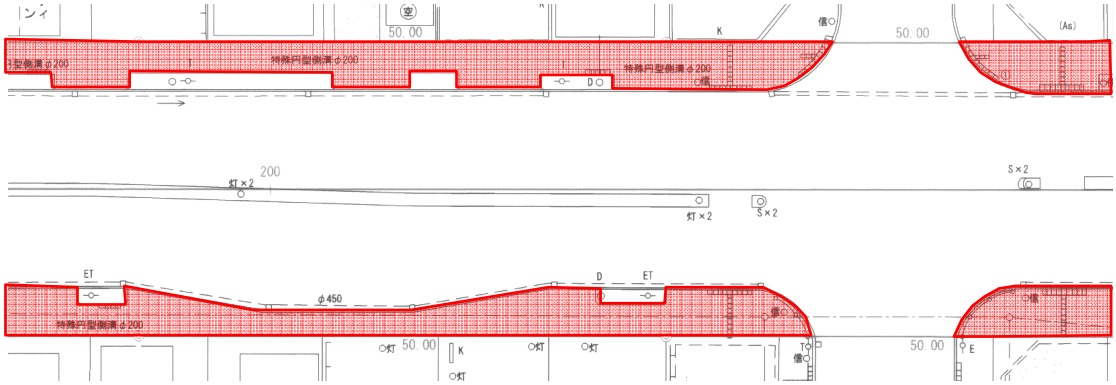
名称[0..1]：CharacterString

当該の路面電車停留所の名称。

歩道部

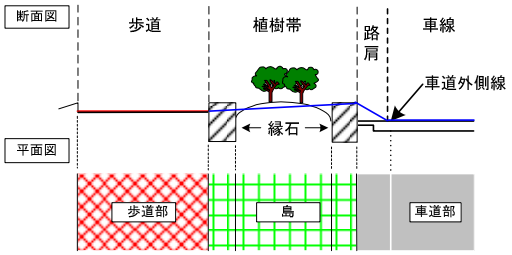
専ら歩行者と自転車の通行の用に供するため，工作物により車道部と区画して設置される道路の部分で，自転車道，自転車歩行者道，歩道を含む。

注記　自転車道は，道路交通法第2条第1項第3号の3において，車道と位置づけられているが，道路基盤地図情報製品仕様書(案)では「歩道部」として取得する。



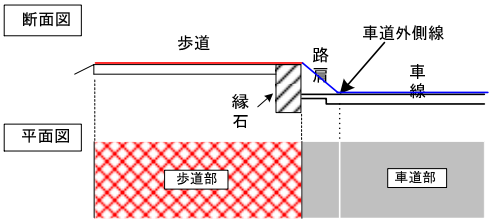
①歩道部と植樹

縁石の歩道部側の境界線と歩道部端によって構成される部分



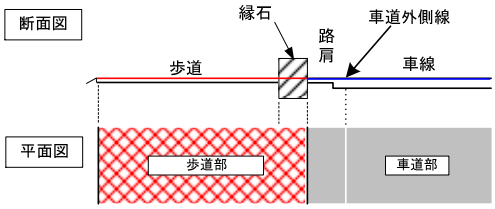
②歩道部と車道部(歩道部が車道面よりも高いマウントアップ型)

縁石の車道側の境界線と歩道部端によって構成される部分

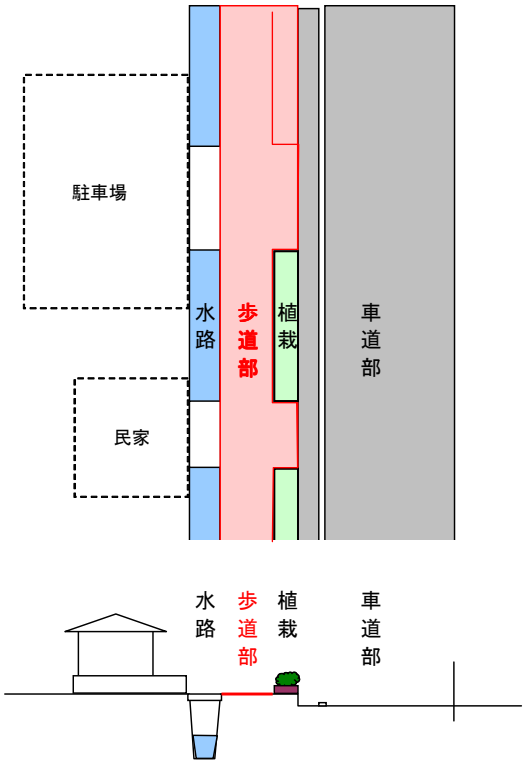


③歩道部と車道部(歩道部面と車道面を同一の高さとしたフラット型)

縁石や柵・壁の車道部側の境界線(ただし下端線)と歩道部端によって構成される部分



④歩道部と用水路
構造上，歩道部である部分



上位クラス　：　道路面地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間　：TM_Period
　データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
　データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
　また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString
　対象道路の建設において適用した構造令。
　例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString
　対象道路の建設において適用した示方書。
　なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
　例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString
　例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
　なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

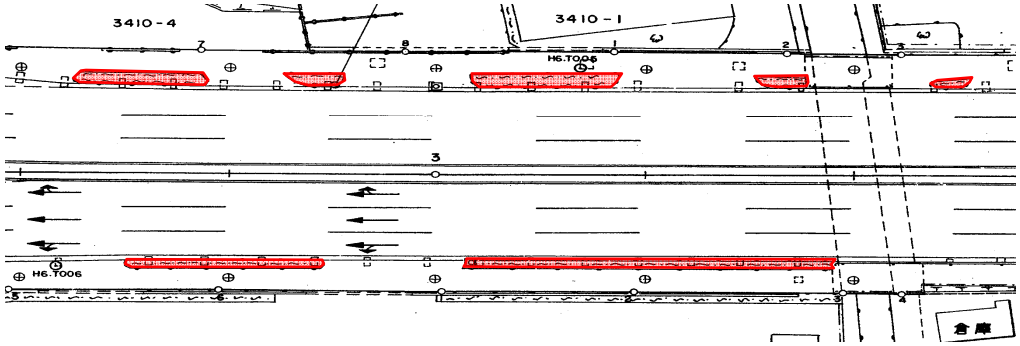
設置期間　：TM_Period
　地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
　設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

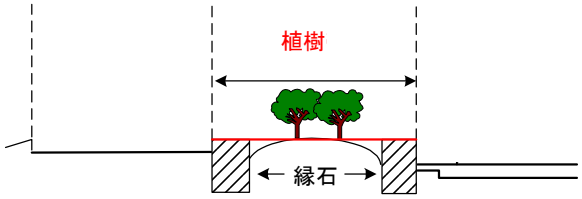
範囲　：GM_Surface
　歩道部の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。

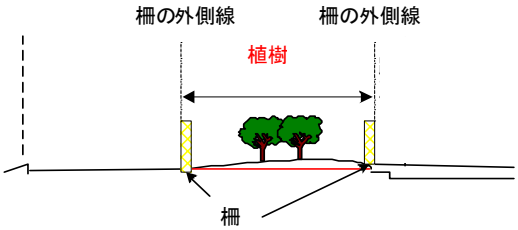
注記　歩道部の領域は，植栽（植樹帯，植樹ます）など，他の道路面地物を継承する地物の空間属性と重なってはならない（高架部の上層・下層の重なりは除く）。
ただし，自転車歩行車道，歩道，自転車道の各クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

植栽

樹木を植栽するために工作物によって区画して設置される道路の部分のうち，歩道部に隣接して設置される植樹帯，及び歩道内に街路樹（並木）を植栽するための桝の部分。







上位クラス　：　道路面地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 ：GM_Surface

植栽の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。
ただし，植樹帯，植樹ますの各クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

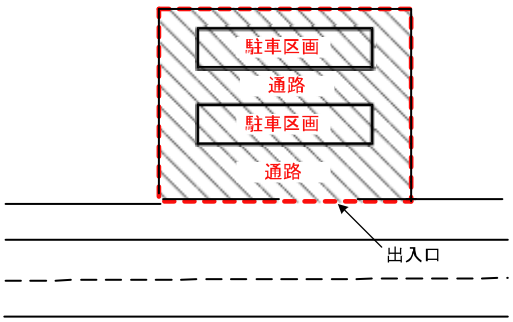
種別[0..1] : CharacterString

植栽された植物の区分
定義域
並木，植樹

自転車駐車場

道路上又は道路に接する自転車駐車場で，道路管理者が設置し管理するもの。自転車駐車場の駐車区画・通路の部分を含む。
道路管理者から道路占用許可の交付を受け，歩道上に設けられた自転車駐車場を含む。

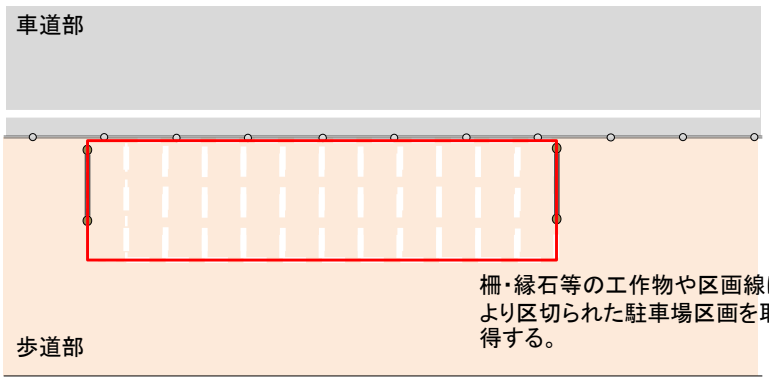
【取得根拠】
・道路法施行令第35条の3第1項
・道路法施行令第35条の4第3項
・道路構造令第32条
参考資料
・路上自転車・自動二輪車等駐車場設置指針・同解説



<歩道上に設けられた自転車駐車場の例>

出典:最近の自転車・自動二輪車の駐車場及び指針同解説について 国土交通省道路曲地方道・環境課 道路交通安全対策室
(http://www.road.or.jp/pdf/070216.pdf)

<歩道上に設けられた自転車駐車場の取得例>



上位クラス　：　道路面地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

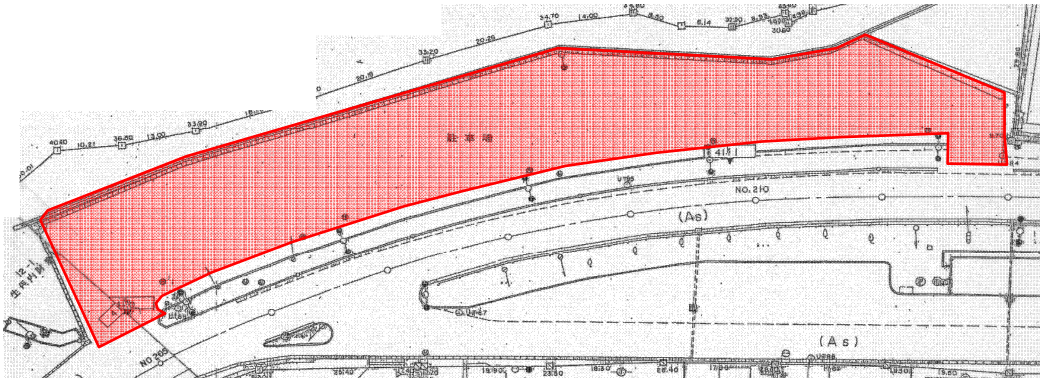
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

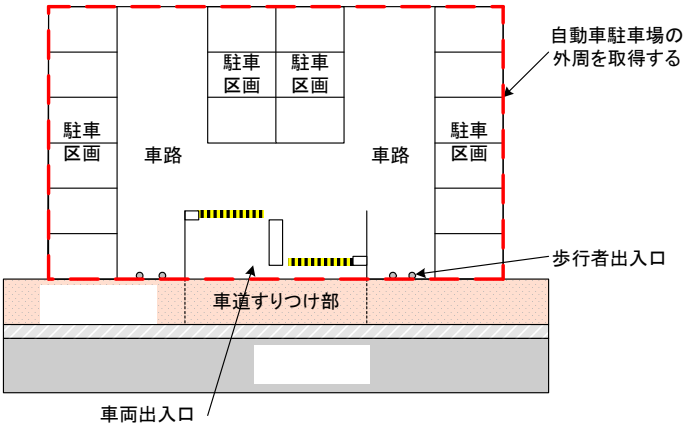
範囲 : GM_Surface

自転車駐車場の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。

自動車駐車場

自動車駐車場で，道路に接して道路管理者が設置し管理するもの。自動車駐車場の駐車区画・車路の部分を含む。ただし，進入接続路を除く。
自動二輪車駐車場を含む。
道路管理者から道路占用許可の交付を受け，道路上に設けられた自動車駐車場・自動二輪車駐車場を含む。
【取得根拠】
・道路法第2条第2項第6号，24条の2，24条の3
・道路法施行規則第4条の2第3項別表第4
・道路構造令第32条
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第22条
・駐車場設計・施工指針について
・自動車駐車場の道路占用について





上位クラス　：　道路面地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
自動車駐車場の外周となる境界線によって構成される領域を取得する。

道路基本地物.拡張サブパッケージ

公共基準点

測量法に基づき設置される，道路管理者が管理する基準点。ただし，距離標と一体的に設置される道路基準点を除く。

【取得根拠】
・基準点の標識の道路占用について
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定

上位クラス　：　道路基本地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]： 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点: GM_Point
公共基準点の座標成果をもとに取得する。

名称: CharacterString
公共基準点を識別する名称。

水平位置の等級 ：CharacterString
公共基準点の水平位置の等級。
定義域
1級，2級，3級，4級，なし

鉛直位置の等級 ：CharacterString
公共基準点の鉛直位置の等級。
定義域
1級，2級，3級，4級，なし

測量年月日 ：TM Instant
基準点測量を実施した年月日。
測量年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

基準点緯度[0..1] : Sequence_Number
公共基準点の緯度。空間参照系は，日本測地系2000経緯度座標（空間参照系識別子：JGD2000 / (B, L)）。
公共基準点を直接測量して得られた緯度座標を，「度」「分」「秒」の単位で順番（スペース区切り）に記述する。
（「度」「分」の値は，整数値でなければならない。）
ただし，公共基準点を直接測量して得られた成果がない場合は，この項目自体をデータ化しない。

基準点経度[0..1] : Sequence_Number
公共基準点の経度。空間参照系は，日本測地系2000経緯度座標（空間参照系識別子：JGD2000 / (B, L)）。
公共基準点を直接測量して得られた経度座標を，「度」「分」「秒」の単位で順番（スペース区切り）に記述する。
（「度」「分」の値は，整数値でなければならない。）
ただし，公共基準点を直接測量して得られた成果がない場合は，この項目自体をデータ化しない。

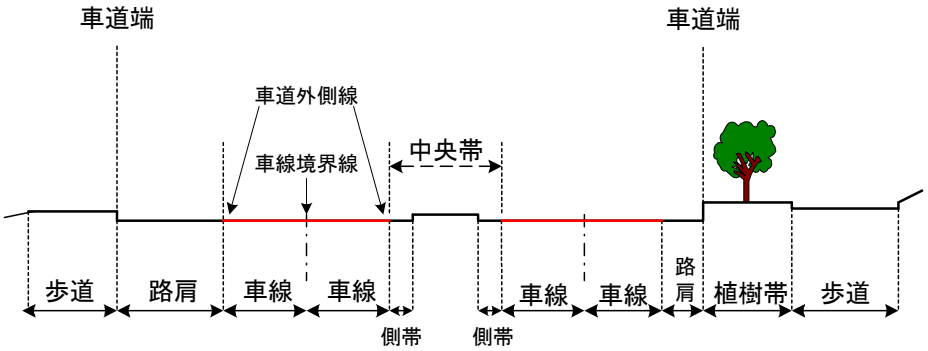
基準点標高[0..1] : Real
公共基準点の標高。空間参照系は，東京湾平均海面（空間参照系識別子：TP / H）。
公共基準点を直接測量して得られた標高座標を記述する。
ただし，公共基準点を直接測量して得られた成果がない場合は，この項目自体をデータ化しない。

車線

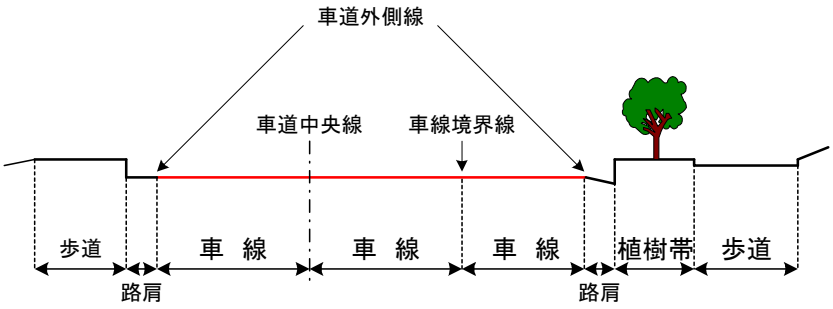
一縦列の自動車を安全かつ円滑に通行させるために設けられる帯状の車道の部分。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第5号，第5条

①　中央帯がある場合

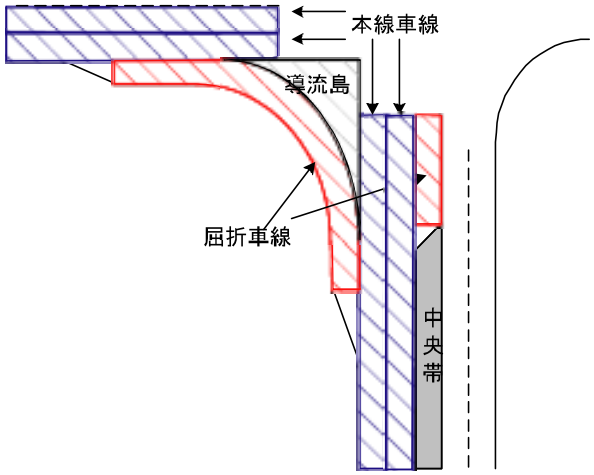


②中央帯が無い場合



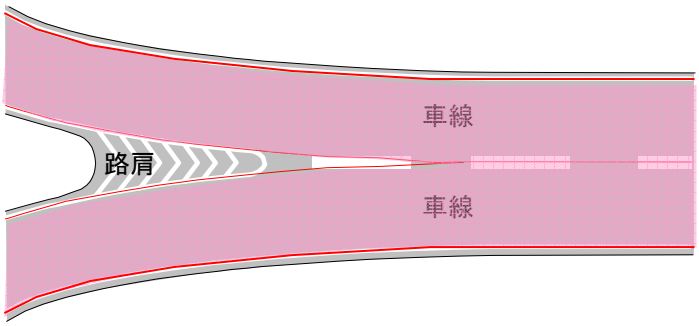
＜取得例＞

・ 平面交差の場合



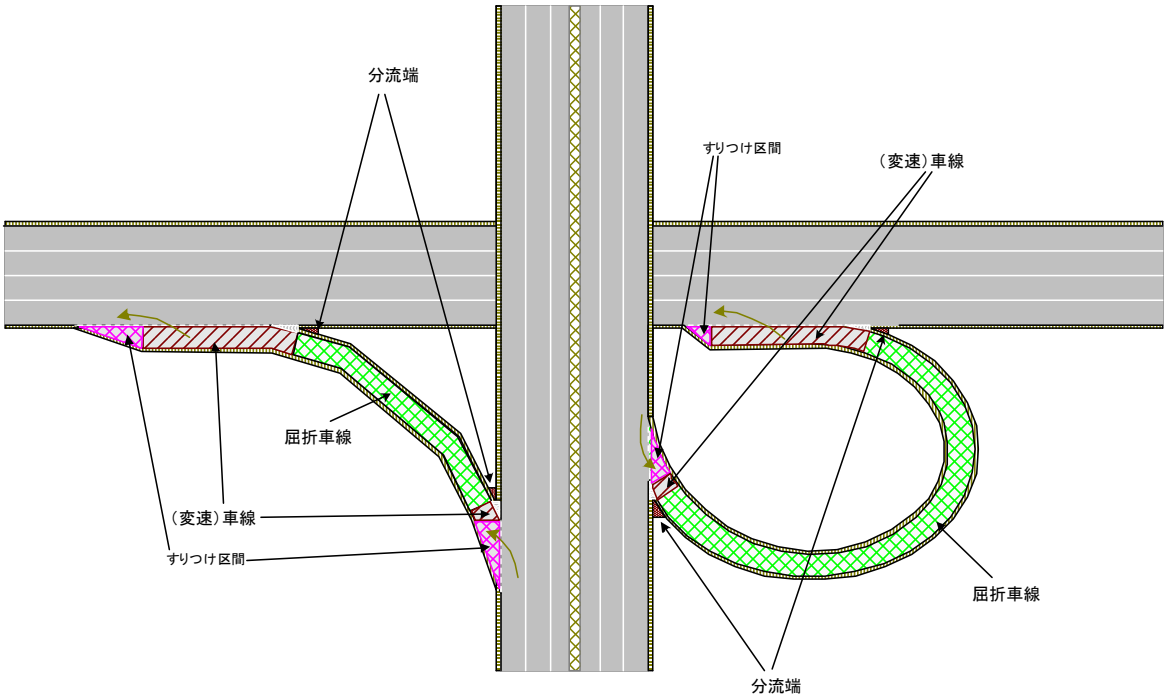
・ 車線の分流，合流部の場合

車線中心線に並行に境界線を引く。

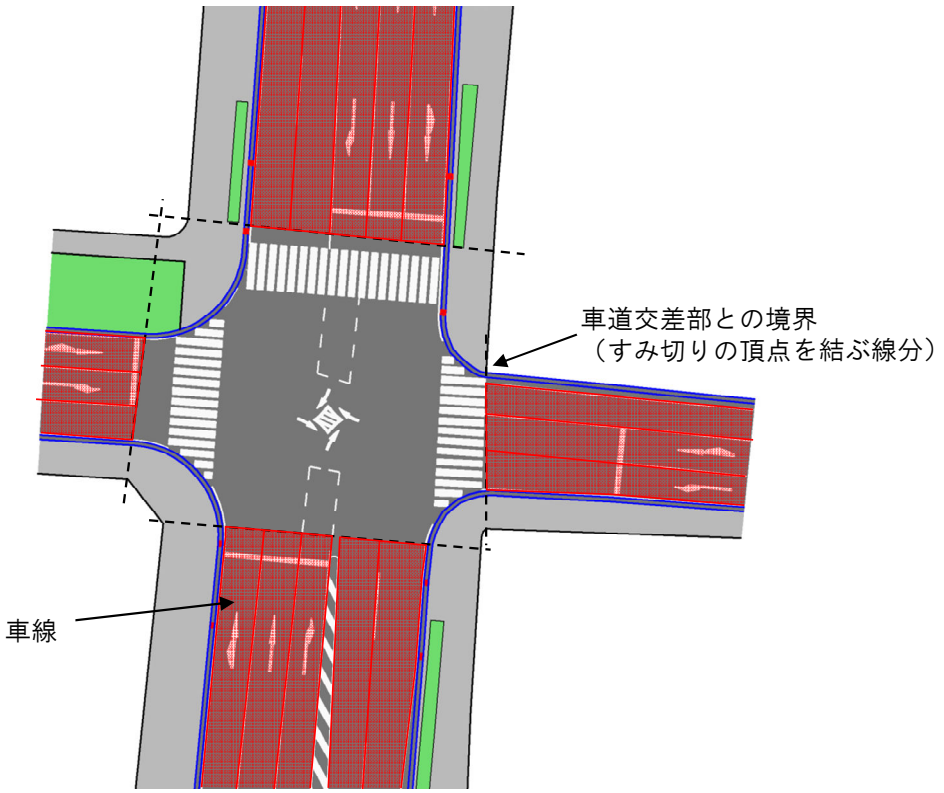


・　ランプの場合

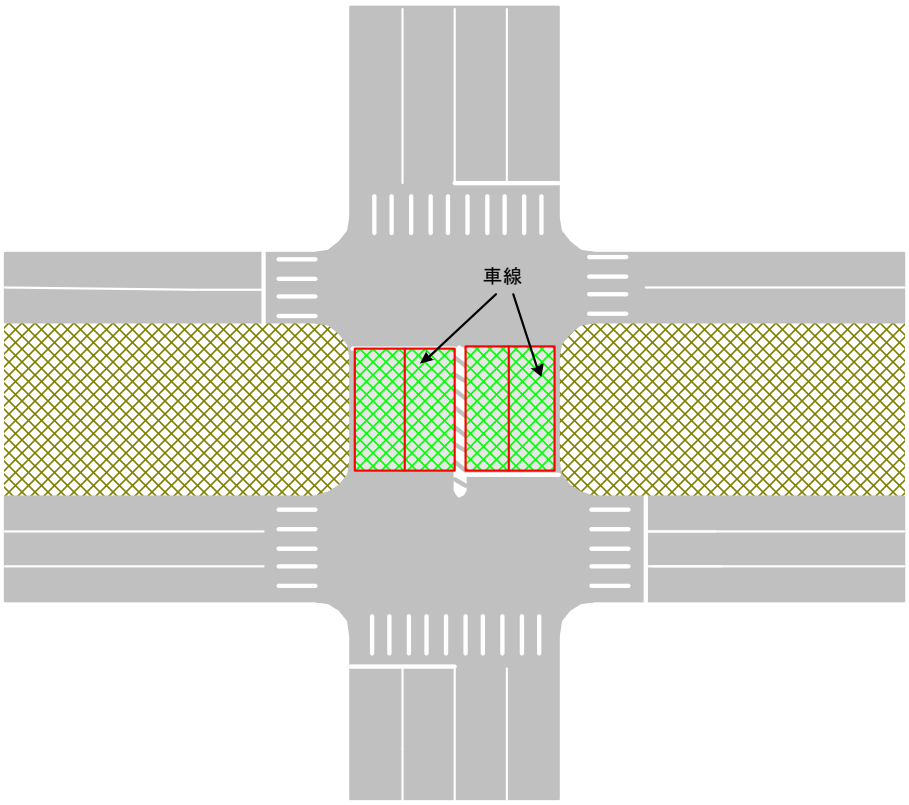
変速車線は流出入先端から分流端までを取得する。



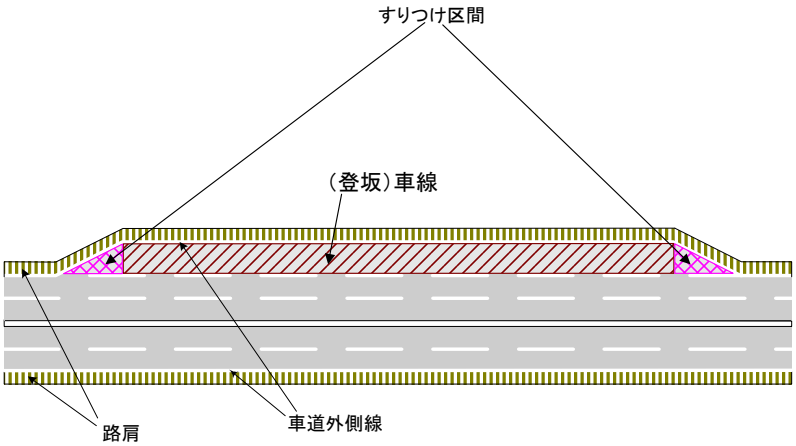
・　車道交差部付近



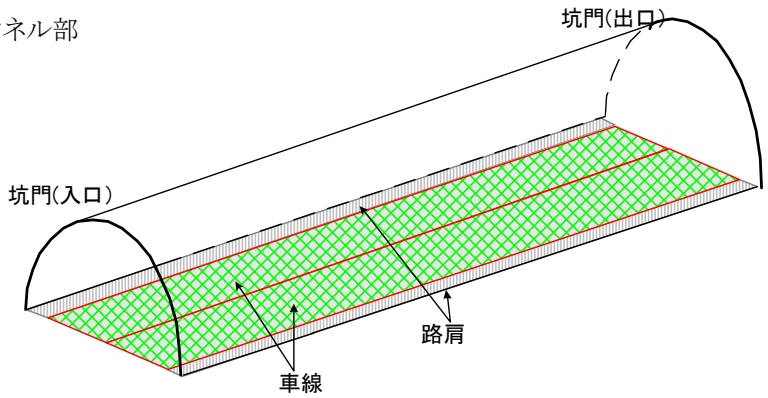
・　広幅員の中央帯の場合



・　登坂車線



・　トンネル部



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

車道外側線，車線境界線の中心，車道中央線の中心を境界線として取得し，それによって構成される領域を上記の例図のとおり定義する。
ただし車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
また，以下のような場合は，車道外側線が省略される。

- 車道に接続して舗装路肩があり，舗装路肩と車道との境界が色彩等によって明確な場合
- 歩車道境界に街渠があり，色彩・構造等により車道外側が明確な場合
- 中央分離帯等と車道との境界に街渠があり，色彩・構造等により車道外側が明確な場合

車道外側線が設置されている例

車線と路肩との境界が路面の色彩で明確であり、
車道外側線が省略された例

車道外側線が省略されている場合は，路肩の設置有無を横断図等により確認し，車線の領域を取得する。
車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。例えば，交差点では，車道交差部との境界までを車線として取得する。

種別[0..1] : CharacterString

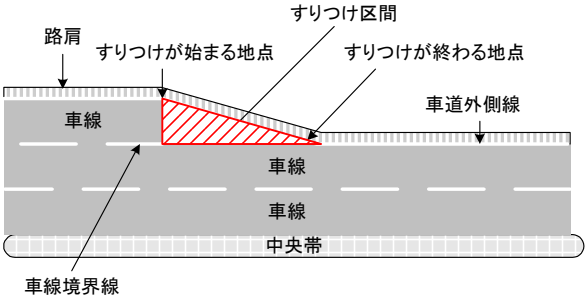
車線の種類。
定義域
車線，変速車線，登坂車線，屈折車線，付加追越車線
ここで，変速車線とは，自動車を加速，又は減速させることを目的とする車線をいう。
屈折車線とは，自動車を右折又は左折させることを目的とする車線をいう。道路中央部に設けられる右折レーンも屈折車線に含む。
変速車線，登坂車線，屈折車線，付加追越車線のいずれにも該当しない場合，「車線」を入力する。

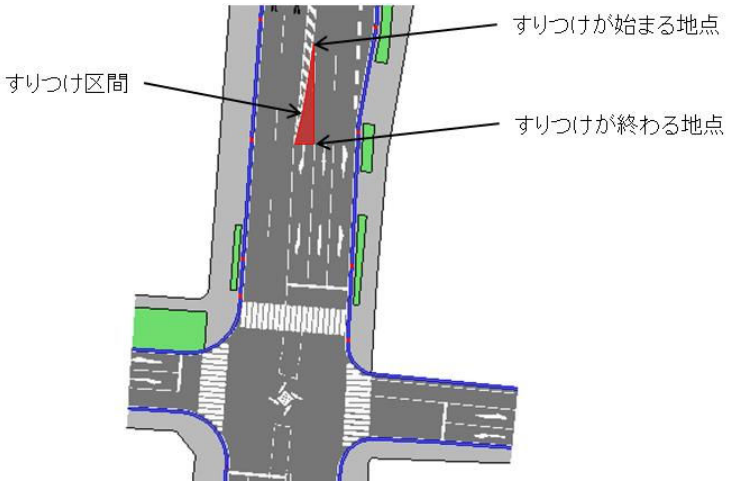
すりつけ区間

車線(付加追越車線，屈折車線，変速車線及び登坂車線を含む)の数が増加し，若しくは減少する場合又は道路が接続する場合におけるすりつけ区間。

道路中央部に設けられる屈折車線(右折レーン)のすりつけ区間を含む。
乗合自動車停車所の切り込み部は，すりつけ区間に含まない。(「乗合自動車停車所」参照)

【取得根拠】
・道路構造令施行規則第2条第1項第4号，第5号





上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

車道外側線，車線境界線及びすりつけが始まる地点又はすりつけが終わる地点から車線に垂直に伸ばした線分を境界線として取得し，それによって構成される領域を定義する。
ここで言う「すりつけが終わる地点」とは，すりつけ区間の幅員が車線と等しくなる地点である。
ただし，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
また，車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

種別[0..1] : CharacterString

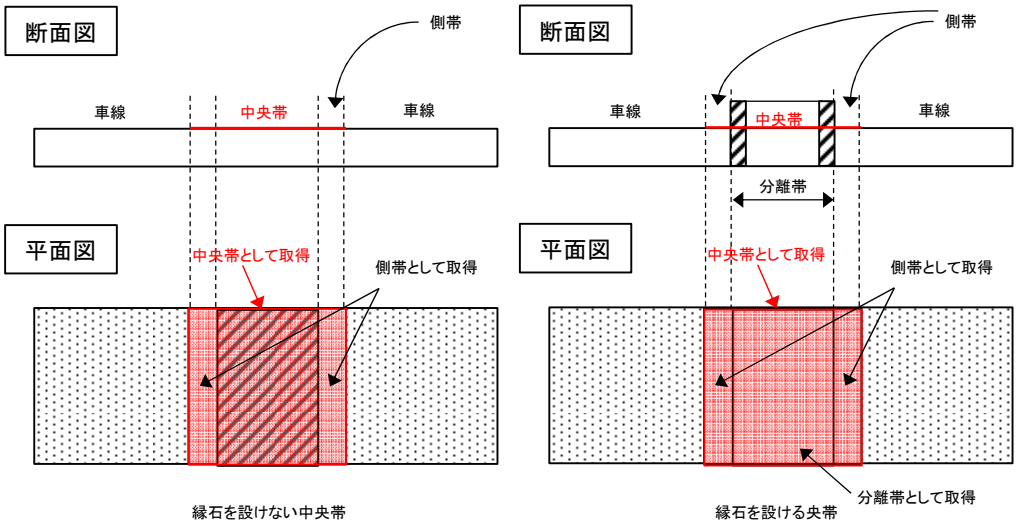
すりつけ区間の種類。
定義域
車線同士のすりつけ，変速車線のすりつけ，登坂車線のすりつけ，屈折車線のすりつけ，付加追越車線のすりつけ

中央帯

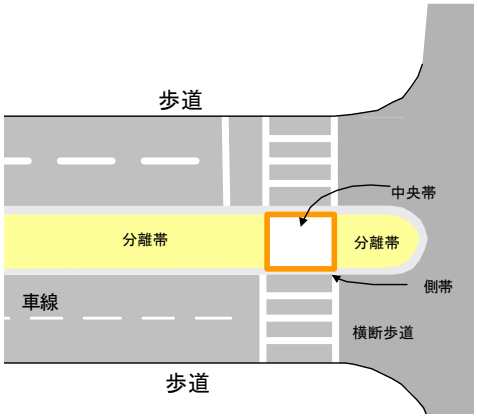
車線を往復の方向別に分離し，かつ側方余裕を確保するために設置される道路の帯状の部分。交通島(安全島)と同様の機能を有し，歩行者の横断が安全かつ容易となる機能を持つ。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第10号，第6条

＜中央帯取得例＞



分離帯と分離帯の間に存在する，車両の通行ができない部分も中央帯として取得する。



なお，車両の通行が可能な分離帯の開口部は，「車道部」として取得する。

上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
車道外側線を境界として取得し，それによって構成される領域を取得する。
ただし，中央分離帯等と車道との境界に街渠があり，色彩・構造等により車道外側が明確で区画線が省略されている場合は，これを境界とみなして取得する。
ただし，車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域を除く。

種別[0..1] : CharacterString
中央帯の形式。
定義域
縁石付凸型中央帯，縁石付凹型中央帯，縁石を設けない中央帯，広幅員分離構造の中央帯

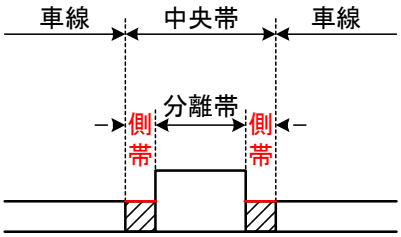
側帯

車両の運転者の視線を誘導し，側方余裕を確保する機能を持たせるため，車道に接続して設置される道路の帯状の部分。
側帯は，中央帯又は路肩の部分である。
路肩の場合は，第1種又は第2種の道路の車道に接続する路肩にのみ側帯を設け，第3種及び第4種の道路の車道に接続する路肩には側帯を設けない。
中央帯の場合は，全ての道路に設けられた中央帯に側帯を設ける。
道路の区分に応じた中央帯又は路肩に設ける側帯の幅員は下表のとおりである(中央帯又は路肩の幅員を縮小する道路又は箇所は，右欄の値まで縮小できる)。

区分		中央帯に設ける側帯の幅員(m)	
第1種	第1級	0.75	0.25
	第2級		
	第3級	0.5	
	第4級		
第2種		0.5	0.25
第3種		0.25	
第4種		0.25	

区分		路肩に設ける側帯の幅員(m)	
第1種	第1級	0.75	0.5
	第2級		
	第3級	0.5	0.25
	第4級		
第2種		0.25	

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第13号，第6条
・車道及び側帯の舗装の構造の基準に関する省令



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

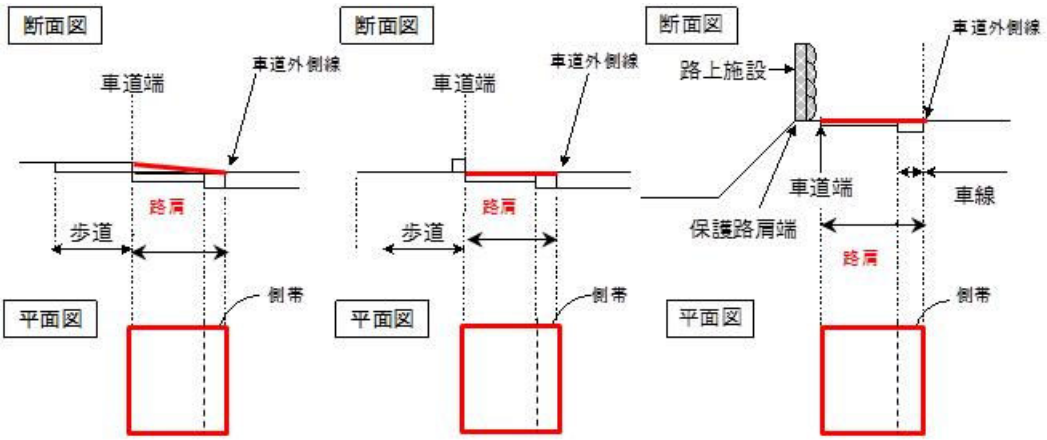
範囲 : GM_Surface

側帯の外周を境界線として取得し，それによって構成される領域を定義する。なお，側帯の車道側の境界線は車道外側線とする。
ただし，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
中央分離帯と車道との境界が街渠等，色彩・構造等により車道外側が明確で区画線が省略されている場合は，これを境界とみなして取得する。
車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

路肩

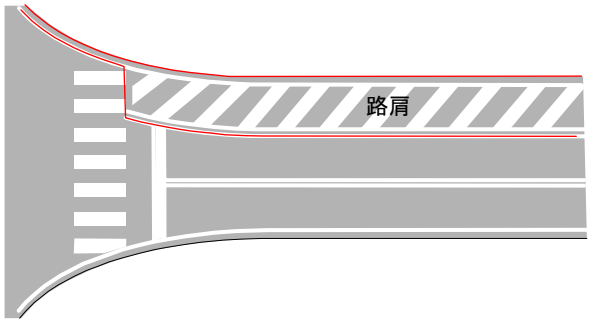
道路の主要構造部を保護し，又は車道の効用を保つために，車道，歩道，自転車道，自転車歩行者道に接続して設置される道路の帯状の部分。ただし，保護路肩を除く。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第12号，第8条

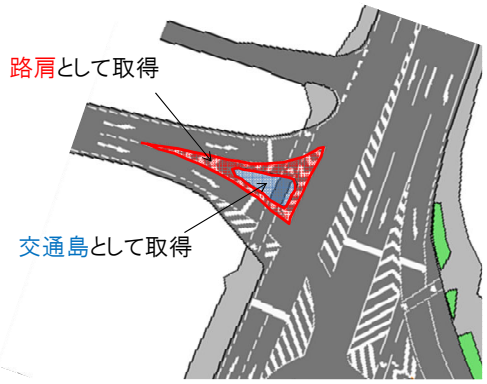


＜路肩取得例＞

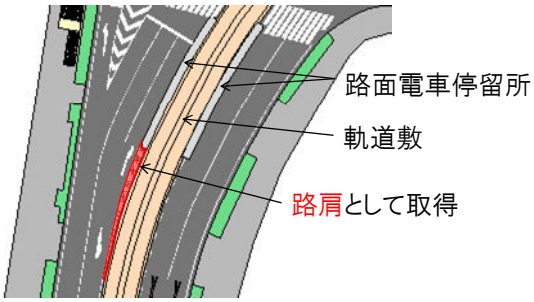
・　道路交差点の路肩，路面標示



・　交通島周囲の路肩



・　軌道敷及び路面電車停留所周囲の路肩



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 ：GM_Surface

車道外側線，車道端を境界線として取得し，それによって構成される領域を路肩の空間属性として取得する。車道端は，隣接する地物がマウントアップしている場合は縁石等の上端線とし，同一平面上に存在する場合は，縁石等の下端線とする。
ただし，区画線として車道外側線が引かれている場合，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
また，以下のような場合は，車道外側線が省略される。

- 車道に接続して舗装路肩があり，舗装路肩と車道との境界が色彩等によって明確な場合
- 歩車道境界に街渠があり，色彩・構造等により車道外側が明確な場合
- 中央分離帯等と車道との境界に街渠があり，色彩・構造等により車道外側が明確な場合

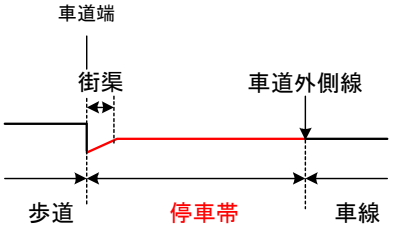
車線と路肩との境界が路面の色彩で明確であり、
車道外側線が省略された例

車道外側線が省略されている場合は路肩の設置は有無を横断図等により確認する必要がある。
車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

停車帯

主として車両の停車の用に供するために設置される道路の帯状の部分。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第14号，第9条



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

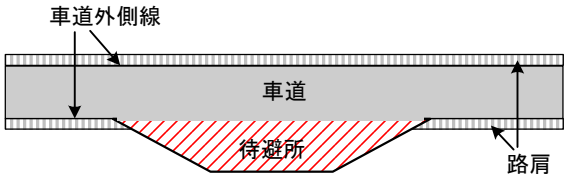
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
車道外側線，車道端を境界線として取得し，それによって構成される領域を定義する。
ただし，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
また，車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

待避所

一車線の道路において，車両のすれ違いのために車道の幅員を拡げる部分。

【取得根拠】
・道路法第30条第1項第9号
・道路構造令第30条



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

車道外側線がある場合は車道外側線がシフトする地点を結んだ線分及び車道外側線によって構成される領域を取得する。車道外側線が無い場合は，車道端がシフトしている地点を結んだ線分及び車道端によって構成される領域を取得する。ただし，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。

また，車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

乗合自動車停車所

バス乗客の乗降のため，本線車道から分離し，専用に使用される部分。

乗合自動車停車所の切り込み部も，乗合自動車停車所に含まれる。

〈バスベイ〉

道路を走行する車両に障害を与えることなく，バスの旅客の乗降を行うため，停車帯のない道路において，走行車線の外側にバスの停車専用に設けられた車道部分

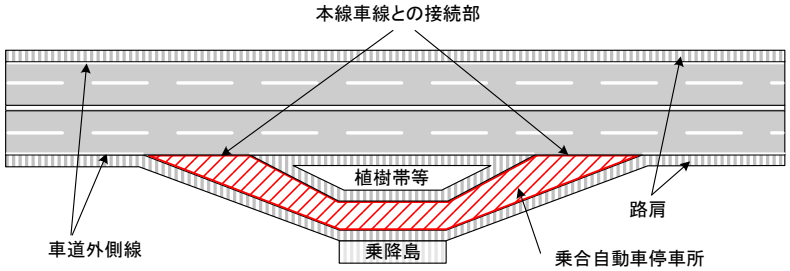
【取得根拠】

・道路構造令第2条第1項第16号，第31条の3，第32条(乗合自動車の停留所)

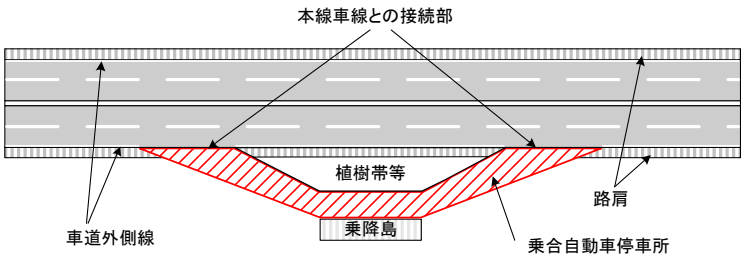
・道路構造令施行規則第2条

・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第17条

①　乗合自動車停車所に路肩を設ける場合

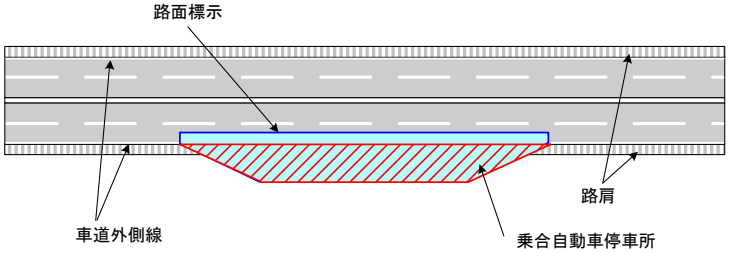


②乗合自動車停車所の路肩を省略する場合



③乗合自動車停車所を示す路面標示が車線内に食い込んでいる場合

車道外側線がシフトする地点を結んだ線分



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

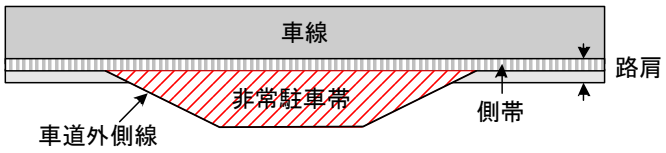
車道外側線，乗降島又は歩道との縁石線，本線車道との接続部，路面標示を境界線として取得し，それによって囲まれた領域を定義する。
ただし，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
また，車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

非常駐車帯

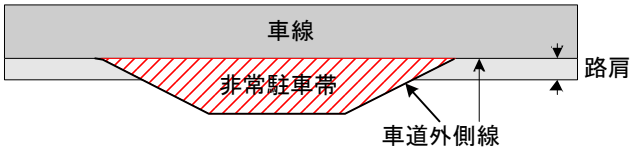
左側の路肩が狭く，故障車が本線車道から待避できないような道路において，左側路肩に接して駐車して事故を防止し，自動車を安全かつ円滑に通行させるため，ある間隔で設置される道路の帯状の部分。

【取得根拠】
・道路構造令第32条
・道路構造令施行規則第2条第1項第3号

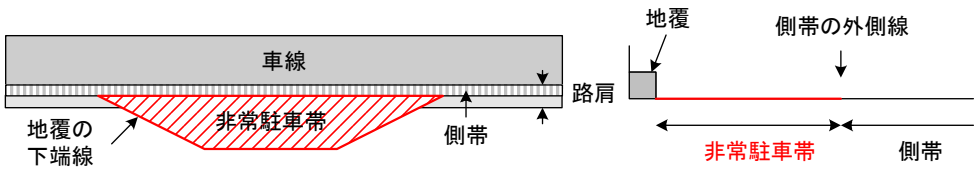
①土工に設けられている場合
＜側帯を設ける場合＞



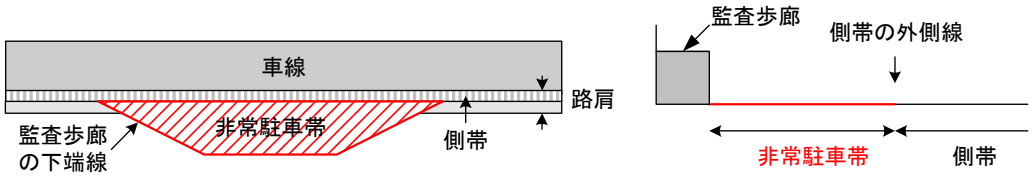
＜側帯を設けない場合＞



②　高架橋に設けられている場合



③トンネルに設けられている場合



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporal Positionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

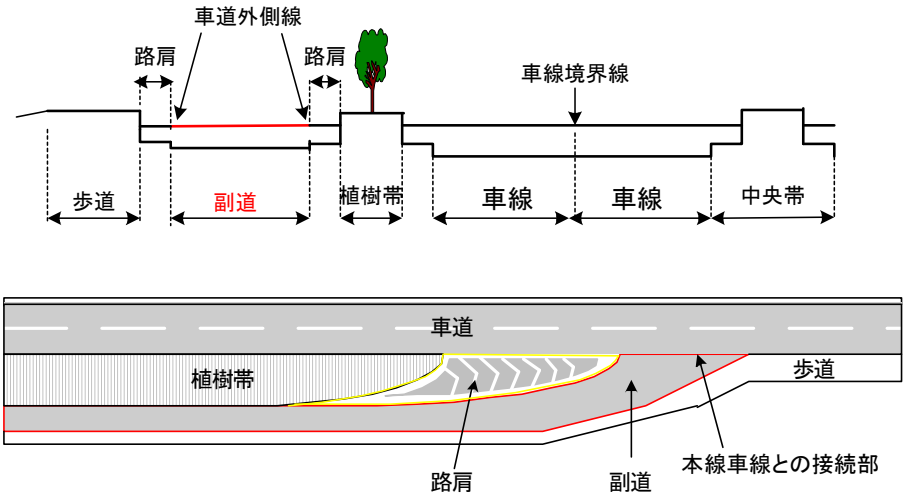
範囲 : GM_Surface

車道外側線，又は地覆の下端線，監査歩廊の下端線を境界線として取得し，それによって構成された領域を以下の通り定義する。
ただし，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
また，車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

副道

道路の構造が盛土や切土のために沿道と高低差が生じる等で沿道との出入りが妨げられる場合，車両の沿道への出入りを確保するために当該道路の部分として本線車道に平行して設置される道路。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第11号，第7条



上位クラス　：　車道部

抽象/具象区分　：　具象

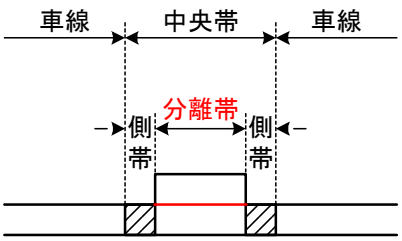
属性　：

データ有効期間 : TM_Period
　データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
　データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
　また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
　対象道路の建設において適用した構造令。
　例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
　対象道路の建設において適用した示方書。
　なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
　例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
　例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
　なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
　地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
　設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
範囲 : GM_Surface
　副道の車道外側線及び本線車線との接続部を境界線として取得し，それによって構成される領域を定義する。
　ただし，車道外側線は道路管理者によって設置場所が異なるため，境界線の取得については協議を行うものとする。
　また，車道部クラスのインスタンスを作成する場合は，当該インスタンスで取得した領域の部分を除く。

分離帯

同方向又は対向方向の交通流を二つの車道に分離するために道路の長手方向に設置される道路の島状の部分。

【取得根拠】
・道路構造令第6条第6項，第7項



上位クラス　：　島

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

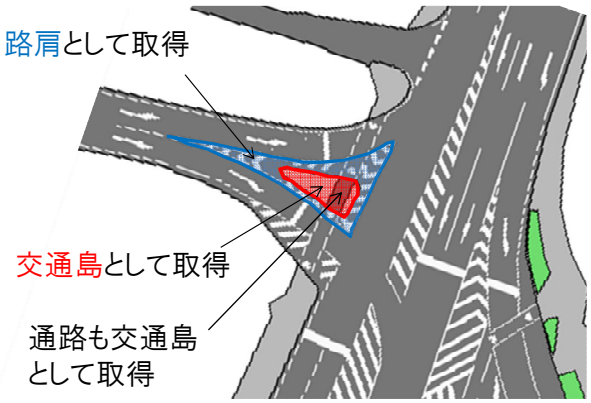
範囲 : GM_Surface
分離帯のマウントアップの下端線を境界線として取得し，それによって構成される領域を定義する。
ただし，島クラスのインスタンスを作成する場合は，島クラスのインスタンスで取得する領域の部分を除く。

交通島

車両の走行を制御し，歩行者を保護するために主として車線の間に設置される道路の島状の部分。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第16号

＜取得例＞



上位クラス　：　島

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲：GM_Surface

交通島の外周を境界線として取得し，それによって構成される領域を定義する。マウントアップしている場合は下端線を取得する。

交通島内の歩行者や自転車のための通路が設けられている部分も交通島として取得する。

交通島内に植樹されている場合は，植樹ますとして取得せず，全て交通島として取得する。

ただし，島クラスのインスタンスを作成する場合は，島クラスのインスタンスで取得する領域の部分を除く。

種別[0..1]：CharacterString

交通島の種類。

定義域

安全島，導流島，安全島及び導流島

ここで，導流島とは，右左折等の交通方向を指示し，規定するための誘導島，同方向又は対向の交通（主として直進の交通流）を分離するための分離島をいう。安全島とは，歩行者の待避スペースを提供する島であり，待避島とも呼ぶ。

注記　交通島は，安全島と導流島の双方の機能を兼ねることがある。

自転車歩行者道

専ら自転車及び歩行者の通行の用に供するため，縁石線又は柵その他これらに類する工作物により区画して設置される道路の部分。

【取得根拠】

・道路構造令第2条第1項第3号，第10条の2

・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第3条，第4条

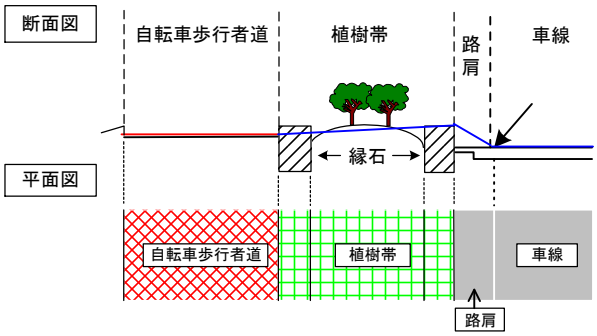
・歩道における安全かつ円滑な通行の確保について

＜自転車歩行者専用道路＞

専ら自転車及び歩行者の一般交通の用に供するものとして指定された道路又は道路の部分。

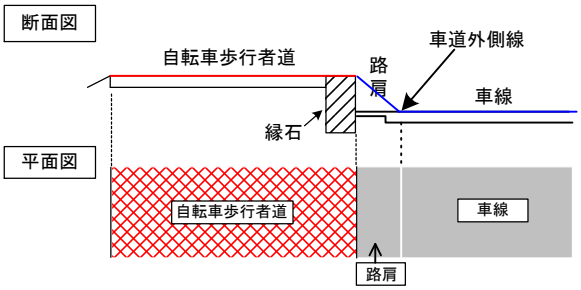
①自転車歩行者道と植樹帯

縁石の自転車歩行者道側の境界線と自転車歩行者道端によって構成される領域

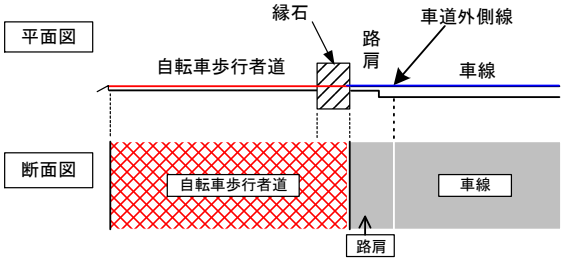


②自転車歩行者道と車道(自転車歩行者道が車道面よりも高いマウントアップ型)

縁石の車道側の境界線と自転車歩行者道端によって構成される領域



③自転車歩行者道と車道(自転車歩行者道面と車道面を同一の高さとしたフラット型)
縁石や柵・壁の自転車歩行者道側の境界線(ただし下端線)と自転車歩行者道端によって構成される領域



上位クラス　：　歩道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

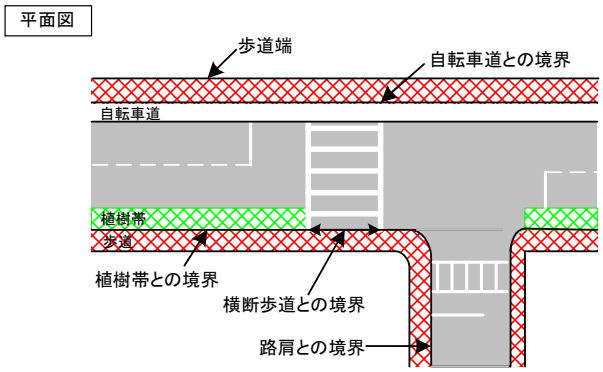
範囲 : GM_Surface
自転車歩行者道端，植樹帯，路肩，車道，横断歩道の境界を取得し，それによって構成される領域を上記の例図のとおり定義する。
ただし，歩道部クラスのインスタンスを作成する場合は，歩道部クラスのインスタンスで取得する領域の部分を除く。
自転車歩行者道上に自転車駐車場が設けられている場合は，自転車駐車場の領域以外の部分を自転車歩行者道として取得する，

歩道

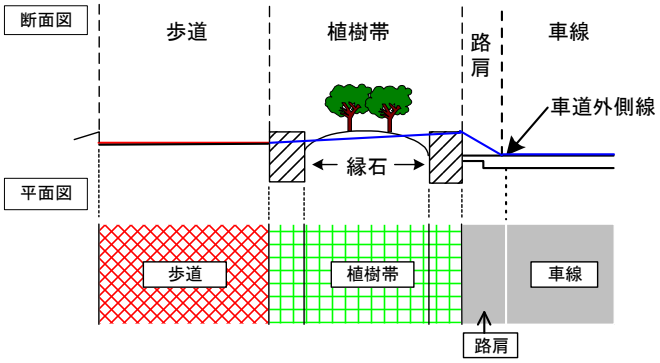
専ら歩行者の通行の用に供するため，縁石線又は柵その他これらに類する工作物により区画して設置される道路の部分。

【取得根拠】

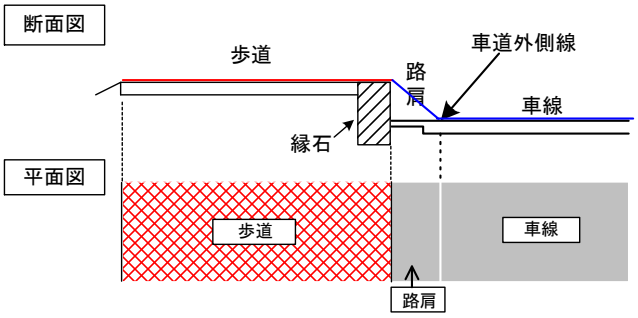
・道路構造令第2条第1項第1号，第11条
・道路交通法第2条第1項第2号
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第3条，第4条
・歩道における安全かつ円滑な通行の確保について



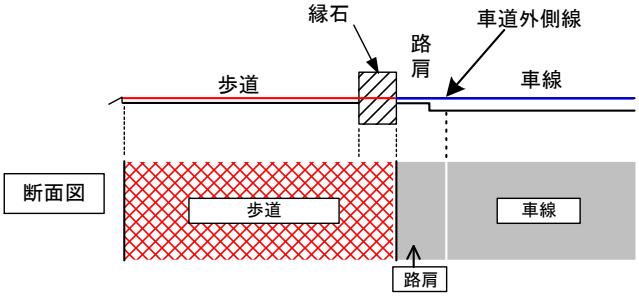
①歩道と植樹帯
縁石の歩道側の境界線と歩道端によって構成される領域



②歩道と車道（歩道面が車道面よりも高いマウントアップ型）
縁石の車道側の境界線と歩道端によって構成される領域

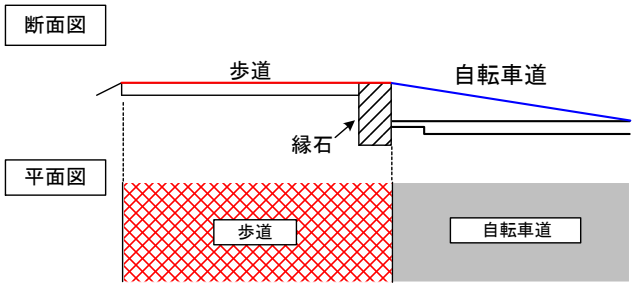


③歩道と車道（歩道面と車道面を同一の高さとしたフラット型）
　縁石や柵・壁の車道側の境界線（ただし下端線）と歩道端によって構成される領域



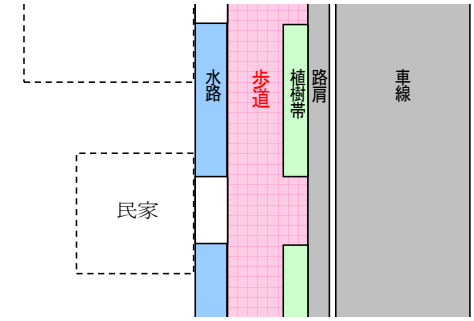
④歩道と自転車道（縁石やその他工作物によって区画されている場合）

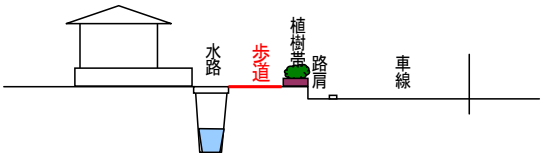
縁石の自転車道側の境界線と歩道端によって構成される領域



⑤歩道と用水路

構造上，歩道である部分を歩道とする。





上位クラス　：　歩道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 ：GM_Surface

歩道端，植樹帯，自転車道，路肩，車道，横断歩道の境界を取得し，それによって構成される領域を上記の例図のとおり定義する。

ただし，歩道部クラスのインスタンスを作成する場合は，歩道部クラスのインスタンスで取得する領域の部分を除く。

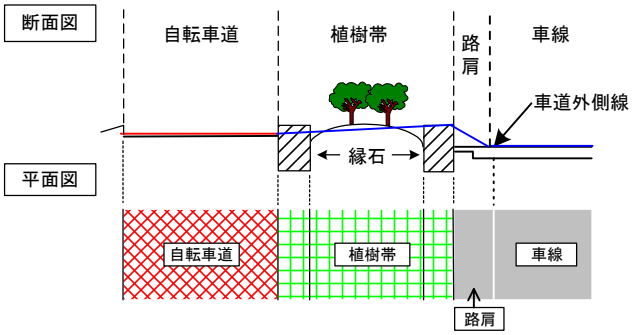
歩道上に自転車駐車場が設けられている場合は，自転車駐車場の領域以外の部分を歩道として取得する，

自転車道

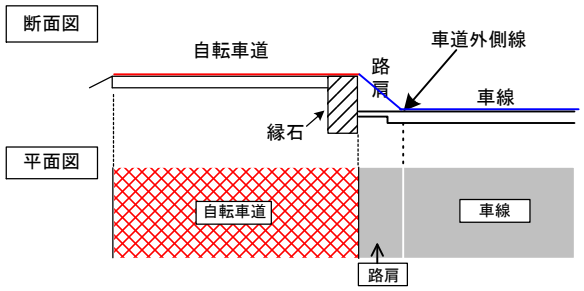
専ら自転車の通行の用に供するため，縁石線又は柵その他これらに類する工作物により区画して設置される道路の部分。

【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第2号，第10条
・道路交通法第2条第1項第3号の3
・自転車道等の設計基準について

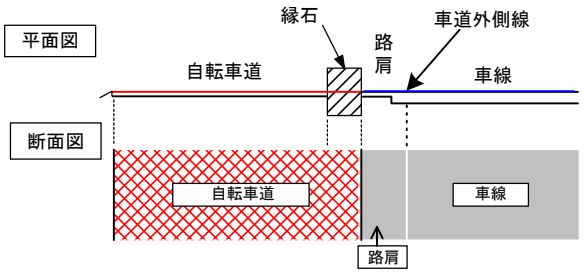
①自転車道と植樹帯
縁石の自転車道側の境界線と自転車道端によって構成される領域



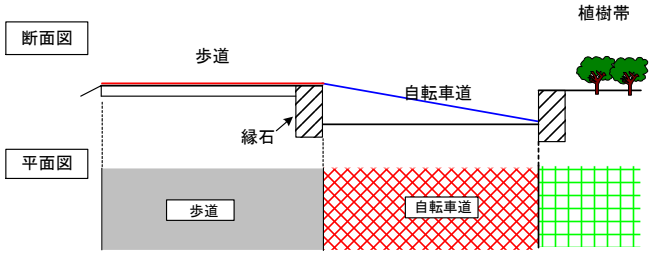
②自転車道と車道（自転車道面が車道面よりも高いマウントアップ型）
縁石の車道側の境界線と自転車道端によって構成される領域



③自転車道と車道（自転車道面と車道面を同一の高さとしたフラット型）
縁石や柵・壁の車道側の境界線（ただし下端線）と自転車道端によって構成される領域



④自転車道と歩道
縁石の自転車道側の境界線（下端線）によって構成される領域



上位クラス　：　歩道部

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporal Positionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

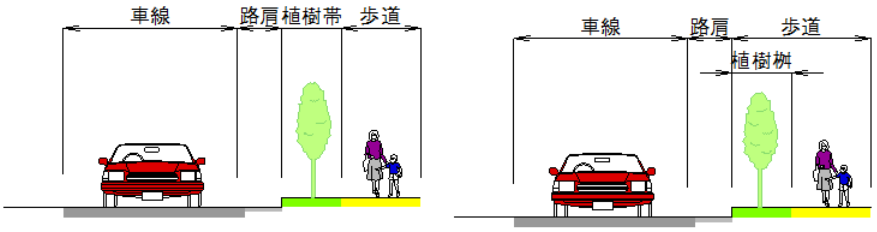
範囲 : GM_Surface

自転車道端，植樹帯，歩道，路肩，車道，横断歩道の境界を取得し，それによって構成される領域を上記の例図のとおり定義する。
ただし，歩道部クラスのインスタンスを作成する場合は，歩道部クラスのインスタンスで取得する領域の部分を除く。
自転車道上に自転車駐車場が設けられている場合は，自転車駐車場の領域以外の部分を自転車道として取得する，

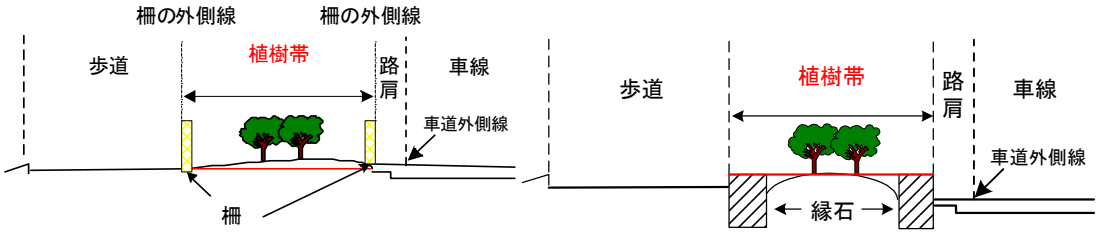
植樹帯

専ら良好な道路交通環境の整備又は沿道における良好な生活環境の確保を図ることを目的として，樹木を植栽するために，縁石線又は柵その他これらに類する工作物により区画して設置される帯状の道路の部分。ただし，交通島内の植樹部分を除く。

「植樹帯」とは，従来設けられていた連続的な植栽部分を新たに道路の部分と位置づけ，植樹帯として設計することになったものである。このため，歩道上に設けられる植樹枡と区別されるほか，交通島や分離帯は，たとえ樹木等が植栽されていても，その設置目的を異にするため，これに含まない。
「植樹ます」とは，植樹帯と同様な場所に設置され，植栽地としての機能もほぼ同様であるが，道路横断面構成要素としては歩道等の一部であり，連続的な植栽地となりにくい点が異なる。



【取得根拠】
・道路構造令第2条第1項第17号，第11条の4
・道路緑化技術基準の改正について



上位クラス　：　植栽

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
植樹帯を構成する縁石線や柵その他これに類する工作物との境界線を取得し，それによって構成される領域を定義する。縁石がある場合は縁石の外側線を境界線とする。マウントアップがある場合は植樹帯を構成する縁石等の上端線を取得する。縁石がなく，柵やその他これに類する工作物がある場合はそれらの植樹帯から見て外側の下端線を境界線として取得する。また，縁石線や柵その他これに類する工作物が無く，杉並木など既存の樹木を生かして植樹帯が設けられている場合は，道路構造令の一般的基準の範囲外と考えられるため，協議を行うものとする。
ただし，植栽クラスのインスタンスを作成する場合は，植栽クラスのインスタンスで取得する領域の部分を除く。

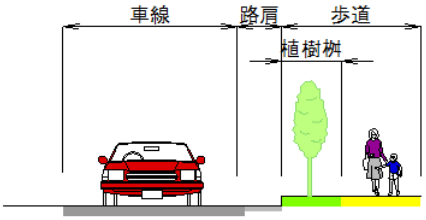
種別[0..1] : CharacterString
植栽された植物の区分
定義域
並木，植樹
道路用地の中に列状に植栽される高木を並木とし，それ以外の植栽を植樹とする。
ここで，高木とは，樹高3m 以上の樹木をいう。

植樹ます

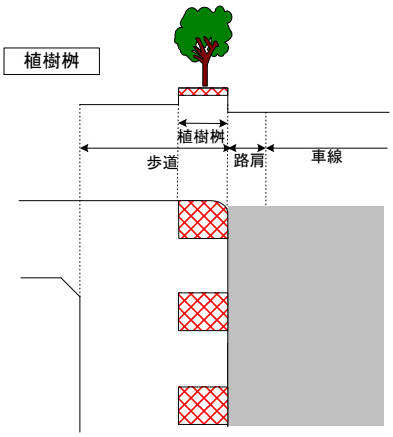
歩道上に街路樹(並木)を植栽するための桝。交通島内の植樹部分を含む。

「植樹ます」とは，植樹帯と同様な場所に設置され，植栽地としての機能もほぼ同様であるが，道路横断面構成要素としては歩道等の一部であり，連続的な植栽地となりにくい点が異なる。

「植樹帯」と「植樹ます」との区分については，「植樹帯」の項を参照する。



【取得根拠】
・道路緑化技術基準の改正について



上位クラス　：　植栽

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
植樹ますを構成する縁石線や柵その他これに類する工作物との境界線を取得し，それによって構成される領域を定義する。縁石がある場合は縁石の外側線を境界線とする。マウントアップがある場合は植樹ますを構成する縁石等

の上端線を取得する。縁石がなく，柵やその他これに類する工作物がある場合はそれらの植樹ますから見て外側の下端線を境界線として取得する。また，縁石線や柵その他これに類する工作物が無く，杉並木など既存の樹木を生かして植樹ますが設けられている場合は，道路構造令の一般的基準の範囲外と考えられるため，協議を行うものとする。
ただし，植栽クラスのインスタンスを作成する場合は，植栽クラスのインスタンスで取得する領域の部分を除く。

種別[0..1] : CharacterString
植栽された植物の区分
定義域
並木，植樹

道路関連地物パッケージ

道路関連地物

安全･円滑な通行の確保や道路管理のために必要な施設，又は公共的機能を有するため，道路管理者の許可を受けて道路を占用する施設で，道路又は道路に接して設置される地物の抽象クラス。

上位クラス　：　道路地物

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

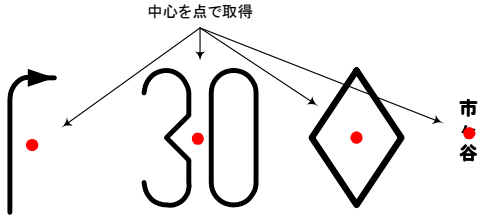
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

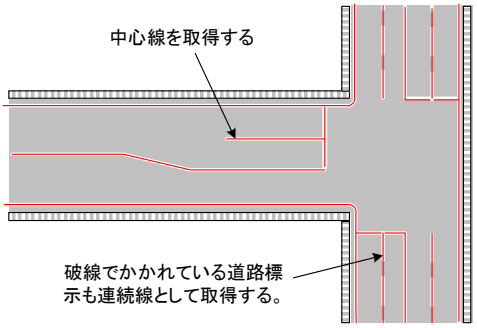
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

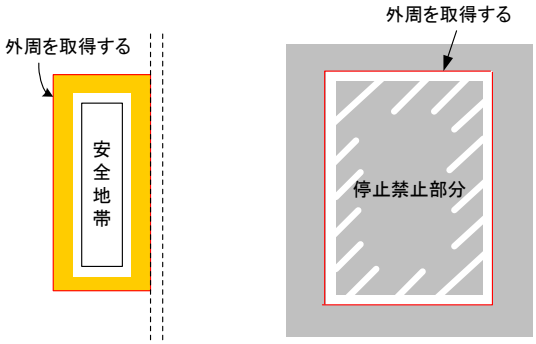
路面標示

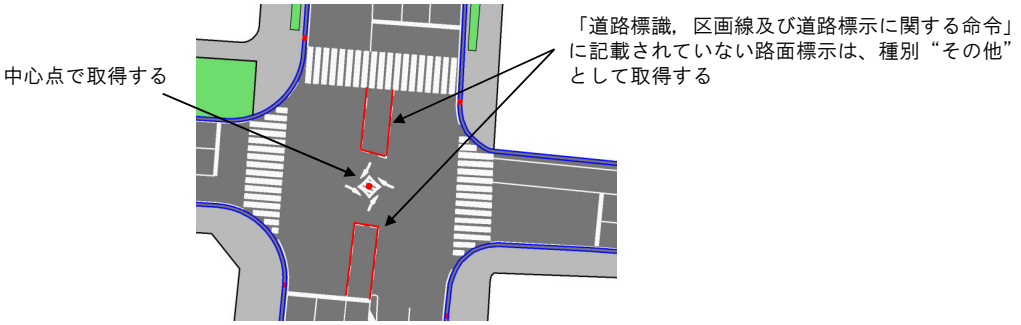
舗装された路面上に設置されるマーキング。ただし，「道路標識，区画線及び道路標示に関する命令」に記載されている区画線及び道路標示と，その他の路面標示も含めて対象とする。

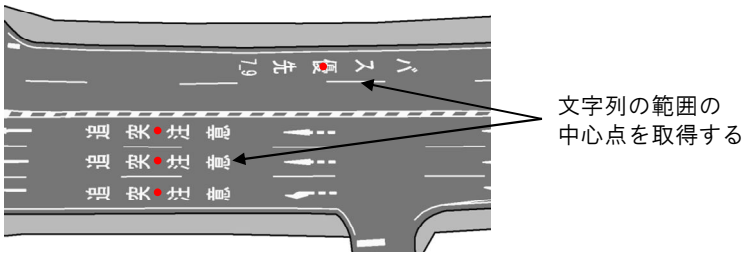
【取得根拠】
･道路交通法第2条第1項第16号(道路標示)
･道路標識，区画線及び道路標示に関する命令第2章(区画線)，第3章(道路標示)
参考資料
･改訂 路面標示設置の手引











上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間　: TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状[0..1] : GM_Primitive

文字や矢印，記号を表すものは中心位置（路面標示を最小の矩形で囲った場合の中心），車道中央線等の連続性のある線状のものは中心線，安全地帯等領域を表すものは外周を領域として取得する。

複数の文字から構成される路面標示は，文字列の中心位置を取得する。

ただし，以下に該当する路面標示を除く。

・車道中央線（101），車線境界線（102），車道外側線（103）：区画線クラスのインスタンスとして取得する。

・停止線（203），二段停止線（203の2）；停止線クラスのインスタンスとして取得する。

・横断歩道（201），斜め横断可（201の2），自転車横断帯（201の3）：横断歩道クラスのインスタンスとして取得する。

種別[0..1] : CharacterString

路面標示の種類。

定義域

区画線，指示標示，規制標示，不明

ここで，区画線，指示標示，規制標示とは以下のことをいう。

① 区画線

車道中央線，車線境界線，車道外側線，歩行者横断指導線，車道幅員の変更，路上障害物の接近，路上駐車場，導流帯

② 道路標示

a 指示標示

横断歩道，斜め横断可，自転車横断帯，右側通行，停止線，二段停止線，進行方向，中央帯，車線境界線，安全地帯，安全地帯又は路上障害物に接近，導流帯，路面電車停留場，横断歩道又は自転車横断帯あり，前方優先道路

b 規制標示

転回禁止，追越しのための右側部分はみ出し通行禁止，進路変更禁止，駐停車禁止，駐車禁止，最高速度，立入り禁止部分，停止禁止部分，路側帯，駐停車禁止路側帯，歩行者用路側帯，車両通行帯，優先本線車道，車両通行区分，特定の種類の車両の通行区分，牽引自動車の高速自動車国道通行区分，専用通行帯，路線バス優先通行帯，牽引自動車の自動車専用第一通行帯通行指定区間，進行方向別通行区分，右左折の方法，平行駐車，直角駐車，斜め駐車，普通自転車の歩道通行部分，普通自転車の交差点進入禁止，終わり

ただし，「道路標識，区画線及び道路標示に関する命令」に記載されている区画線及び道路標示で，警察にて所有する資料が収集出来ない場合は，「不明」とする。

「道路標識，区画線及び道路標示に関する命令」に記載されている区画線及び道路標示以外の路面標示は，「その他」とする（停止線や横断歩道よりも交差点内側にある，「右折誘導」，「指導線」及び「交差点標示」等）。

注記　「道路標識，区画線及び道路標示に関する命令」別表第4及び第6に示された区画線及び道路標示の形状・寸法・色が同一，かつ設置される場所が同一のものは，下記の地物クラスとしてインスタンスを作成する。

区画線	道路標示	取得方法
車道中央線	中央線	「区画線」として取得する。
車線境界線	車両通行帯 車線境界線	「車線境界線」として取得する。
路上障害物の接近	安全地帯又は路上障害物に接近	路上障害物に接近する場合は，「区画線」として取得する。 ただし，安全地帯に接近する場合は，「道路標示」として取得する。
導流帯	導流帯	「区画線」として取得する。
車道外側線	路側帯	「区画線」として取得する。 歩道の設けられていない道路，又は道路の歩道の設けていられない側の路端寄りに設けられ，かつ，実線で示されているものは「道路標示」として取得する。

コード[0..1] : CharacterString

路面標示のコード。

道路標識，区画線及び道路標示に関する命令別表第3及び第5に記載された区画線及び道路標示の番号

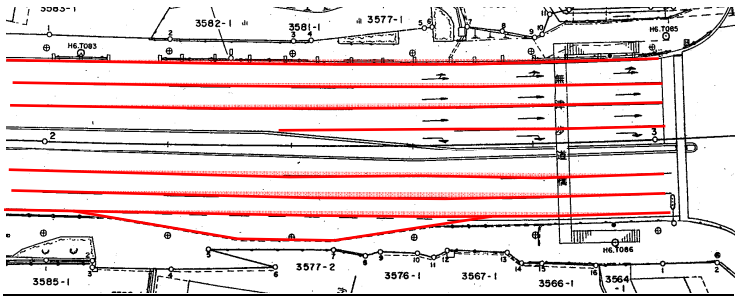
＜取得例＞

種類	番号
車道中央線	(101)
車線境界線	(102)
車道外側線	(103)
横断歩道	(201)
停止線	(203)

区画線

車線(すりつけ区間を含む)の境界を明示するための路面標示。車道中央線(コード:101)，車線境界線(コード:102)及び車道外側線(コード:103)を対象とする。

【取得根拠】
・道路法第45条
・道路法施行令第4条第1項第11号の4
・道路交通法第2条第2項
・道路標識，区画線及び道路標示に関する命令第2章
参考資料
・改訂 路面標示設置の手引(道路中央線，車線境界線，車道外側線)



上位クラス ： 路面標示

抽象/具象区分 ： 具象

属性 ：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状[0..1] : GM_Primitive
区画線クラスのインスタンスの場合は，この属性の値は取得しない。(XML文書では，この属性のタグを記述しない。)

種別[0..1] : CharacterString
区画線クラスのインスタンスの場合は，“区画線”を入力する。

コード[0..1] : CharacterString
路面標示のコード。
道路標識，区画線及び道路標示に関する命令別表第3及び第5に記載された区画線及び道路標示の番号
区画線クラスのインスタンスの場合は，下記の番号を入力する。

種類	番号
車道中央線	(101)
車線境界線	(102)
車道外側線	(103)

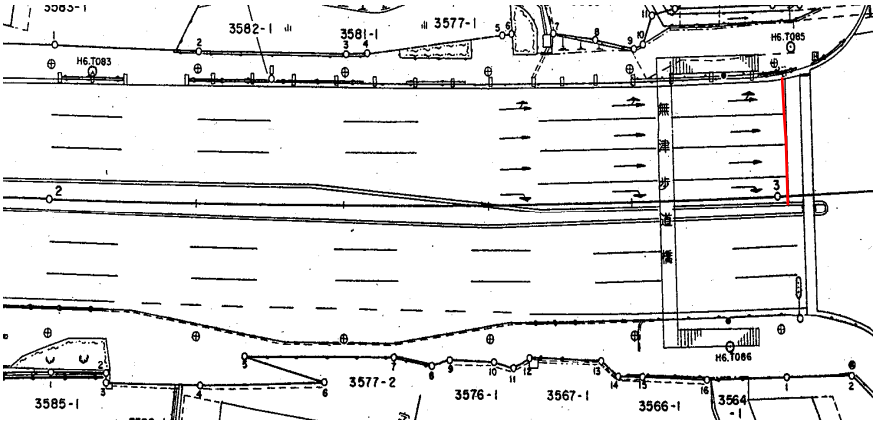
場所 : GM_Curve

道路中央線，車線境界線，車道外側線のマーキングの中心線を取得する。
区画線は，乗合停留所部分の車線境界線，車道外側線も含む。

停止線

停止線を明示する路面標示。停止線(コード:203)及び二段停止線(コード:203の2)を対象とする。

【取得根拠】
・道路標識，区画線及び道路標示に関する命令第3章
参考資料
・改訂 路面標示設置の手引



上位クラス　:　路面標示

抽象/具象区分　:　具象

属性　:

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状[0..1] : GM_Primitive

停止線クラスのインスタンスの場合は，この属性の値は取得しない。(XML文書では，この属性のタグを記述しない。)

種別[0..1] : CharacterString

停止線クラスのインスタンスの場合は，“指示標示”を入力する。

コード[0..1] : CharacterString

路面標示のコード。
道路標識，区画線及び道路標示に関する命令別表第3及び第5に記載された区画線及び道路標示の番号
停止線クラスのインスタンスの場合は，下記の番号を入力する。

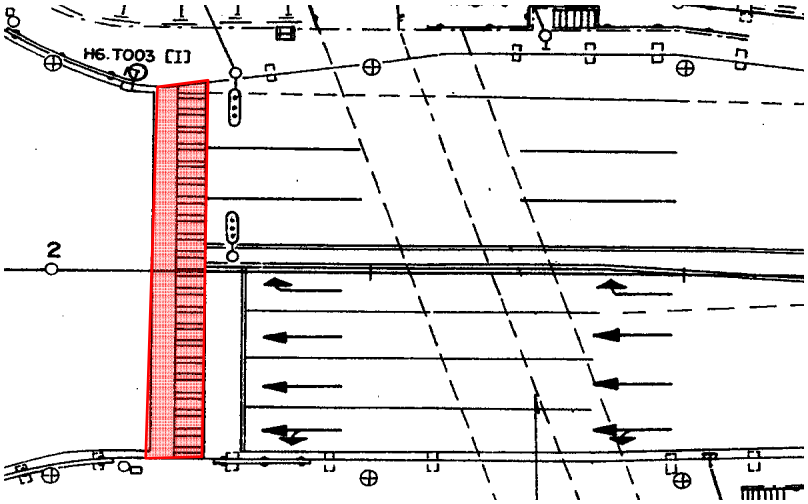
種類	番号
停止線	(203)
二段停止線	(203の2)

場所 : GM_Curve
停止線（二段停止線を含む）のマーキングの中心線を取得する。

横断歩道

車道部のうち，主に交差点付近で歩行者又は自転車が横断するために路面標示で区分される部分。横断歩道(コード:201)，斜め横断可(コード:201の2)及び自転車横断帯(コード:201の3)を対象とする。

【取得根拠】
・道路交通法第2条第1項第4号
・道路標識，区画線及び道路標示に関する命令第3章
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第9条
参考資料
・改訂 路面標示設置の手引



上位クラス ： 路面標示

抽象/具象区分 ： 具象

属性 ：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状[0..1] : GM_Primitive

横断歩道クラスのインスタンスの場合は，この属性の値は取得しない。（XML文書では，この属性のタグを記述しない。）

種別[0..1] : CharacterString

横断歩道クラスのインスタンスの場合は，“指示標示”を入力する。

コード[0..1] : CharacterString

路面標示のコード。
道路標識，区画線及び道路標示に関する命令別表第3及び第5に記載された区画線及び道路標示の番号
横断歩道クラスのインスタンスの場合は，下記の番号を入力する。

種類	番号
横断歩道	(201)
斜め横断可	(201の2)
自転車横断帯	(201の3)

範囲 : GM_Surface

横断歩道を表す路面標示の外周を領域として取得する。横断歩道が接する歩道部と境界線を一致させること。
・自転車横断帯が隣接している場合は，それも含めて取得する。
・斜め横断可（スクランブル横断歩道）の場合も同様に取得するが，時間を限定して行われる交差点で交差点中央部に路面表示が無い場合は，路面表示がある範囲のみを面で取得する。

立体横断施設

車道を横断する歩行者を車道から分離するための道路横断施設。横断歩道橋と地下横断歩道，渡り廊下がある。
渡り廊下とは，建築物内の多数人の避難又は道路交通の緩和等の公共的利便に寄与するために，道路の上方に設置される通路を指す。
立体横断施設のインスタンスは作成せず，横断歩道橋又は地下横断歩道をインスタンスとして作成する。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第5号(通路)
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第11条
・立体横断施設技術基準及び道路標識設置基準について
・道路の上空に設ける通路の取扱等について
・建築物の屋上部を連結する通路の取扱等について

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

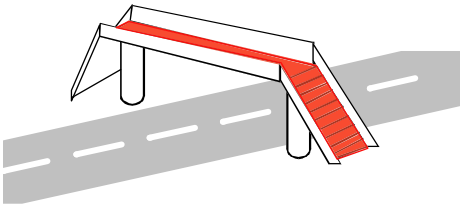
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

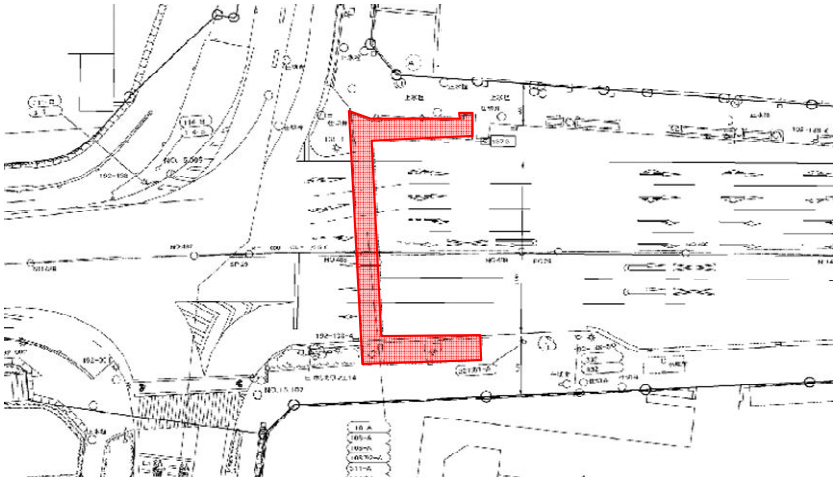
名称[0..1] : CharacterString
立体横断施設の名称。
種別[0..1] : CharacterString
立体横断施設の種類。
定義域
横断歩道橋，地下横断歩道，渡り廊下

横断歩道橋

車道を横断する歩行者を車道から分離するための通路が，道路の上方に設置される道路横断施設。

【取得根拠】
・道路法第30条第1項第10号
・道路構造令第31条
参考資料
・立体横断施設技術基準・同解説
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定





上位クラス　：　立体横断施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

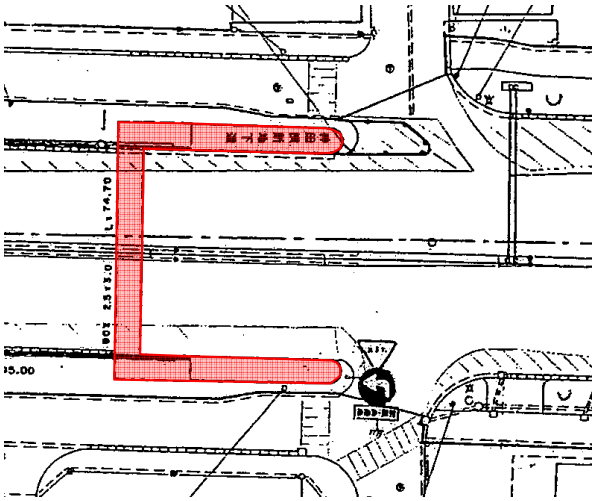
データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

名称[0..1] : GM_Primitive
立体横断施設の名称。
種別[0..1] : CharacterString
立体横断施設の種類。
定義域
横断歩道橋，地下横断歩道，渡り廊下
横断歩道橋クラスのインスタンスの場合は，“横断歩道橋”を入力する。
範囲 : GM_Surface
横断歩道橋（階段，斜路，エレベータ，エスカレータ，踊り場を含む）について，歩行者の通行に供する部分の外周を領域として取得する。

地下横断歩道

車道を横断する歩行者を車道から分離するための通路が，道路の下方に設置される道路横断施設。

【取得根拠】
・道路構造令第31条
参考資料
・立体横断施設技術基準・同解説
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定



上位クラス　：　立体横断施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

名称[0..1] : GM_Primitive

立体横断施設の名称。

種別[0..1] : CharacterString

立体横断施設の種類。

定義域

横断歩道橋，地下横断歩道，渡り廊下

地下横断歩道クラスのインスタンスの場合は，“地下横断歩道”を入力する。

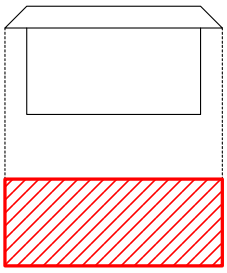
範囲 : GM_Surface

地下横断歩道（階段，斜路，踊り場を含む）について，歩行者の通行に供する部分の外周を領域として取得する。

建築物

道路管理者が設置し管理している建築物及び地下街，地下鉄駅等に連結する出入口。

ただし，建造物クラス又は地下出入口クラスのインスタンスを作成する建築物は，建築物クラスのインスタンスを作成しない。



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

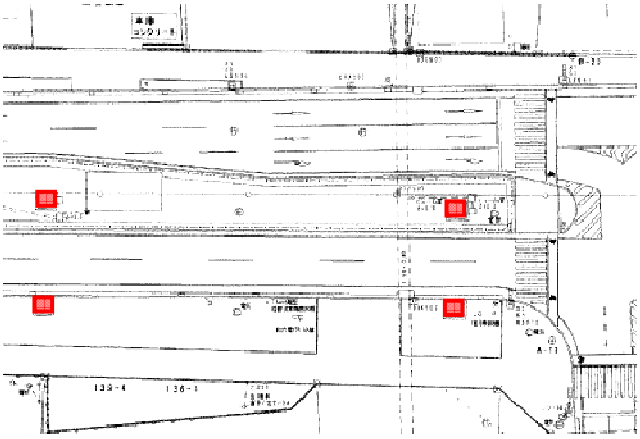
範囲 : GM_Surface

建築物の屋根の外周を領域として取得する。

橋脚

道路上の空間を占用している当該道路以外の構造物を支える橋脚。道路が立体構造であり，当該道路に接続するランプの橋脚がある場合は，それを含む。ただし，橋台を除く。

【取得根拠】
参考資料
・道路橋示方書・同解説



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
橋脚の接地部分の外周を領域として取得する。横断歩道橋の橋脚も含む。

道路関連地物.拡張サブパッケージ

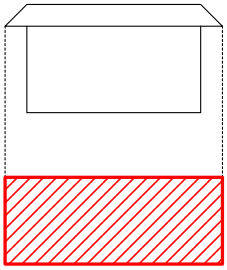
建造物

道路管理者が管理している建築物。
庁舎，観測施設，通信施設のための建造物，上屋及びアーケード等を指す。
上屋とは，道路の歩行者等の利用形態から，高齢者等の交通弱者が多数利用する施設の周辺，ショッピングモール，コミュニティー道路，遊歩道，道の駅，サービス・エリアなどにベンチに付随して設

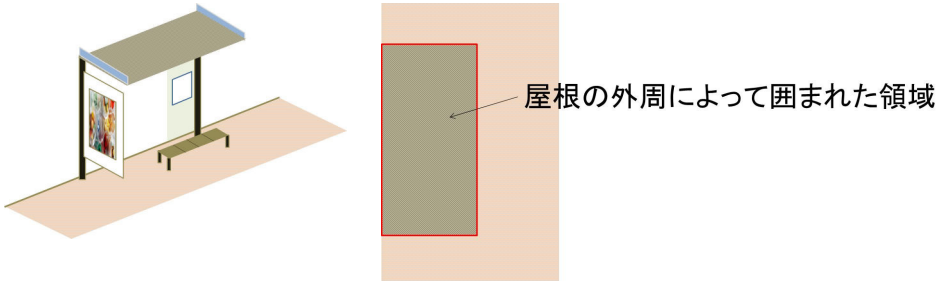
けられる施設である。道路管理者が設ける上屋及び路線バス事業者，タクシー事業者の団体，地方公共団体，自治会，商店会その他これらに準ずるものが設ける上屋を含む。

ただし，建築物クラスのインスタンスを作成する建築物については，建造物クラスのインスタンスは作成しない。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第4号（歩廊，雪よけその他これらに類する施設）
・道路法施行令第34条の3（ベンチ又はその上屋）
・ベンチ及び上屋の道路占用の取扱いについて
・アーケードの取扱について
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程　大縮尺地形図図式規定



・バスの停留所の上屋の取得例



鳥瞰図　　平面図

上位クラス　：　建築物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間　：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間　：TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition（不確定位置）の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
建造物の屋根の外周を領域として取得する。
名称[0..1] : CharacterString
施設名称が無き場合は，「なし」と明記する。
種別[0..1] : CharacterString
建造物の種類。
定義域
建造物，上屋，アーケード

地下出入口

地下街，地下鉄駅等に連結する出入口。

ただし，建築物クラスのインスタンスを作成する地下出入口については，地下出入口クラスのインスタンスは作成しない。

【取得根拠】
・地下鉄出入口案内の標識の取扱いについて(地下鉄出入口)
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(地下街・地下鉄等出入口)

上位クラス ： 建築物

抽象/具象区分 ： 具象

属性 ：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
範囲 : GM_Surface
構造物の屋根の外周を領域として取得する。
種別[0..1] : CharacterString
地下出入口の用途。
定義域
地下鉄，地下街，地下通路

柵・壁

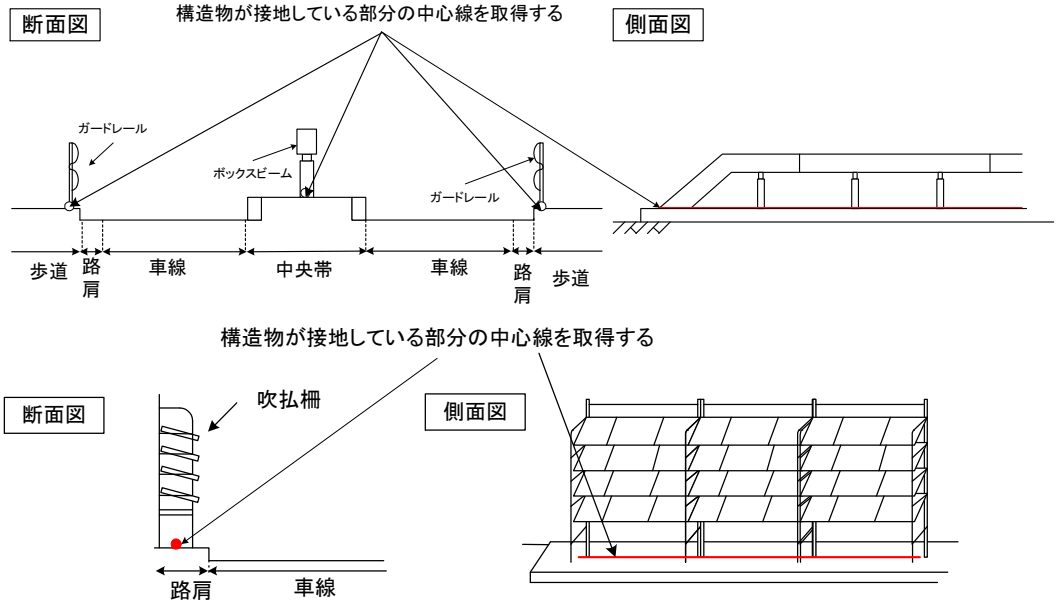
車両の路外逸脱防止，歩行者の保護，歩行者の横断抑制，落石防護，防雪，遮音を目的とする柵又は壁。

【取得根拠】
・道路法第2条第2項第1号(さく又は駒止)，第30条第1項第10号(さく)
・道路法施行令第34条の3第1項第1号(防雪又は防砂のための施設)

・道路構造令第31条(さく)，第33条第2項(さく)
・道路構造令施行規則第3条(駒止)
・防護柵の設置基準の改訂について(防護柵)
・ガードレールの種別表示等について(ガードレール)

参考資料

・車両用防護柵標準仕様・同解説
・道路防雪便覧
・落石対策便覧



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
構造物が帯状の場合，接地している部分の中心線を取得する。構造物が柱状の場合，接地中心位置を取得する。

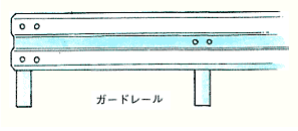
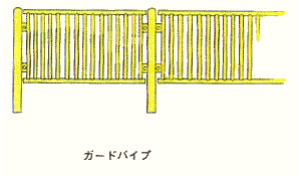
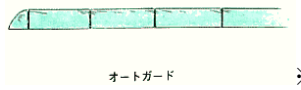
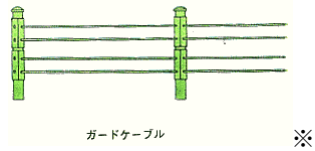
種別 [0..1] : CharacterString
柵・壁の種類。
定義域

ビーム型防護柵，ガードレール，ガードパイプ，ボックスビーム，オートガード，ガードケーブル，コンクリート製壁型防護柵，転落（横断）防止柵，フェンス，立ち入り防止柵，コンクリート製壁型防止柵，落石防護柵，防雪柵，雪崩発生予防柵，車止めポスト，車止めポール，遮光フェンス，防砂柵，遮音壁，駒止

落石防護柵は，編柵工を含む。
防雪柵とは，吹きだめ柵，吹き払い柵のことでである。
雪崩発生予防柵とは，雪崩予防柵，雪庇予防柵，吊柵，雪崩防護柵のことである。

ここで，防護柵は車両用防護柵及び歩行者自転車用柵に区分され，それぞれ以下のような特徴を持つ。

○車両用防護柵：

<table>
<tr><td colspan="3">ビーム型防護柵</td></tr>
<tr><td></td><td>ガードレール</td><td>連結された波型断面のビームを支柱でささえた構造となっているもの</td><td>  ※</td></tr>
<tr><td></td><td>ガードパイプ</td><td>連結された複数のパイプを支柱で支えた構造となっているもの</td><td>  ※</td></tr>
<tr><td></td><td>ボックスビーム</td><td>連結された角型パイプを支えた構造となっているもの</td><td> </td></tr>
<tr><td></td><td>オートガード</td><td>鉄筋コンクリート製のビーム（桁）を主体とした構造となっているもの</td><td>  ※</td></tr>
<tr><td colspan="3">ケーブル型防護柵</td></tr>
<tr><td></td><td>ガードケーブル</td><td>弾性域内で働く複数のケ-ブルと支柱により構成されているもの</td><td>  ※</td></tr>
<tr><td>コンクリート壁型防護柵</td><td></td><td>柵前面が塑性変形しないコンクリート製の垂直面又は傾斜面の構造になっているもの</td><td> </td></tr>
</table>

※出典：山形河川国道事務所「“みち”に関する用語辞典」
http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/word/

○歩行者自転車用柵：

<table>
<tr><td>転落（横断）防止柵</td><td>歩行者等の転落防止・横断防止などを目的として路側又は歩車道境界に設置されるもの</td><td> </td></tr>
</table>

その他の柵の例を以下に示す。

<table>
<tr><td>立ち入り防止柵の例</td><td>車止めポスト（車止めポール）の例</td></tr>
<tr><td> 立ち入り防止柵とフェンスは類似する種別であるが，</td><td> </td></tr>
</table>

立ち入り防止を目的としている場合は，「立ち入り防止柵」として取得しその他の目的の場合には「フェンス」として取得する。	車止めポスト及び車止めポールは同様の種別であるため，特に指定が無い場合は，「車止めポスト」として取得する。

斜光フェンスの例	防砂柵の例	遮音壁の例

道路反射鏡

他の車両等を確認するための反射鏡。

【取得根拠】
・道路法施行令第34条の3第1項第4号(鏡)
・道路構造令施行規則第3条第1項第4号(鏡)
参考資料
・道路反射鏡設置指針
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(カーブミラー)

上位クラス ： 道路関連地物

抽象/具象区分 ： 具象

属性 ：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point
柱が道路反射鏡の専用柱の場合は，支柱の接地位置を取得する。
他の地物に添加している場合は，「道路反射鏡」の中心位置を取得する。
柱が専用柱か否かの区分が明確ではない場合，支柱は「柱」として取得し，道路反射鏡の中心位置を「道路反射鏡」として取得する。

道路標識

道路を利用する上で必要な案内，警戒，規制又は指示に関する情報を道路利用者に伝達する機能を有する標識。ただし，「道路標識，区画線及び道路標示に関する命令」に記載されている道路標識のみを対象とする。

「道路標識，区画線及び道路標示に関する命令」別表第2に示される道路標識の一覧を附属書1に示す。

【取得根拠】
・道路法第2条第2項第3号，第45条
・道路法施行令第4条第1項第11号の4
・道路構造令施行規則第3条第1項第2号
・道路交通法第2条第1項第15号
・道路標識，区画線及び道路標示に関する命令第1章
・道路標識設置基準の改訂について

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point
道路標識板の中心位置を取得する。表裏に存在する場合は各々取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
定義域
案内標識，警戒標識，規制標識，指示標識，補助標識，不明

ここで案内標識，警戒標識，規制標識，指示標識，補助標識とは以下をさす。

①案内標識
「市町村」，「都府県」，「入口の方向」，「入口の予告」，「方面・方向及び距離」，「方面及び距離」，「方面及び車線」，「方面及び方向の予告」，「方面及び方向」，「方面，方向及び道路の通称名の予告」，「方面，方向及び道路の通称名」，「出口の予告」，「方面及び出口の予告」，「方面，車線及び出口の予告」，「方面及び出口」，「出口」，「著名地点」，「主要地点」，「料金徴収所」，「サービス・エリアの予告」，「サービス・エリア」，「非常電話」，「待避所」，「非常駐車帯」，「駐車場」，「登坂車線」，「国道番号」，「都道府県番号」，「総重量限度緩和指定道路」，「道路の通称名」，「まわり道」

②警戒標識
「十字道路交差点あり」，「ト形道路交差点あり」，「T形道路交差点あり」，「Y形道路交差点あり」，「ロータリーあり」，「右（又は左）方屈曲あり」，「右（又は左）方屈折あり」，「右（又は左）背向屈曲あり」，「右（又は左）背向屈折あり」，「右（又は左）つづら折りあり」，「踏切あり」，「学校，幼稚園，保育所等あり」，「信号機あり」，「すべりやすい」，「落石のおそれあり」，「路面凹凸あり」，「合流交通あり」，「車線数減少」，「幅員減少」，「二方向交通」，「上り急勾配あり」，「下り急勾配あり」，「道路工事中」，「横風注意」，「動物が飛び出すおそれあり」，「その他の危険」

③規制標識
「通行止め」，「車両通行止め」，「車両進入禁止」，「二輪の自動車以外の自動車通行止め」，「大型貨物自動車等通行止め」，「特定の最大積載量以上の貨物自動車等通行止め」，「二輪の自動車原動機付自転車通行止め」，「自転車以外の軽車両通行止め」，「自転車通行止め」，「車両（組合せ）通行止め」，「指定方向外進行禁止」，「車両横断禁止」，「転回禁止」，「追越しのための右側部分はみ出し通行禁止」，「追越し禁止」，「駐停車禁止」，「駐車禁止」，「駐車余地」，「時間制限駐車区間」，「危険物積載車両通行止め」，「重量制限」，「高さ制限」，「最大幅」，「最高速度」，「特定の種類の車両の最高速度」，「最低速度」，「自動車専用」，「自

転車専用」，「自転車及び歩行者専用」，「歩行者専用」，「一方通行」，「車両通行区分」，「特定の種類の車両の通行区分」，「牽引自動車の高速自動車国道通行区分」，「専用通行帯」，「路線バス等優先通行帯」，「牽引自動車の自動車専用道路第一通行帯通行指定区間」，「進行方向別通行区分」，「原動機付自転車の右折方法（二段階）」，「原動機付自転車の右折方法（小回り）」，「警笛鳴らせ」，「警笛区間」，「徐行」，「前方優先道路」，「一時停止」，「前方優先道路･一時停止」，「歩行者通行止め」，「歩行者横断禁止」

④指示標識
「並進可」，「軌道敷内通行可」，「駐車可」，「停車可」，「優先道路」，「中央線」，「停止線」，「横断歩道」，「自転車横断帯」，「横断歩道･自転車横断帯」，「安全地帯」，「規制予告」

⑤補助標識
「距離・区域」，「日・時間」，「車両の種類」，「駐車余地」，「始まり」，「区間内」，「区域内」，「終わり」，「通学路」，「追越し禁止」，「前方優先道路」，「踏切注意」，「横風注意」，「動物注意」，「注意」，「注意事項」，「規制理由」，「方向」，「地名」，「始点」，「終点」

可変式の道路標識は，道路情報管理施設で取得する。

コード[0..1] : CharacterString
道路標識，区画線及び道路標示に関する命令に別表1に記載された道路標識の番号
＜取得例＞

種類	番号
市町村	(101)
通行止め	(301)
最高速度	(323)

道路情報管理施設

道路情報の収集，伝送，提供，処理に関連する施設。

【取得根拠】
･道路法第2条第2項第4号(道路情報提供装置，車両監視装置，気象観測装置，緊急連絡施設その他これらに類するもの)
･道路構造令施行規則第2条

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
構造物の中心位置を取得する。ただし，種別が車両諸元計測装置の場合は，構造物の外周を取得する。

系統 [0..1] : CharacterString
定義域
情報収集系，情報提供系，情報収集提供系，不明

道路管理者に確認して不明なものは，「不明」とする。

ここで，情報収集系とは，ＣＣＴＶ，車両感知器，車両諸元計測装置，気象観測装置，災害検知器，振動計，騒音計，大気汚染自動計測装置，非常電話をさす。情報提供系とは，道路情報板，情報ターミナル，路測放送装置，非常警報装置，道路交通遮断装置をさす。情報収集提供系とは，情報コンセント，ビーコン，テレメータ，路測無線装置をさす。

種別 [0..1] : CharacterString

道路情報管理施設の種類。

定義域

CCTV，車両感知器，車両諸元計測装置，振動計，騒音計，大気汚染自動計測装置，非常電話，情報ターミナル，路側放送装置，非常警報装置，道路交通遮断施設，情報コンセント，ビーコン，テレメータ，路側無線装置，火災報知器

ここで車両諸元計測装置とは，
軸数検知器，車両重量計，軸重計，車両高計，車両長計，車幅計，荷重計，ナンバー読取り装置
をいう。

気象観測装置

気温･気圧の変化，大気の状態や雨や風等，大気中の諸現象を観測するための装置。

【取得根拠】
･道路法第2条第2項第4号

上位クラス　：　道路情報管理施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive

構造物の中心位置を取得する。

系統 [0..1] : CharacterString

定義域
情報収集系

種別 [0..1] : CharacterString

気象観測施設の種類。

定義域

降水を検知する施設，雨量を計測する施設，降雨強度を計測する施設，降雪を検知する施設，降雪強度を計測する施設，降雪深を計測する施設，気温を計測する施設，路温を計測する施設，路面水分を計測する施設，湿度を計測する施設，路面凍結を検知する施設，路面冠水を検知する施設，透過率系（V.I.計），風向・風速計，吹流し，波浪計，越波計，検潮器（潮位計）

災害検知器

落石，地すべり，雪崩及び地震の発生を検知するための装置。

【取得根拠】

参考資料
・落石対策便覧

上位クラス　：　道路情報管理施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
形状 : GM_Primitive
構造物の中心位置を取得する。
系統 [0..1] : CharacterString
定義域
情報収集系
種別 [0..1] : CharacterString
災害検知器の種類。
定義域
雪崩検知器，地滑り検知器，地震計測装置，落石検知器
計器 [0..1] : Set<計測器>
災害検知器に設置された計測器を参照する。

道路情報板

交通の安全と円滑な通行を確保するため，道路，気象及び交通の状況やそれらに伴う交通規制の状況等，日時により異なる道路情報を利用者に提供する装置。

【取得根拠】
・道路情報表示装置の規格について(道路情報表示装置)
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定

上位クラス　：　道路情報管理施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive

構造物の中心位置を取得する。

系統 [0..1] : CharacterString

定義域
情報提供系

種別 [0..1] : CharacterString

道路情報板の種類。
定義域
文字情報板，図形情報板

形式 [0..1] : CharacterString

道路情報板の形式。
定義域
A型，B型，C型，HL型

A型　　原則としてオーバーヘッド型式であるもの
B型　　原則として路側に設置し，表示幕により表示するもの。
C型　　原則として路側に設置し，表示板により表示するもの。
HL型　　フリーパターンの文字情報と図形情報を同時に提供できるもの。

表 5　道路情報板の種類

種類		外形寸法（幅×高さ）	取付方法	表示方式	表示窓数	標準表示文字数	適用時期
A型	透光式表示機	3000×900	門型支柱	文字を透明抜きに文字フィルム印刷し、内部証明により前面のピンボード板に文字を透過する。	３窓	各ブロック５文字	昭和40年代
	字幕式表示機	3000×900	門型支柱	文字を字幕フィルムに印刷し、表示する。夜間は内部照明にて表示する。	３窓	各ブロック５文字	昭和40年代
	電光式表示機（Ａ型）	7200×800 3680×1650	門型支柱 Ｆ型支柱	多数配列した白熱電球により、文字をドットで構成(点綴式)表示する。	１窓 上下段各１窓	14文字	昭和50年代
	電光式表示機（Ａ２型）	7200×1350	門型支柱	多数配列した白熱電球により、文字をドットで構成(点綴式)表示する。	上段、下段一括１窓	28文字	昭和50年代
	LED式表示機（ＡＬ２型）	7200×1350	門型支柱	多数配列したＬＥＤモジュールにより、文字をドットで構成（点綴式）表示する。	オーバーヘッド型A2型１窓 オーバーハング型上下段各１窓	14文字（7、3、4文字）	平成初期
B型	透光式表示機	2150×2000	Ｆ型支柱	文字を透明抜きに文字フィルム印刷し、内部証明により前面のピンボード板に文字を透過する。	上段、中段、下段、各１窓	各ブロック５文字	昭和40年代
	字幕式表示機	2150×2000	Ｆ型支柱	文字を字幕フィルムに印刷し、表示する。夜間は内部照明にて表示する。	上段、中段、下段、各1窓	各ブロック５文字	昭和40年代
C型	手動式表示機	1100×1200	単柱	表示板は手動により取り替えする。	上段、中段、下段、各１枚	各ブロック５文字程度	昭和40年代以前
HL型	高解像度LED式表示機（ＨＬ１型）	2660×2500	Ｆ型支柱	多数配列したＬＥＤモジュールにより、文字をドットで構成（点綴式）表示する。	１窓	16文字（4文字4段）	平成7年以降
	高解像度LED式表示機（ＨＬ２型）	3460×2500	Ｆ型支柱	多数配列したＬＥＤモジュールにより、文字をドットで構成（点綴式）表示する。	１窓	24文字（6文字4段）	平成7年以降
	高解像度LED式表示機（ＨＬ３型）	4900×2020	門型支柱	多数配列したＬＥＤモジュールにより、文字をドットで構成（点綴式）表示する。	１窓	27文字（9文字３段）	平成7年以降
	高解像度LED式表示機（ＨＬ４型）	7300X1540	門型支柱	多数配列したＬＥＤモジュールにより、文字をドットで構成（点綴式）表示する。	１窓	28文字（14文字２段）	平成7年以降
	高解像度LED式表示機（ＨＬ５型）	7300×2020	門型支柱	多数配列したＬＥＤモジュールにより、文字をドットで構成（点綴式）表示する。	１窓	42文字（14文字３段）	平成7年以降

出典：北海道開発局のあゆみ60年　第2章北海道総合開発を支えた技術のあゆみ第2節　道路事業の技術
(http://www.hkd.mlit.go.jp/topics/archives/60-2/index60-2.html)

計測器

災害検知器の構成要素となる計測器の抽象クラス。

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

伸縮計

地点の2点間の伸び縮みを測定する計測器。

【取得根拠】
参考資料
・道路土工-のり面工・斜面安定工指針
・落石対策便覧

上位クラス　：　計測器

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

変位計

地表面の2点間の距離の増減を測定する計測器。

【取得根拠】
参考資料
・道路土工-のり面工・斜面安定工指針
・落石対策便覧（ひずみ計）

上位クラス　：　計測器

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

土圧計

土圧を測定する計測器。

【取得根拠】
参考資料
・道路用語辞典

上位クラス　：　計測器

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

傾斜計

地盤（地表面及び地中），構造物の傾きを測定する計測器。

【取得根拠】
参考資料
・道路土工-のり面工・斜面安定工指針
・落石対策便覧

上位クラス　：　計測器

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

土壌水分計

土壌の水分量を測定する計測器。

【取得根拠】
参考資料
・落石対策便覧(湿潤状況)

上位クラス　：　計測器

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

光ファイバー

光通信のための伝送媒体。架空線のみを対象とする。

【取得根拠】
・光ファイバーケーブルの敷設等に係る道路占用許可手続の簡素化について
・電気通信設備の既設橋梁への占用の取扱いについて
・光ファイバーケーブル等の橋梁への添架について
参考資料
・道路構造令の解説と運用Ⅱ　2-2-4，4-3

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

場所 ：GM_Curve

光ファイバーの中心線を取得する。

視線誘導標

車線の側方に沿って，路端及び道路線形を明示し，昼間及び夜間の運転者の視線誘導を行うために設置する施設。ただし，道路鋲(路面標示のために用いる凸面を有する鋲)を除く。

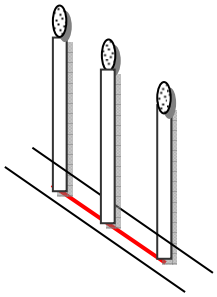
【取得根拠】

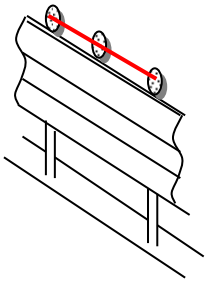
・道路法施行令第34条の3第1項第3号(視線を誘導するための施設)

・道路構造令第31条

・視線誘導標設置基準の改訂について

＜単独の場合＞　　＜帯状に配置されている場合＞　　＜柵・壁に添加している場合＞





上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 ：GM_Primitive

帯状に配置されている視線誘導標は，接地中心線を取得する。単独で配置されている視線誘導標は接地中心位置を取得する。

種別 [0..1]：CharacterString

視線誘導標の種類。

定義域

反射式視線誘導標，自光式視線誘導標，スノーポール

デリネーターがスノーポールと兼用している場合，反射式視線誘導標とする。

反射式視線誘導標の例

自光式視線誘導標の例

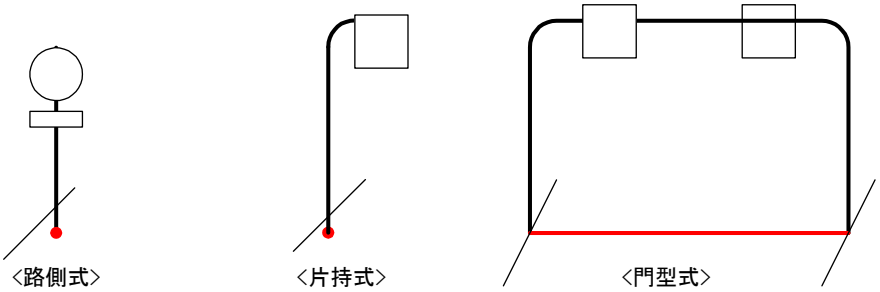
スノーポールの例

個数 [0..1] : Integer
視線誘導標の個数。

柱

道路標識や道路情報管理施設，照明施設，交通信号機等を支持する柱。電柱などの架空線柱を含む。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第1号（電柱）
・道路法施行令第19条の2別表（電柱，電話柱，その他の柱類）
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定（有線柱，電話柱，電線柱）



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition（不確定位置）の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
片持式，路側式の場合は柱の接地中心位置を，門型の場合は柱の接地中心点を結んだ線を取得する。標識が添加されていない場合も取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
柱の種類。
定義域
路側，片持，門型，電柱

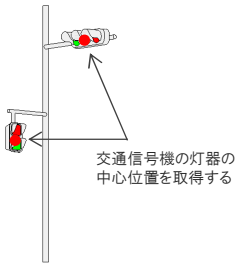
交通信号機

平面交差点及び横断歩道において，錯綜する交通流をさばき，交通の安全と円滑な通行を保つため，通行の優先権を時間的に割り振る装置。

【取得根拠】
・道路交通法第2条第1項第14号（信号機）

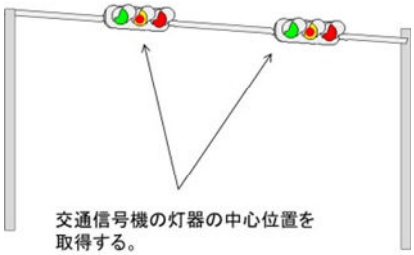
参考資料
・改訂 交通信号の手引
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(信号灯)

<交通信号機の取得例>



専用柱の場合

他の地物の柱に添加されている場合



門型の柱に添加されている場合

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point
柱が専用柱か否かの区分に依らず，それぞれの交通信号機の中心位置を「交通信号機」として取得する。

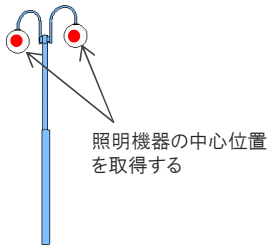
種別 [0..1] : CharacterString
交通信号機の種類。
定義域
定周期制御，地点感応制御，半感応制御，系統制御，地域制御，不明
警察にて所有する資料が収集できなく，現地で調査できない場合は，「不明」とする。

照明施設

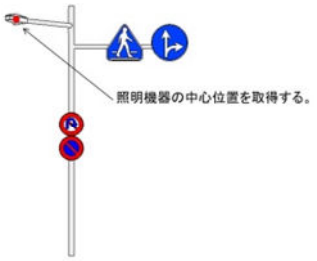
道路利用者に視覚情報を与え，道路の状況をその全体の姿と安全性に関連する個々のものについて十分知覚させるために設置する施設。ただし，トンネル照明を除く。
電柱に付設された小型の照明施設や横断歩道橋に設置された照明施設を含む。
【取得根拠】
・道路法第2条第2項第2号(街灯)
・道路構造令第31条
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第36条
・街燈の整備について(街燈)

・道路照明施設設置基準の改訂について
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(照明灯, 防犯灯)

＜照明施設の取得例＞



専用柱の場合



他の地物の柱に添加されている場合
（壁に埋め込まれている場合も含む）

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

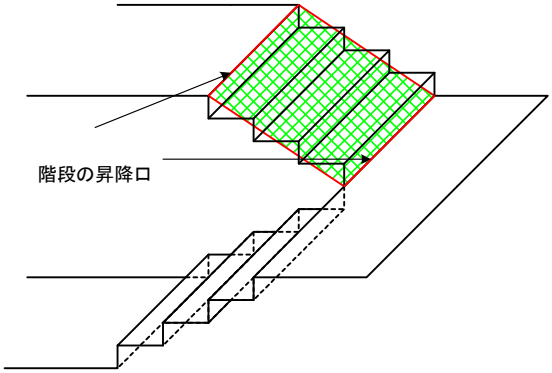
地点 : GM_Point
柱が専用柱か否かの区分に依らず，それぞれの照明機器の中心位置を「照明施設」として取得する。

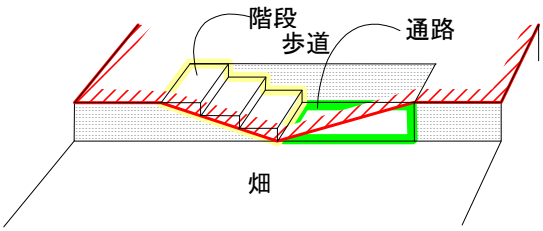
階段

段になった昇降用の通路。

【取得根拠】
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第16条

＜取得例＞





上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

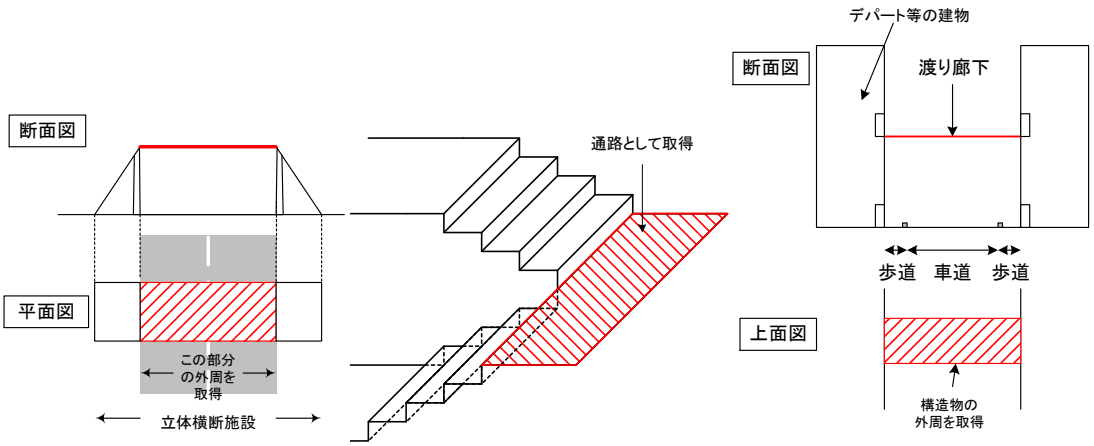
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
構造物の外周を領域として取得する。

通路

平坦な通路又は階段と階段の間にある踊り場の部分。道路の上空にある渡り廊下を含む。

【取得根拠】
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第15条



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

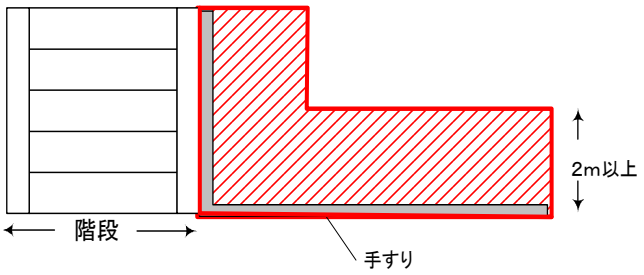
範囲 : GM_Surface

構造物の外周を領域として取得する。

斜路

スロープ状の昇降用の通路。自転車，乳母車，車椅子等の通行を考慮する場合に設置する。

【取得根拠】
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第13条



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

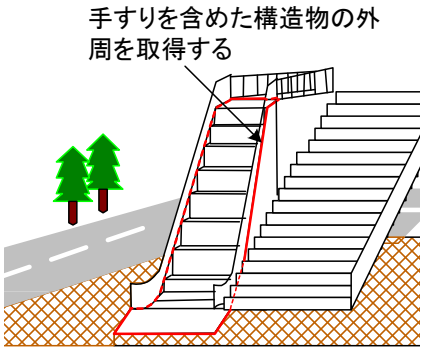
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
構造物の外周を領域として取得する。

エスカレータ

電力等の動力によって人や貨物を昇降させる階段状の装置。

【取得根拠】
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第14条



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

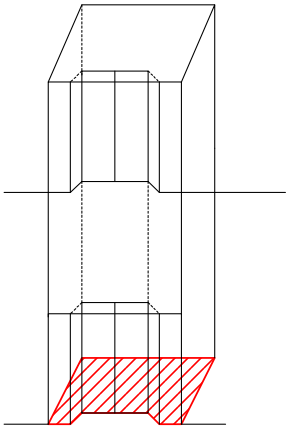
構造物の外周を領域として取得する。

エレベータ

電力等の動力によって人や貨物を垂直方向に昇降させる装置。

【取得根拠】

・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第12条



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

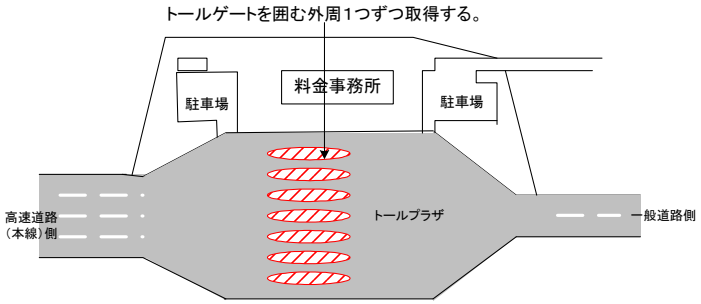
範囲 : GM_Surface

構造物の外周を領域として取得する。

料金徴収施設

有料道路において，通行料金を徴収するための施設。

【取得根拠】
・道路法施行令第34条の3第1項第7号
・料金徴収施設設置基準(案)について



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

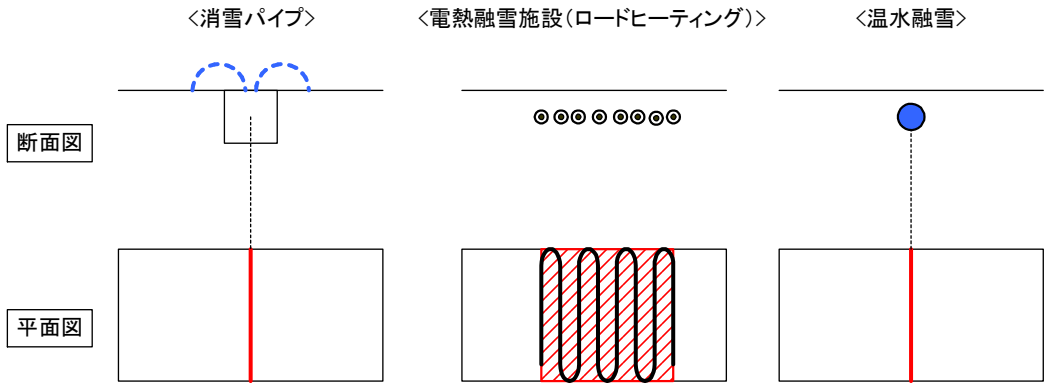
属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
範囲 : GM_Surface
料金徴収施設のアイランドを囲む接地部分の外周を領域として取得する。

融雪施設

道路上の雪を融解させる施設。

【取得根拠】
・道路構造令第33条第1項
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第37条
参考資料
・落石対策便覧



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
線状に配置されている場合は融雪施設の中心線を取得する。面状に配置されている場合は融雪施設の外周を領域として取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
融雪施設の種類。
定義域
消雪パイプ，電熱融雪施設(ロードヒーティング)，温水融雪

道路元標・里程標

道路の起終点を示す25cm角，高さ60cmの柱。

【取得根拠】
・道路法第2条第2項第3号
・道路法施行規則第4条の2第4項第9号(道路元標)

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point

道路元標・里程標の接地中心位置を取得する。

排水施設

道路の保全，交通の安全性の確保を目的とする，排水のための施設の抽象クラス。

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

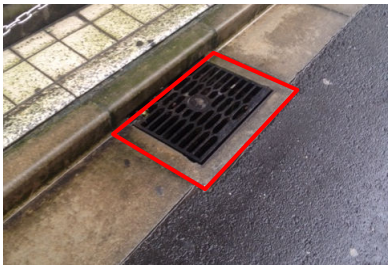
範囲 : GM_Surface

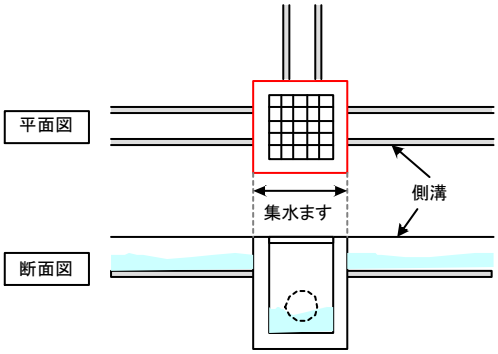
構造物の外周を領域として取得する。

集水ます

側溝を流れてきた雨水をいったん集め，排水管へ流し込むための構造物。

【取得根拠】
・道路構造令第26条
参考資料
・道路土工-排水工指針(排水ます)
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(雨水桝)





上位クラス　：　排水施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

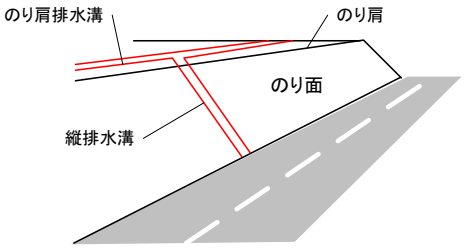
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
構造物の外周を領域として取得する。
側溝とは独立して取得する。

排水溝

道路の表面水又は浸透水等を排除するための溝の総称。

【取得根拠】
・道路構造令第33条(流雪溝)
参考資料
・道路土工-排水工指針



＜のり面排水溝＞

上位クラス　：　排水施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

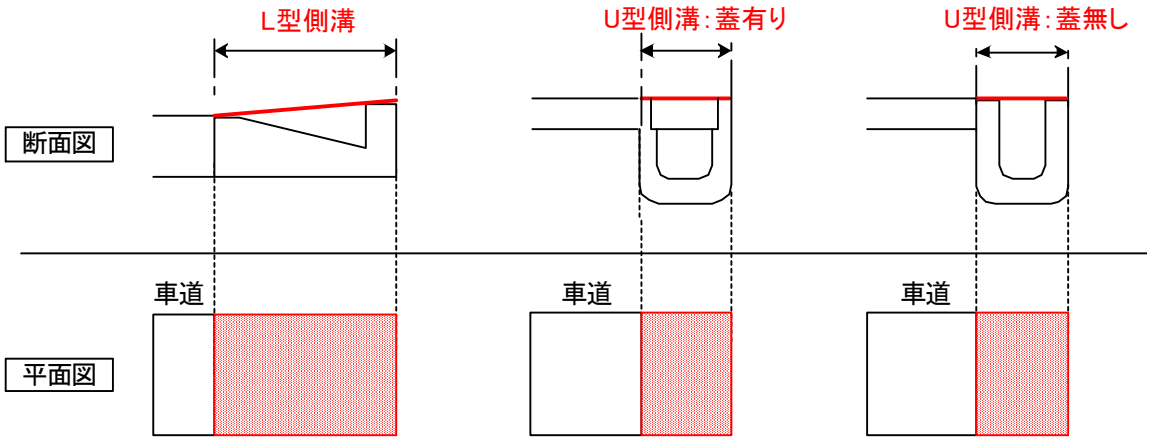
範囲 : GM_Surface
構造物の外周を領域として取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
排水溝の種類。
定義域
のり肩排水溝，のり尻排水溝，小段排水溝，縦排水溝，地下排水溝

側溝

主として道路の表面水を排除するために地表面に設置される排水溝。
路面又は法面等に降った雨水を集め，排水するため路側又は歩車道境界等に設置する溝。

【取得根拠】
・道路構造令第26条
参考資料
・道路土工-排水工指針
・国土交通省公共測量作業規程　大縮尺地形図図式規定



上位クラス　：　排水溝

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]： 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

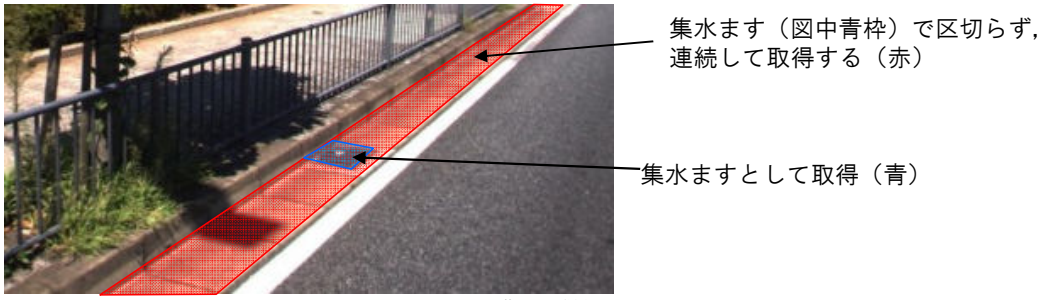
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 ：GM_Surface

構造物の外周を領域として取得する。
「側溝」に「集水ます」が設けられている場合，「側溝」の領域は「集水ます」の領域で区切らず，連続して「側溝」として取得する。



側溝の取得例

種別 [0..1] : CharacterString

側溝の種類。
定義域
Ｌ型側溝，Ｕ型側溝，街渠，アスファルトコンクリートカーブ，流雪溝

アスファルトコンクリートカーブとは，坂道のカーブ等に用いられる雨水を排水溝へ導くためのアスファルト製又はコンクリート製の縁石。

Ｌ型側溝の例

なお，歩道部と車道部との境界に設けられるL型側溝は，街渠として取得する。

Ｕ型側溝の例

蓋の有無 [0..1] : Boolean

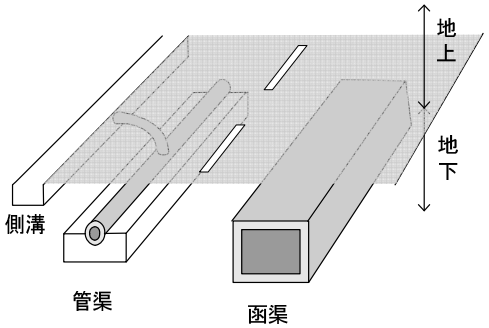
側溝に蓋があるか否か。
定義域
true，false
蓋がある場合はtrue，蓋がない場合はfalseとする。

排水管

道路の表面水又は浸透水等を排除するため，地中に埋設される送･排水路。

【取得根拠】
参考資料
･道路土工-排水工指針
･国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(側溝地下部)

・　排水管の1つである管渠と函渠の違いは，形状の違いである。



上位クラス　：　排水施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
構造物の外周を領域として取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
排水管の種類。
定義域
取り付け管，排水管

排水ポンプ

道路管理者の設置する排水ポンプのうち，恒常的に設置されるもののみを対象とする。

【取得根拠】
参考資料
･道路土工-排水工指針(ポンプ)

上位クラス　：　排水施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
構造物の外周を領域として取得する。

収容施設

公益物件を集約的，計画的に収容するため，道路管理者が道路の地下に設置する施設の抽象クラス。

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

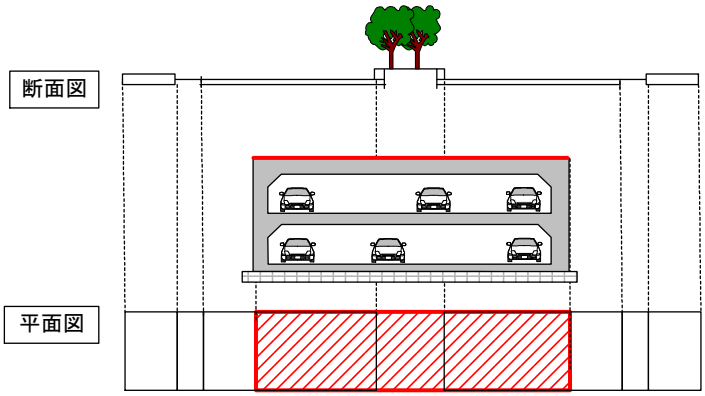
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
収容施設の外周を領域として取得する。

地下駐車場

道路付属物としての地下に設置する駐車場。

【取得根拠】
・駐車場設計・施工指針について
・自動車駐車場の道路占用について
参考資料
・道路構造令の解説と運用Ⅱ　2-2-4



上位クラス　：　収容施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

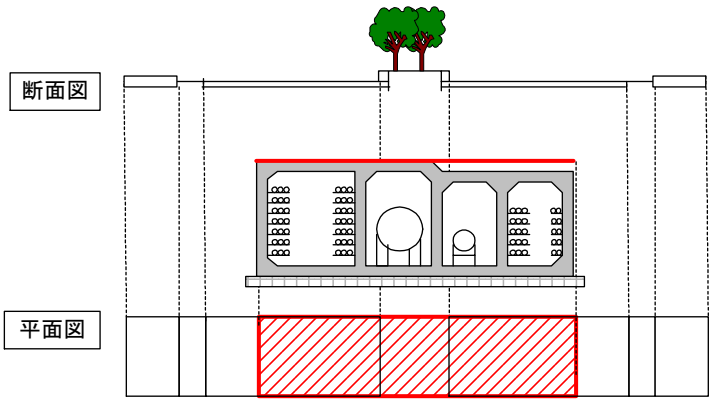
データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
形状 : GM_Primitive
地下駐車場の外周を領域として取得する。

共同溝

電気，電話，上下水道，工業用水，ガス等の公益物件を集約的，計画的に収容するため，道路管理者が道路の地下に設置する施設。

【取得根拠】
・道路法第2条第2号第7項
・共同溝の整備等に関する特別措置法
参考資料

・道路構造令の解説と運用Ⅱ　2-2-4
・共同溝設計指針
・プレキャストコンクリート共同溝設計・施工要領(案)



上位クラス　：　収容施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
共同溝の外周を領域として取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
共同溝の種類。
定義域
幹線共同溝，供給管共同溝

電線共同溝

電線の設置及び管理を行う2つ以上の電線を収容するため，道路管理者が道路の地下に設置する施設。

【取得根拠】
・道路法第2条第2号第7項
・電線共同溝の整備等に関する特別措置法
参考資料
・電線共同溝試行案
・道路構造令の解説と運用Ⅱ　2-2-4

上位クラス　：　収容施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

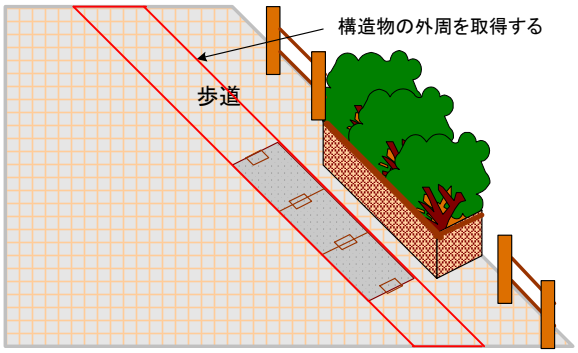
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
電線共同溝の外周を領域として取得する。

CAB

電話線，電力線等の各種ケーブルを集約して収容するため，道路管理者が道路の地下に設置する施設。

【取得根拠】
・キャブシステム研究委員会報告
・電線類地中化推進検討会議報告
参考資料
・技術マニュアル(案)解説キャブシステム



上位クラス　：　収容施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間：TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

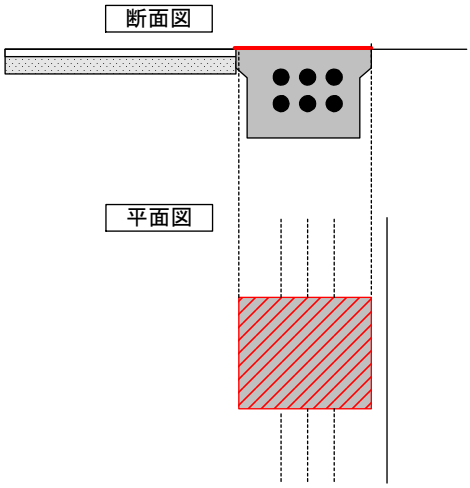
形状：GM_Primitive

CABの外周を領域として取得する。

情報BOX

道路管理の高度化を図るとともに，民間の全国的な光ファイバーネットワークの構築を支援するもので，管理用ファイバーと電気通信事業者等の光ファイバーが敷設可能な，道路管理者が道路の地下に設置する施設。

【取得根拠】
参考資料
・道路構造令の解説と運用Ⅱ　2-2-4



上位クラス　：　収容施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

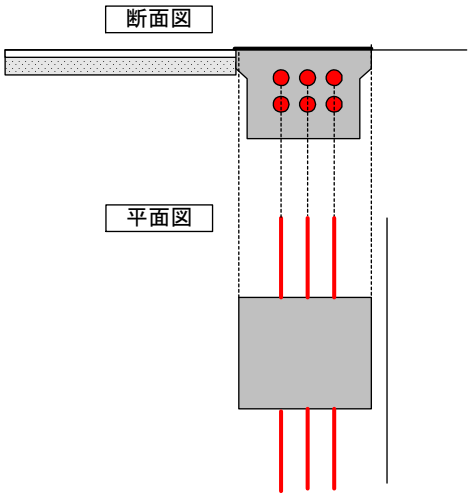
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
情報ボックスのハンドホールの外周を領域として取得する。

管路

情報ボックスのうち，光ファイバーが収容されている管。

【取得根拠】
参考資料
・道路構造令の解説と運用Ⅱ　2-2-4



上位クラス　：　収容施設

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

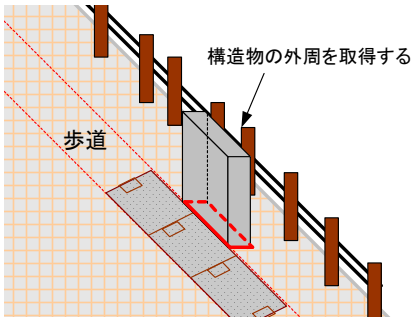
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
管路の中心線を取得する。

管理用地上施設

収容施設及びそこに収容している施設等を管理するために，道路上に設置する施設。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第1号（変圧塔）
・地上設置の光アクセス装置の道路占用の取扱いについて（トランス）
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定（地下換気口）



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition（不確定位置）の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
管理用地上施設が接地する部分の外周を領域として取得する。

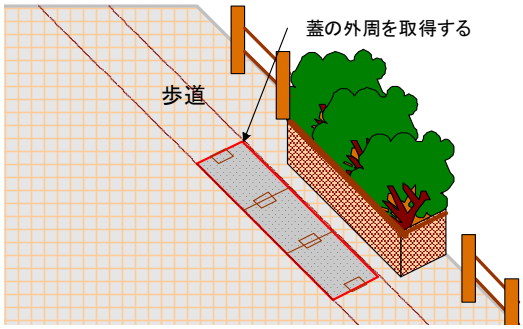
種別 [0..1] : CharacterString
管理用地上施設の種類。
定義域
トランス，換気口

＜トランスの例＞

管理用開口部

道路の地下に設置される施設の維持又は修繕の作業のために設置する管理用の開口部。占用物件のものを含む。

【取得根拠】
・道路法施行規則第4条の4の2第3項(マンホール，ハンドホール)
参考資料
・道路土工-排水工指針(マンホール)
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(マンホール)



上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive
管理用開口部が円形の場合は，中心位置を取得する。矩形の場合は，外周を領域として取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
管理用開口部の種類。
定義域
マンホール，ハンドホール，入孔

直径 [0..1] : Real
管理用開口部の形状が円形の場合に，管理用開口部の直径を取得する。（単位「m」）
管理用開口部の形状が矩形の場合は，この属性の値は取得しない。（XML文書では，この属性のタグを記述しない。）

停留所

乗客が乗り降りするために，バス，路面電車等が停車する一定の場所。

【取得根拠】
・道路交通法第44条第1項第5号

・照明式バス停留所標識(広告付)の道路占用について
・バス停留所に設置される上屋に対する広告物の添加に係る道路占用の取扱いについて
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定(バス停)

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
地点 : GM_Point
停留所の案内板の接地中心位置を取得する。

消火栓

消火用に特に設置される水道の栓。

【取得根拠】
・消防水利の統一標識について
・消火栓標識の適切な取扱いについて
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point
消火栓の接地中心位置を取得する。

郵便ポスト

通り等にすえつけて郵便物等を投函する入れ物。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第1号(郵便差出箱)
・道路法施行令第19条の2別表(郵便差出箱)
・郵便差出箱への周知板の取付について(郵便差出箱)
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point
郵便ポストの接地中心位置を取得する。

電話ボックス

公衆電話を設置している小屋。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第1号(公衆電話所)
・道路法施行令第19条の2別表(公衆電話所)
・公衆電話ボックス内に設置されるテレホンカード自動販売機の道路占用について
・公衆電話ボックス内に設置されるICテレホンカード自動販売機の道路占用について
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

地点 : GM_Point
電話ボックスの接地中心位置を取得する。

輸送管

水や石油等の液体を送る管路。地上に設置されるもののみを対象とする。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第2号(水管，下水道管，ガス管その他これらに類する物件)
・道路法施行令第12条(水管，下水道管又はガス管)，第12条の2(石油管)
・石油圧送施設の道路占用について(導管)
・高圧のガスの供給施設の道路占用の取扱いについて(導管)
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定

上位クラス　：　道路関連地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

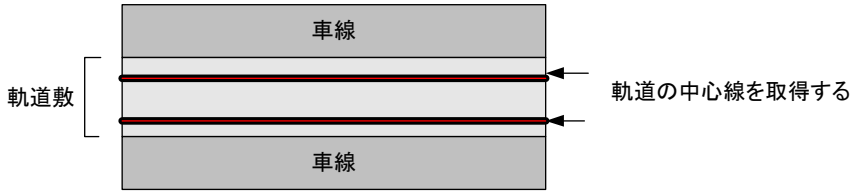
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
場所 : GM_Curve
構造物の中心線を取得する。
種別 [0..1] : CharacterString
輸送管の種類。
定義域
送水管，油送管

軌道

路面電車の軌道。

【取得根拠】
・道路法第32条第1項第3号
・道路法施行規則第4条の2第3項別表第4，第4項第13号，第14号
・軌道法第2条，第9条
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定



上位クラス ： 道路関連地物

抽象/具象区分 ： 具象

属性 ：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
場所 : GM_Curve
軌道の中心線を取得する。
鉄道管理者 [0..1] : 兼用相手先
軌道に関係する鉄道管理者の情報を参照する。

道路支持地物パッケージ

道路支持地物

道路基本地物がその機能を果たすために必要となる地物の抽象クラス。

上位クラス　：　道路地物

抽象/具象区分　：　抽象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

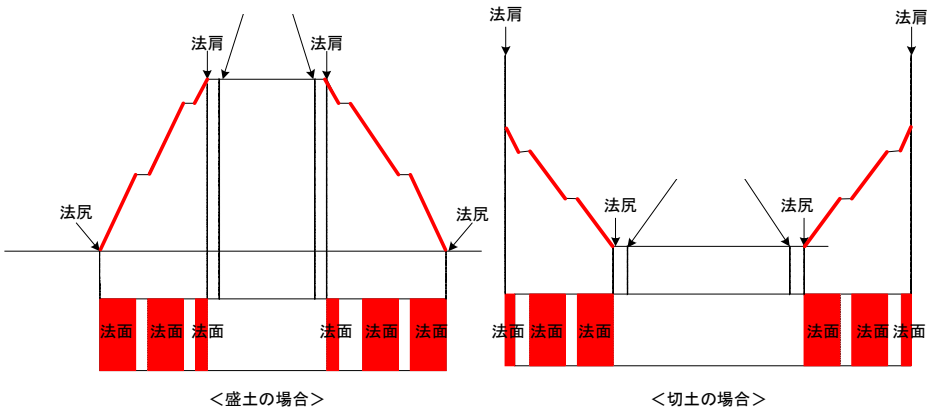
設置期間 : TM_Period

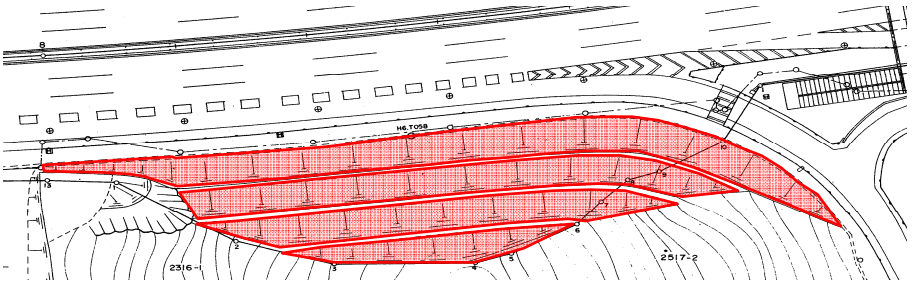
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

法面

土工によって人工的に形成される斜面のうち，保護路肩や小段を除いた部分。切土法面及び盛土法面に分類される。

【取得根拠】
参考資料
・道路土工-のり面工・斜面安定工指針





上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

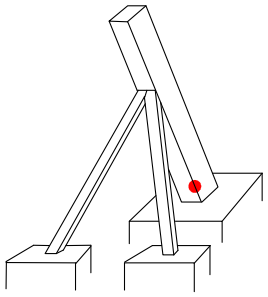
データ有効期間 : TM_Period
　データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
　データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
　また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
　対象道路の建設において適用した構造令。
　例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
　対象道路の建設において適用した示方書。
　なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
　例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
　例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
　なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
　地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
　設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
範囲 : GM_Surface
　人工的に造成された斜面の外周を領域として取得する。ただし，保護路肩や小段の範囲は取得しない。
切盛種別 : 切盛種別コード
　法面が切土か盛土か。
　定義域
　切土，盛土
法面保護工[0..1] : CharacterString
　法面保護工の種類。
　定義域
　植生工，張工，吹付工，法枠工，なし
法勾配[0..1] : Real
　法勾配を小数点以下１桁で入力する。

斜面対策工

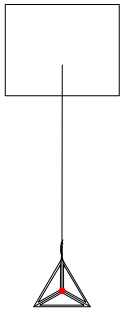
自然斜面や法面の崩壊を防ぐために設置される施設。

【取得根拠】
・道路構造令施行規則第4条(吹きだまり防止施設，なだれ防止施設)
参考資料
・道路土工-のり面工・斜面安定工指針
・道路防雪便覧
・落石対策便覧

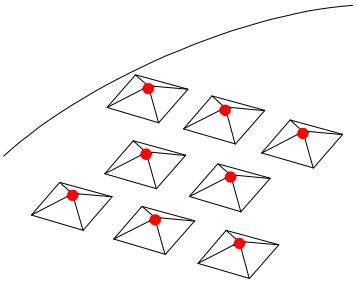
・ 予防杭　　・ 吊枠



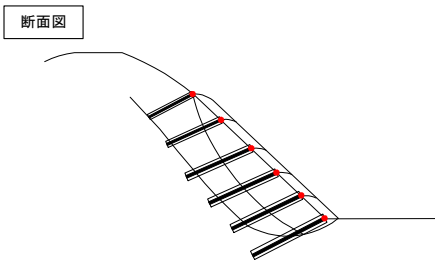
・ 減勢工



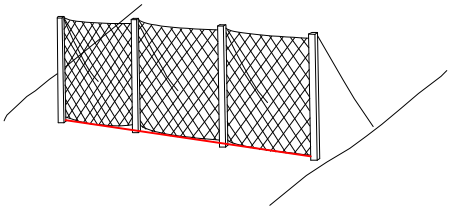
・ ロックボルト



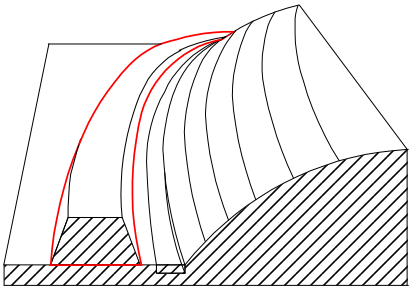
・ロックアンカー工



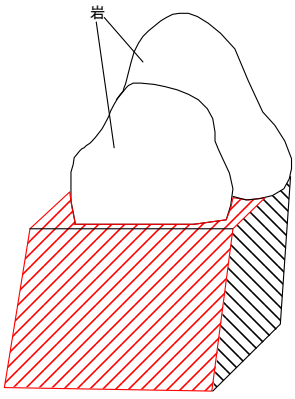
・ スノーネット

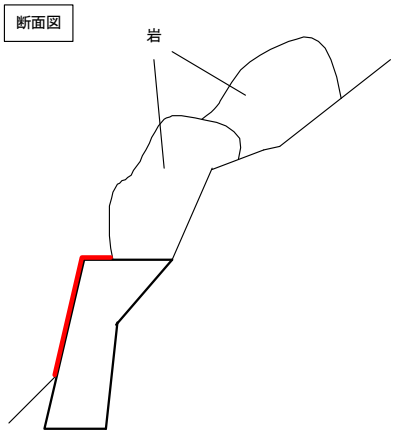


・ 誘導工

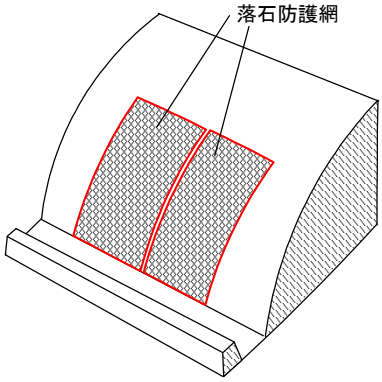


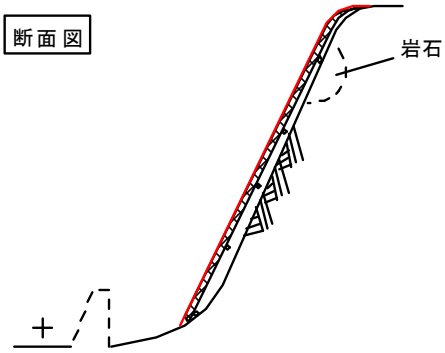
・ 根固め工



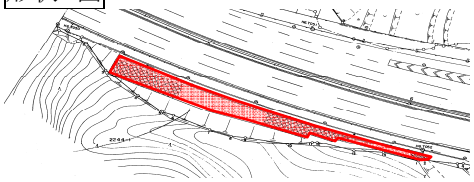


・ 落石防護網

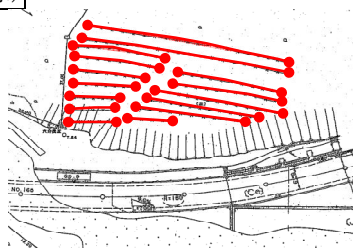




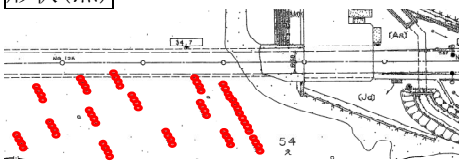
形状　面



形状(線)



形状(点)



上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

形状 : GM_Primitive

予防杭，吊枠，減勢工，ロックボルト工，ロックアンカー工：地物の中心位置を取得する。
スノーネット：地物の中心線を取得する。
誘導工，根固め工，落石防護網：地物の外周を領域として取得する。

種別[0..1] : CharacterString

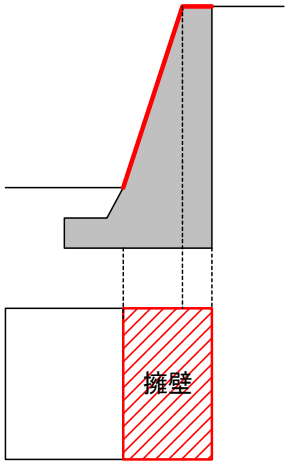
斜面対策工の種類。

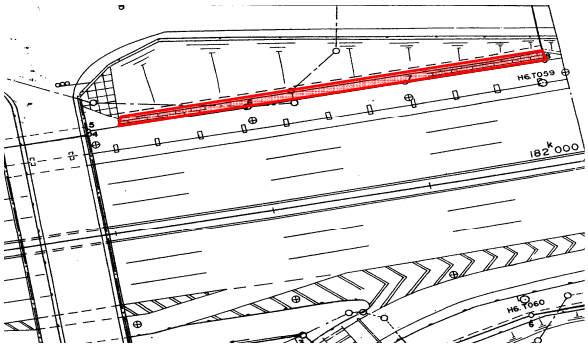
定義域
予防杭，吊枠，スノーネット，誘導工，減勢工，根固め工，ロックボルト工，ロックアンカー工，落石防護網

擁壁

土砂の崩壊を防ぐために設置される壁体構造物。

【取得根拠】
・道路構造令第33条
参考資料
・道路土工-擁壁工指針





上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
擁壁表面の外周を領域として取得する。

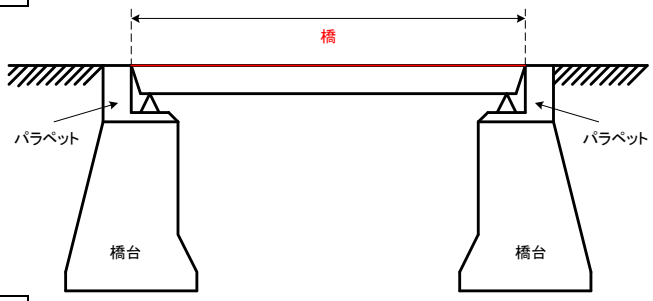
工法[0..1] : CharacterString
擁壁の種類。
定義域
石積ブロック擁壁，重力式擁壁，半重力式擁壁，もたれ式擁壁，片持梁式擁壁，控え壁擁壁，支え壁擁壁，U型擁壁，補強土擁壁

橋梁

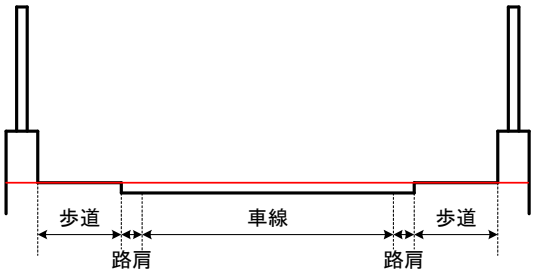
道路において，交通の障害となる河川，渓谷，湖沼，海峡，鉄道，水路，他の道路等の上方に，これを横断するために設置される構造物の総称。市街地において，道路上又は河川上の空間に連続して建設される高架橋も，橋梁の一形態である。

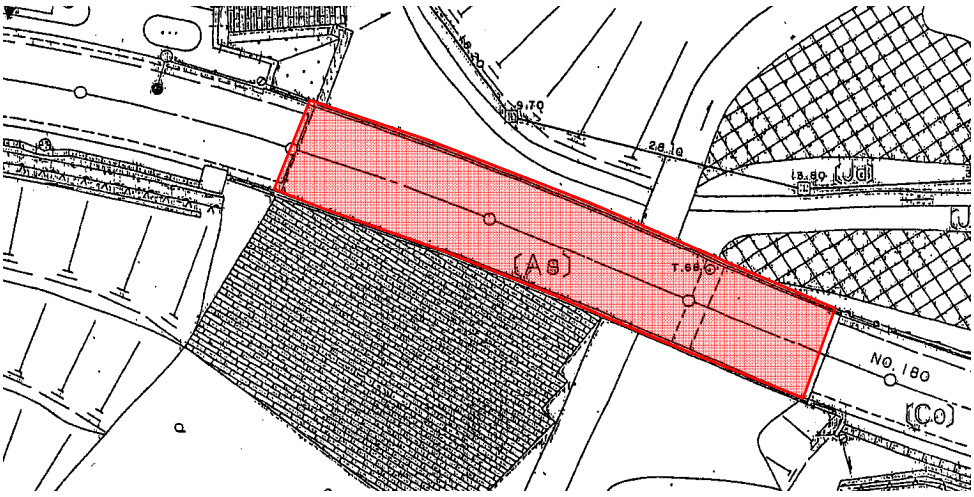
【取得根拠】
・道路法第30条第2項（橋）
・道路法施行規則第4条の2第3項別表第4，第4項第7号（橋）
・道路構造令第35条（橋，高架の道路等）
・道路構造令施行規則第5条（橋，高架の道路等）
・橋，高架の道路等の技術基準について
参考資料
・道路橋示方書・同解説

側面図



断面図





上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間　：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]： 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

道路面の高さにおいて，橋梁上部工の外周を領域として取得する。

構造種別[0..1] : CharacterString

橋梁の構造種別。

定義域

桁橋，トラス橋，アーチ橋，ラーメン橋，吊橋，斜張橋

材質種別[0..1] : CharacterString

橋梁の材質種別。

定義域

鋼橋，コンクリート橋，木橋，石橋，アルミニウム橋

名称 [0..1] : CharacterString

橋梁の名称。

トンネル

上方を含め周辺が地山や他の構造物で覆われている，交通，輸送等に供する構造物。

【取得根拠】

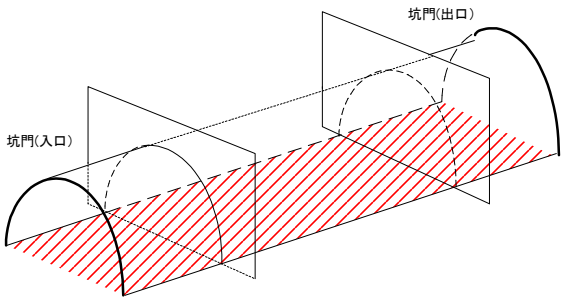
・道路法施行規則第4条の2第3項別表第4，第4項第7項

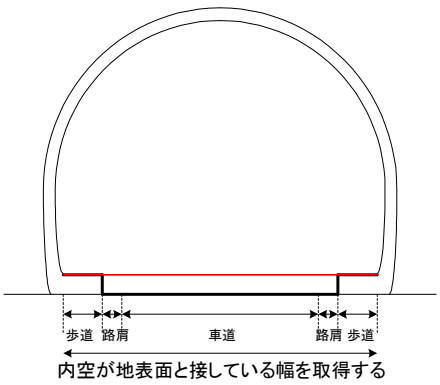
・道路構造令第34条

・道路トンネル技術基準(一部改正)について

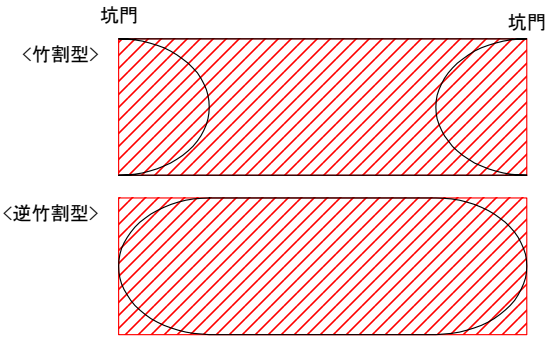
参考資料

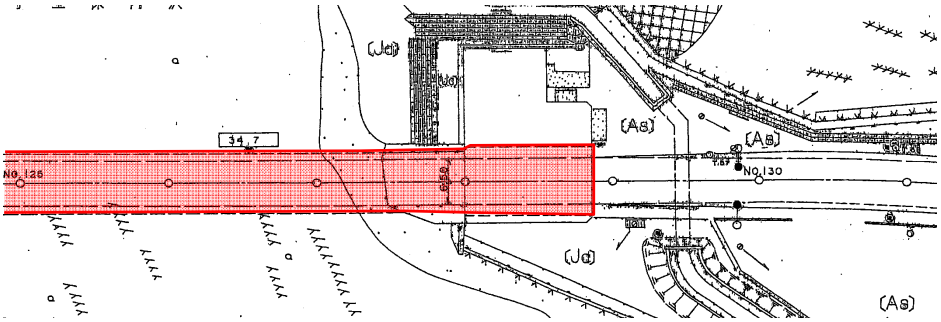
・道路トンネル点検・補修の手引き





〈坑門が斜めになっている場合〉





上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

トンネル（坑門から坑門まで）内の道路面の外周を領域として取得する。

坑口種別[0..1] : CharacterString

トンネルの坑口種別。
定義域
面壁工，突出工，竹割工，逆竹割工

名称[0..1] : CharacterString

トンネルの名称。

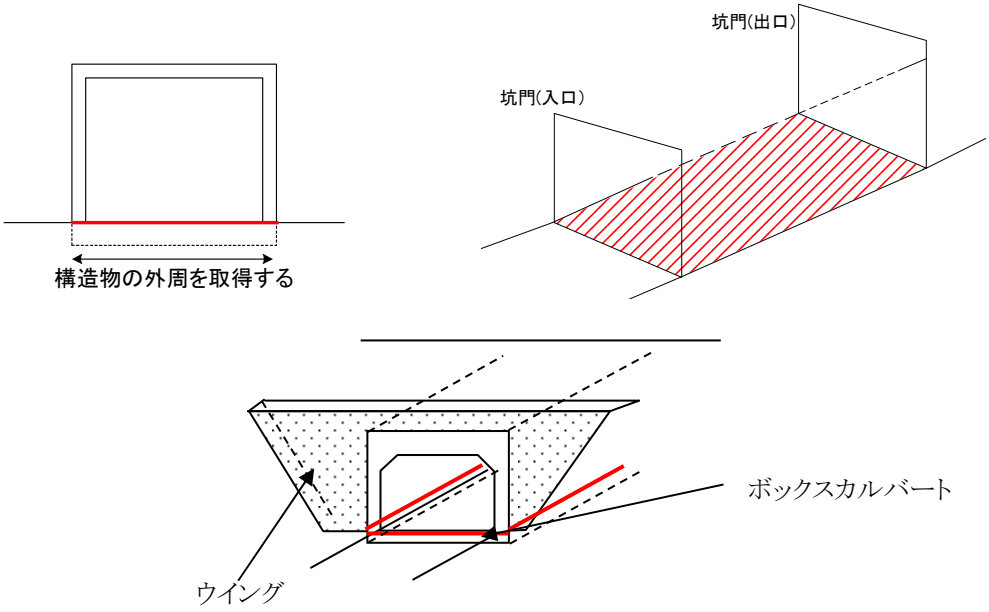
ボックスカルバート

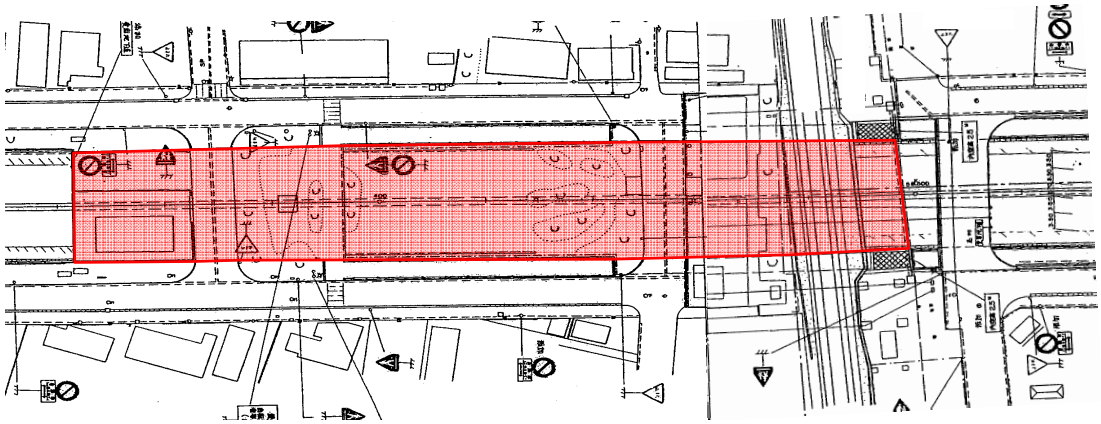
他の道路等の下方を横断するため，その盛土の中を横断する形で設置される箱状の構造物。

【取得根拠】

参考資料

・道路土工-カルバート工指針





上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間　：TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者

適用構造令[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1]：CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1]：CharacterString

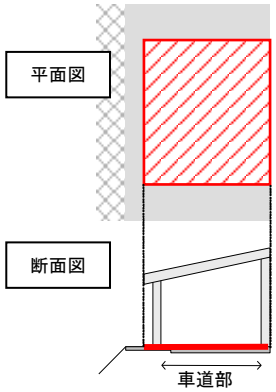
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
範囲 : GM_Surface
道路面の高さにおいて，ボックスカルバートの外周を領域として取得する。
種別[0..1] : CharacterString
ボックスカルバートの種類。
定義域
ボックスカルバート，門形カルバート，アーチカルバート，コンクリートパイプカルバート，コルゲートメタルカルバート，硬質塩化ビニルパイプカルバート

シェッド

落石及び雪崩等を道路外に直接落下させる，又は道路を越えて転進させるため，鋼材やコンクリート材等で道路上を覆う構造物。

【取得根拠】
・道路構造令第33条(雪覆工)
・落石覆工設置箇所の緊急点検について(落石覆工)
参考資料
・道路防雪便覧
・落石対策便覧



上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
管理者[0..1] : 管理者
適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

道路面の高さにおいて，シェッドが覆う部分の外周を領域として取得する。

種別[0..1] : CharacterString

シェッドの種類。

定義域

ロックシェッド，スノーシェッド

シェルター

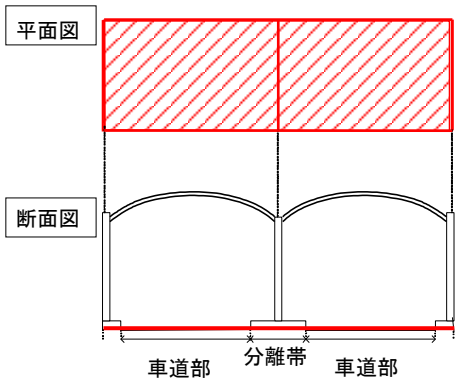
アーチ型又は門型で，道路を完全に覆ったトンネル状の構造物。

【取得根拠】

・道路構造令第33条(雪覆工)

参考資料

・道路防雪便覧



上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period

データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。

データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。

また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した構造令。

例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString

対象道路の建設において適用した示方書。

なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。

例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString

例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量

なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period

地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。

設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface

道路面の高さにおいて，シェルターが覆う部分の外周を領域として取得する。

種別[0..1] : CharacterString

シェルターの種類。

定義域

遮光シェルター，遮音シェルター，スノーシェルター，ロックシェルター

道路支持地物.拡張サブパッケージ

空地

土工によって人工的に形成される平坦地。

【取得根拠】
・道路法第2条第2項第5号(機械，器具又は材料の常置場)
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程 大縮尺地形図図式規定

上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1] : 管理者

適用構造令[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令

適用示方書[0..1] : CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 : TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

範囲 : GM_Surface
道路管理区域内の人工的な平坦地の領域を取得する。

種別[0..1] : CharacterString
空地の種類。

自然斜面

土工によって人工的に形成される斜面に対して，地山のままの状態の斜面。

【取得根拠】
参考資料
・道路土工-のり面工・斜面安定工指針

上位クラス　：　道路支持地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

管理者[0..1]：管理者
適用構造令[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した構造令。
例：昭和４５年道路構造令
適用示方書[0..1]：CharacterString
対象道路の建設において適用した示方書。
なお，不明及び存在しない場合には「なし」とする。
例：平成６年道路橋示方書，昭和６１年トンネル標準示方書
取得レベル[0..1]：CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量，既存資源活用＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）
設置期間：TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_TemporalPositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。
範囲：GM_Surface
道路管理区域内の自然斜面の領域を取得する。

境界線パッケージ

境界

道路面地物の領域を区切る線。

上位クラス　：　道路基盤地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
境界線：GM_Curve
道路面地物の各インスタンスの外周を境界線として取得する。

交点

複数の境界線の端点同士が一致する地点。

上位クラス　：　道路基盤地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。
交点：GM_Point
境界線の端点同士が一致する地点を取得する。

境界線.拡張サブパッケージ

用地界

道路敷地と他の土地との境界。

【取得根拠】
・道路法施行規則第4条の2第4項第1号(道路の区域の境界線)

上位クラス　：　境界

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

境界線 : GM_Curve
官民境界である道路用地の境界線を取得する。

種別 [0..1] : CharacterString
用地界の確定状況。
定義域
確定，未確定

確定とは，用地界が確定で，境界座標値が明確である。
未確定とは，境界座標値が未確定であるか，不明確である。

出入口

自動車及び歩行者が地物に出入りする部分。
自転車駐車場出入口，自動車駐車場出入口，車両乗り入れ部，横断歩道，歩道等の巻込部，階段昇降口，斜路昇降口，エスカレータ昇降口，エレベータ昇降口，乗合自動車停車所乗降口，路面電車停留所乗降口等を指す。

【取得根拠】
・重点整備地区における移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準第9条（横断歩道に接続する歩道等の部分），第10条（車両乗入れ部），第12条（エレベータ:かご及び昇降路の出入口），第14条（エスカレータ:昇降口），第23条（自動車駐車場:自動車の出入口），第24条（自動車駐車場:歩行者の出入口）

上位クラス　：　境界

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 : TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

境界線 : GM_Curve
出入口の区間を取得する。横断歩道は，歩道と路肩の境界線を取得する。

種別[0..1] : CharacterString
出入口の種類。
定義域
自転車駐車場出入口，自動車駐車場出入口，車両乗り入れ部，横断歩道，歩道等の巻込部，階段昇降口，斜路昇降口，エスカレータ昇降口，エレベータ昇降口，乗合自動車停車所乗降口，路面電車停留所乗降口，その他

境界標識

隣接する土地所有者全員の立会いのもと，合意が得られた場所に設置する境界標（杭，鋲，プレート）。

【取得根拠】
参考資料
・国土交通省公共測量作業規程　大縮尺地形図図式規定（官民境界杭）

上位クラス　：　道路基盤地物

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

データ有効期間 ：TM_Period
データ作成からデータ更新（又は削除）までの期間。
データ作成日は，道路基盤地図情報を作成した日を取得する。
また，データ更新（又は削除）日は，作成されている道路基盤地図情報の更新（又は削除）を行った日を取得する。

地点 ：GM_Point
境界杭，境界鋲，境界プレートの設置位置の座標成果とする。

管理者[0..1] ： 管理者

取得レベル[0..1] : CharacterString
例：地上測量，航空写真測量（撮影縮尺），既成図数値化（道路台帳附図），既成図数値化（完成図書），既成図数値化（道路台帳附図）＋補備測量，既成図数値化（道路台帳附図）＋部分的補備測量，既成図数値化（完成図書）＋補備測量，既成図数値化（完成図書）＋部分的補備測量
なお，航空写真測量を行った場合，撮影縮尺を入力する。　　入力例：航空写真測量（１／４０００）

設置期間 ：TM_Period
地物が設置されてから撤去されるまでの存在する期間。
設置年月日が不明な地物については時間位置を示すTM_Temporalpositionを用い，属性indeterminatePosition(不確定位置)の属性値をunknownとする。

管理者パッケージ

管理者

地物の管理に関する機能及び義務を有するもの。

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

名称 ：CharacterString
管理者の名称。
例：○○地方整備局○○事務所○○出張所，○○県○○土木事務所，○○市○○局，○○鉄道株式会社，○○電力株式会社，○○電信電話株式会社，○○ガス株式会社

道路管理者

道路法による，道路の管理に関する権能及び義務を有するもの。

上位クラス　：　管理者

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

名称 ：CharacterString
管理者の名称。
例：○○地方整備局○○事務所○○出張所，○○県○○土木事務所，○○市○○局

兼用相手先

道路管理者以外の兼用工作物の管理者。

上位クラス　：　管理者

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

名称 ：CharacterString
管理者の名称。
例：○○地方整備局○○事務所○○出張所，○○県○○土木事務所，○○市○○局，○○鉄道株式会社

占用物件管理者

占用物件の管理者

上位クラス　：　管理者

抽象/具象区分　：　具象

属性　：

名称 ：CharacterString

管理者の名称。
例：○○市○○局，○○鉄道株式会社，○○電力株式会社，○○電信電話株式会社，○○ガス株式会社

5　参照系

5.1　座標参照系

地理情報標準プロファイル(JPGIS)Ver.2.1に基づき,座標参照系は参照系識別子「JGD2011 / (B, L)」を採用する。

5.2　時間参照系

地理情報標準プロファイル（JPGIS）Ver.2.1に基づき，時間参照系はGC / JST（参照系識別子）を採用する。

6　データ品質

6.1　品質要求

道路基盤地図情報の品質要求は，道路基盤地図情報製品仕様書（案）において，「基本的な品質要求」と「一時的な品質要求」に区分されている。ここで，「基本的な品質要求」とは，本来，道路基盤地図情報が持つべき品質である。また，「一時的な品質要求」とは，道路台帳附図等の既成図から道路基盤地図情報の一部のデータを作成する場合に適用する品質要求であり，基本的な品質要求を達成するまでの一時的なデータ作成における品質要求の位置付けである。

道路基盤地図情報は，道路管理の支援や走行支援サービス等への利用が期待されている。道路基盤地図情報を道路管理の支援に利用するためには，一定の品質を満たした管理区間全線に亘る整備が必要となる。道路基盤地図情報製品仕様書（案）では，一時的な品質要求の位置正確度は，クラスA（地図情報レベル500），クラスB（地図情報レベル1000）に区分されている。本製品仕様書では，一時的な品質要求として新たに「クラスC（地図情報レベル2500）」を追加し，既存資源の活用による一定の品質を満たした道路基盤地図情報の整備を促進する。クラスCの適用範囲及び位置正確度を以下のとおり定める。

○クラスCの適用範囲

品質を求める対象地物（品質の適用範囲）は利用者が設定するものとする。

○クラスCの位置正確度

既成図数値化の位置正確度（絶対位置正確度）は，既成図が持つ誤差と既成図を数値化（データ化）する際の誤差の累積値を推定して品質を定めている。そこで，「クラスC」の位置正確度は，地図情報レベル2500の修正測量の位置正確度である，水平方向のSD（Standard Deviation，標準偏差）2.50mとする。また，鉛直方向の値（標高）は，クラスA及びBで品質を規定していないことから，クラスCにおいても規定しない。

道路基盤地図情報（整備更新版）の主な作成方法と適用する品質要求の関係を図3に示す。道路基盤地図情報製品仕様書（案）では，道路基盤地図情報の作成方法に①新規測量，②既成図数値化＋補備測量，③既成図数値化＋部分的補備測量，④既成図数値化が規定されている。本製品仕様書では，これらに加え，「⑤既存資源活用＋部分的補備測量」を追加する。

また，道路基盤地図情報（案）で規定されている「一時的な品質要求」に「クラスC（地図情報レベル2500）」を追加した「道路基盤地図情報（整備更新版）の一時的な品質要求」を次ページに示す。

名　称	①新規測量	② 既成図数値化 ＋補備測量	③ 既成図数値化 ＋部分的補備測量	④ 既成図数値化	【本製品仕様書で追加】 ⑤既存資源活用＋部分的補備測量
方　法	地上測量や航空写真測量等によって新たにデータを作成する方法である。	道路台帳附図及び同等の品質を有する既成図を利用し，補備測量を行ってデータを作成する方法である。	“既成図数値化＋補備測量”の方法であるが，補備測量を行う対象地物は，利用者が設定する。	道路台帳附図及び同等の品質を有する既成図を利用してデータを作成する方法である。補備測量を行わない。	電子地図及び点群座標データ等の既存資源を活用する方法である。補備測量を行う対象地物・範囲は，利用者が設定する。
現況との 一致度	一致	一致	一部不一致	一部不一致	一部不一致

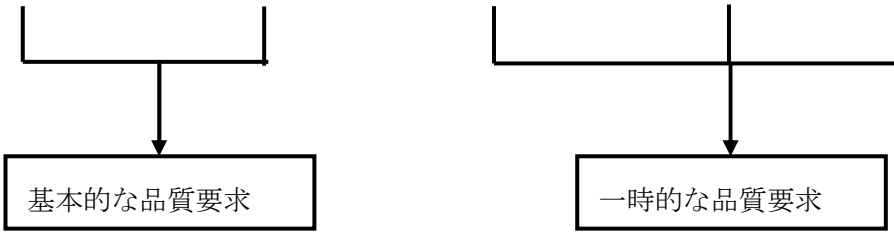


図3　道路基盤地図情報（整備更新版）の主な作成方法と適用する品質要求の関係

○新規測量　　：地上測量や航空写真測量等によって新たにデータを作成する方法すること。
○既成図数値化　：道路台帳附図等の既存図面やデータから道路基盤地図情報を作成すること。
○補備測量　　：現況との一致度を図ることを目的に，既存図面やデータを補う測量のこと。
○部分的補備測量：現況との一致度を図ることを目的に，既存図面やデータを補う測量のこと。
　ただし，補備測量を行う対象地物を利用者が設定する。
○既存資源活用　：国・地方公共団体・民間企業等が保有する電子地図や点群座標データ等を活用して道路基盤地図情報を整備すること。既存資源を活用した道路基盤地図情報の整備は，以下に示す3つに分類される。

・作成方法1：電子地図から道路基盤地図情報を整備する方法
・作成方法2：点群座標データ等から道路基盤地図情報を整備する方法
・作成方法3：既存資源の組合せにより道路基盤地図情報を整備する方法

道路基盤地図情報(整備更新版)の一時的な品質要求

品質要素	品質副要素	内容	適用範囲	品質要求
完全性	過剰	データ集合中の過剰データがないか。	利用者設定	0%（抜取試料に対して）
	漏れ	データ集合からのデータの欠落がないか。	利用者設定	0%（抜取試料に対して）
論理一貫性	概念一貫性	応用スキーマで決められた地物を逸脱した地物がないか，また，地物同士の関係が応用スキーマと矛盾しないか。	データ集合	100%
	定義域一貫性	地物属性の値が決められた定義域の中にあるか。 なお，空間属性及び時間属性はそれぞれの範囲にあるか。	データ集合	100%
	書式一貫性	データ集合のファイル形式がXMLの仕様に適合しているか。	データ集合	100%
	位相一貫性	地物とその境界の関係が一貫性を持つか（隣接関係の保持）。	データ集合	100%
位置正確度	絶対正確度又は外部正確度	空間属性を構成する各点の絶対位置の標準偏差が，閾値を超えないか。	○クラスA 利用者設定	水平方向SD＝35cm以内（抜取試料に対して） ※鉛直方向の値（標高）は，品質を規定しない。
			○クラスB 利用者設定	水平方向SD=100cm以内（抜取試料に対して） ※鉛直方向の値（標高）は，品質を規定しない。
			○クラスC 利用者設定	水平方向SD=2.5m以内（抜取試料に対して） ※鉛直方向の値（標高）は，品質を規定しない。
	相対正確度又は内部正確度	―――	―――	―――
	グリッドデータ位置正確度	―――	―――	―――
時間正確度	時間測定正確度	記録された時間が決められた誤差の範囲にあるか。（例えば年月日で記録することが求められている地物に対して年度のみの記録は正確度を満足しないことになる。）	利用者設定	SD=1単位時間以内（抜取試料に対して） 単位時間の年，月，日の指定は，地物ごとに指定する
	時間一貫性	地物の設置時点は，撤去時点よりも古いか。	データ集合	100%
	時間妥当性	―――	―――	―――
主題正確度	分類の正しさ	地物の分類（種別）に誤りがないか。	利用者設定	100%（抜取試料に対して）
	非定量的属性の正しさ	主題属性のうち，文字（列）や符号（コード）のように大小関係を持たない属性（非定量的属性）に誤りがないか。	利用者設定	100%（抜取試料に対して）
	定量的属性正確度	主題属性のうち，大小関係を持つ属性（定量的属性）に誤りがないか。	利用者設定	100%（抜取試料に対して）

6.2　品質評価手順

道路基盤地図情報（整備更新版）の「一時的な品質要求」に対する品質評価手順

適用範囲	品質要素	品質副要素	検査単位	品質評価方法
品質要求に示す適用範囲に従う	完全性	過剰	抜取検査	データ集合の地物の員数を，真値とみなす現地又は資料と比較し，過剰を評価する。現地検査は，地物の員数を正確に確認できる資料があれば，それを代用して良い。 評価対象は，データ作成延長の2%とし，単純無作為抽出法により決定する。ただし，最低0.25kmを対象とする。 既成図数値化のみの場合は，真値とみなす情報源は，既成図又は資料とする。 電子地図を単独で活用する場合は，真値とみなす情報源は電子地図とする。ただし，既存資源の調製日より経年変化がない場合に限る。 点群座標データ等を活用する場合，又は，既存資源の組合せにより作成する場合，真値とみなす情報源は現地とする。
		漏れ	抜取検査	データ集合の地物の員数を，真値とみなす現地又は資料と比較し，漏れを評価する。現地検査は，地物の員数を正確に確認できる資料があれば，それを代用して良い。 評価対象は，データ作成延長の2%とし，単純無作為抽出法により決定する。ただし，最低0.25kmを対象とする。 既成図数値化のみの場合は，真値とみなす情報源は，既成図又は資料とする。 電子地図を単独で活用する場合は，真値とみなす情報源は電子地図とする。ただし，既存資源の調製日より経年変化がない場合に限る。 点群座標データ等を活用する場合，又は，既存資源の組合せにより作成する場合，真値とみなす情報源は現地とする。
	論理一貫性	概念一貫性	全数検査	論理検査プログラム（XMLパーサ等）によって，XMLSchemaとデータ集合に矛盾がないか，評価する。
		定義域一貫性	全数検査	論理検査プログラムによって，主題属性の定義域及び地物の地理的範囲，時間範囲が定義域の中にあるか，評価する。
		書式一貫性	全数検査	論理検査プログラム（XMLパーサ等）によって，データ集合のファイル仕様がXMLの文法に適合しているか，評価する。
		位相一貫性	全数検査	論理検査プログラムによって，データ集合の地物とその境界の関係の一貫性が保たれているか，評価する。
	位置正確度	絶対正確度又は外部正確度	抜取検査	データ集合の位置座標を，真値とみなす現地の点検測量結果と比較し，評価する。 評価対象は，データ作成延長の2%とし，単純無作為抽出法により決定する。ただし，最低0.25kmを対象とする。 既成図数値化のみの場合は，真値とみなす情報源は，既成図とする。 ○評価に使用する機器 　評価に使用する機器は，ランクごとに真値とみなすに妥当な精度を有する機器とする。
		相対正確度又は内部正確度	―――	―――
		グリッドデータ位置正確度	―――	―――
	時間正確度	時間測定正確度	抜取検査	データ集合の時間属性を，真値とみなす資料と比較し，評価する。 評価対象は，データ作成期間（時間範囲）の2%とし，単位時間で区切り，単純無作為抽出法により決定する。ただし，最低3年間を対象とする。
		時間一貫性	全数検査	論理検査プログラムによって，データ集合の時間属性の一貫性を評価する。
		時間妥当性	―――	―――
	主題正確度	分類の正しさ	抜取検査	地物の分類（種別）を，真値とみなす現地又は資料と比較し，分類の正しさを評価する。 評価対象は，データ作成延長の2%とし，単純無作為抽出法により決定する。ただし，最低0.25kmを対象とする。
		非定量的属性の正しさ	抜取検査	データ集合の地物の当該属性を，真値とみなす資料又は現地と比較し，正確性を評価する。 評価対象は，データ作成延長の2%とし，単純無作為抽出法により決定する。ただし，最低0.25kmを対象とする。
		定量的属性正確度	抜取検査	データ集合の地物の当該属性を，真値とみなす資料又は現地と比較し，正確度を評価する。 評価対象は，データ作成延長の2%とし，単純無作為抽出法により決定する。ただし，最低0.25kmを対象とする。

7　データ製品配布

7.1　配布形式情報

道路基盤地図情報（整備促進版）の配布フォーマットは，XMLとする。

7.2　版

本製品仕様書における符号化仕様の版道路基盤地図情報製品仕様書（案）に示される符号化仕様の「1.2」版とする。

注記　本製品仕様書の符号化仕様は，道路基盤地図情報製品仕様書（案）の符号化仕様と同じ符号化仕様を採用する。ただし，関連は整備対象外であるため，関連及び本製品仕様書で整備対象外とした地物に係るタグは出現しない。

7.3　言語

本製品仕様書に基づくデータ集合で使用する言語は「日本語」とする。

7.4　符号化仕様作成のためのタグ一覧

本製品仕様書に基づく道路基盤地図情報（整備促進版）の符号化仕様のためのタグは，下表の通りとする。

なお，備考欄に示す「対象外」は，当該タグが，本製品仕様書に基づく道路基盤地図情報（整備促進版）の場合は出現しないことを示す。

表　道路基盤地図情報（整備促進版）の符号化仕様作成のためのタグ一覧

パッケージ		クラス		属性／関連			備考
		名称	タグ	種別	名称	タグ	
道路基盤地物		道路基盤地図情報データ集合	RdDataset	関連	object	RdDataset.object	
		道路基盤地物	Feature	属性	データ有効期間	Feature.termOfValidity	
				関連	参照する	Feature.ReferenceDr	対象外
				関連	含む	Feature.containRo	対象外
		道路地物	RoadFeature	属性	管理者	RoadFeature.admin	
				属性	適用構造令	RoadFeature.structurallaw	
				属性	適用示方書	RoadFeature.specifications	
				属性	取得レベル	RoadFeature.level	
				関連	含まれる	RoadFeature.includedCf	対象外
	拡張	路線	Route	属性	路線名	Route.name	対象外
				属性	種別	Route.type	対象外
				属性	級別	Route.class	対象外
				属性	道路種類	Route.roadtype	対象外
				属性	自動車専用道区分	Route.motorway	対象外
				属性	普通小型区分	Route.size	対象外
				属性	期間	Route.period	対象外
				関連	含まれる	Route.containedFr	対象外
道路基本地物		道路基本地物	RdBasicFeature	属性	設置期間	RdBasicFeature.period	
		道路中心線	RdCenterLine	属性	場所	RdCenterLine.line	
		測点	Station	属性	地点	Station.point	
				属性	測点番号	Station.number	
				属性	追加距離	Station.addition	

パッケージ		クラス		属性／関連			備考
		名称	タグ	種別	名称	タグ	
				属性	高さ	Station.altitude	
				属性	横断勾配(左)	Station.slopeUp	
				属性	横断勾配(右)	Station.slopeDown	
		管理区域界	ControlAreaBoundary	属性	場所	ControlAreaBoundary.line	
		距離標	MilePost	属性	地点	MilePost.point	
				属性	路線番号	MilePost.routeNum	
				属性	現旧区分	MilePost.oldAndNew	
				属性	上下区分	MilePost.direction	
				属性	接頭文字	MilePost.initial	
				属性	距離程	MilePost.distance	
				属性	種別	MilePost.type	
				属性	距離標緯度	MilePost.latitude	
				属性	距離標経度	MilePost.longitude	
				属性	距離標標高	MilePost.altitude	
		道路面地物	RdSurface	属性	範囲	RdSurface.area	
				関連	支持する	RdSurface.bearRs	対象外
		車道部	CarriagewayArea				
		車道交差部	Crossing				
		踏切道	RailroadCrossing	属性	鉄道管理者	RailroadCrossing.rradmin	
		軌道敷	StreetRailwayLot	属性	鉄道管理者	StreetRailwayLot.rradmin	
				関連	含まれる	StreetRailwayLot.includedRa	対象外
		島	Island				
		路面電車停留所	StreetcarStop	属性	鉄道管理者	StreetcarStop.rradmin	
				属性	名称	StreetcarStop.name	
		歩道部	BicycleAndPedestrianTruck				
		植栽	PlantingPlants	属性	種別	PlantingPlants.type	
		自転車駐車場	BicycleParking				
		自動車駐車場	CarParking				
		現旧区分コード	OldAndNewCode	※ Enumeration			
		上下区分コード	DirectionCode	※ Enumeration			
		接頭文字コード	InitialCode	※ Enumeration			
		距離標種別コード	MilePostTypeCode	※ Enumeration			
	拡張	公共基準点	ControlPoint	属性	地点	ControlPoint.point	
				属性	名称	ControlPoint.name	
				属性	水平位置の等級	ControlPoint.horizontal	
				属性	鉛直位置の等級	ControlPoint.vertical	
				属性	測量年月日	ControlPoint.surveydate	
				属性	基準点緯度	ControlPoint.latitude	
				属性	基準点経度	ControlPoint.longitude	
				属性	基準点標高	ControlPoint.altitude	
		車線	Roadway	属性	種別	Roadway.type	
		すりつけ区間	TransitionArea	属性	種別	TransitionArea.type	
		中央帯	CenterStrip	属性	種別	CenterStrip.type	
				関連	含まれる	CenterStrip.includedSe	対象外
				関連	含まれる	CenterStrip.includedBl	対象外
		側帯	BorderLine				
		路肩	Shoulder	関連	含まれる	Shoulder.includedBl	対象外
		停車帯	ParkingLane				
		待避所	PassingPlace				
		乗合自動車停車所	Busbay				
		非常駐車帯	EmergencyParking				
		副道	FrontageRd				
		分離帯	Separator				
		交通島	TrafficIsland	属性	種別	TrafficIsland.type	
		自転車歩行車道	BicyclePedestrianTrack				
		歩道	Sidewalk				
		自転車道	BicycleTrack				
		植樹帯	PlantingZone				
		植樹ます	PlantingPot				
道路地物		道路地物集合施設	CollectingFacilities	属性	設置期間	CollectingFacilities.period	対象外

パッケージ		クラス		属性／関連			備考
		名称	タグ	種別	名称	タグ	
集合施設				属性	名称	CollectingFacilities.name	対象外
				属性	種別	CollectingFacilities.type	対象外
				関連	含む	CollectingFacilities.includeRf	対象外
道路関連地物		道路関連地物	RdRelatedFeature	属性	設置期間	RdRelatedFeature.period	
				関連	含む	RdRelatedFeature.includeNs	対象外
				関連	含む	RdRelatedFeature.includeAs	対象外
		路面標示	Marking	属性	形状	Marking.shape	
				属性	種別	Marking.type	
				属性	コード	Marking.code	
		区画線	CompartmentLine	属性	場所	CompartmentLine.line	
		停止線	StopLine	属性	場所	StopLine.line	
		横断歩道	PedestrianCrossing	属性	範囲	PedestrianCrossing.area	
		立体横断施設	GradeSeparation	属性	名称	GradeSeparation.name	
				属性	種別	GradeSeparation.type	
				関連	要素1	GradeSeparation.composeSt	対象外
				関連	要素2	GradeSeparation.composePa	対象外
				関連	要素4	GradeSeparation.composeSpa	対象外
				関連	要素5	GradeSeparation.composeEs	対象外
				関連	要素3	GradeSeparation.composeEl	対象外
				関連	添加する1	GradeSeparation.addHs	対象外
				関連	添加する2	GradeSeparation.addTs	対象外
				関連	支持する	GradeSeparation.bearPi	対象外
		横断歩道橋	PedestrianCrossingBridge	属性	範囲	PedestrianCrossingBridge.area	
		地下横断歩道	UnderpassForCrossWalkers	属性	範囲	UnderpassForCrossWalkers.area	
		建築物	Building	属性	範囲	Building.area	
		橋脚	Pier	属性	範囲	Pier.area	
				関連	支持される	Pier.borneGs	対象外
				関連	支持される	Pier.borneHb	対象外
	拡張	建造物	Construction	属性	名称	Construction.name	
				属性	種別	Construction.type	
		地下出入口	UndergroundEntrance	属性	種別	UndergroundEntrance.type	
		柵・壁	Fence	属性	形状	Fence.shape	
				属性	種別	Fence.type	
				関連	添加する11	Fence.addHs	対象外
		道路反射鏡	ReflectingMirror	属性	地点	ReflectingMirror.point	
				関連	添加される10	ReflectingMirror.addedPo	対象外
				関連	添加される13	ReflectingMirror.addedTs	対象外
				関連	添加する8	ReflectingMirror.addHs	対象外
		道路標識	HighwaySign	属性	地点	HighwaySign.point	
				属性	種別	HighwaySign.type	
				属性	コード	HighwaySign.code	
				関連	添加される11	HighwaySign.addedFe	対象外
				関連	添加される17	HighwaySign.addedHb	対象外
				関連	添加される1	HighwaySign.addedGs	対象外
				関連	添加される7	HighwaySign.addedPo	対象外
				関連	添加される3	HighwaySign.addedTs	対象外
				関連	添加される9	HighwaySign.addedLi	対象外
				関連	添加される8	HighwaySign.addedRm	対象外
		道路情報管理施設	RdInformationFacilities	属性	形状	RdInformationFacilities.shape	
				属性	系統	RdInformationFacilities.system	
				属性	種別	RdInformationFacilities.ty	

パッケージ	クラス		属性／関連			備考
	名称	タグ	種別	名称	タグ	
					pe	
			関連	添加される16	RdInformationFacilities.addedHb	対象外
			関連	添加される14	RdInformationFacilities.addLi	対象外
			関連	添加される5	RdInformationFacilities.addedPo	対象外
			関連	つなぐ	RdInformationFacilities.connectOf	対象外
	気象観測装置	MeteorologicalObservingDevice				
	災害検知器	DisasterSensor	属性	計器	DisasterSensor.tool	
	道路情報板	VariableMessageSign	属性	形式	VariableMessageSign.form	
	計測器	Meter				
	伸縮計	Extensometer				
	変位計	DisplacementMeter				
	土圧計	EarthPressureGage				
	傾斜計	Tilemeter				
	土壌水分計	SoilMoistureMeter				
	光ファイバー	OpticalFiber	属性	場所	OpticalFiber.line	
	視線誘導標	Delineator	属性	形状	Delineator.shape	
			属性	種別	Delineator.type	
			属性	個数	Delineator.number	
	柱	Pole	属性	形状	Pole.shape	
			属性	種別	Pole.type	
			関連	添加する12	Pole.addLi	対象外
			関連	添加する10	Pole.addRm	対象外
			関連	つなぐ	Pole.overheadOf	対象外
			関連	添加する5	Pole.addRi	対象外
			関連	添加する7	Pole.addHs	対象外
			関連	添加する6	Pole.addTs	対象外
	交通信号機	TrafficSignal	属性	地点	TrafficSignal.point	
			属性	種別	TrafficSignal.type	
			関連	添加される18	TrafficSignal.addedHb	対象外
			関連	添加する13	TrafficSignal.addRm	対象外
			関連	添加される6	TrafficSignal.addedPo	対象外
			関連	添加する3	TrafficSignal.addHs	対象外
			関連	添加される4	TrafficSignal.addLi	対象外
			関連	添加される2	TrafficSignal.addedLi	対象外
	照明施設	Lighting	属性	地点	Lighting.point	
			関連	添加される12	Lighting.addedPo	対象外
			関連	添加する14	Lighting.addedRi	対象外
			関連	添加される19	Lighting.addedHb	対象外
			関連	添加する4	Lighting.addTs	対象外
			関連	添加する9	Lighting.addHs	対象外
	階段	Stairs	属性	範囲	Stairs.area	
			関連	構成1	Stairs.composedGs	対象外
	通路	Path	属性	範囲	Path.area	
			関連	構成2	Path.composedGs	対象外
	斜路	SlopePath	属性	範囲	SlopePath.area	
			関連	構成4	SlopePath.composedGs	対象外
	エスカレータ	Escalator	属性	範囲	Escalator.area	
			関連	構成5	Escalator.composedGs	対象外
	エレベータ	Elevator	属性	範囲	Elevator.area	
			関連	構成3	Elevator.composedGs	対象外
	料金徴収施設	TollGate	属性	範囲	TollGate.area	
	融雪施設	SnowMeltingFacilities	属性	形状	SnowMeltingFacilities.shape	
			属性	種別	SnowMeltingFacilities.type	
	道路元標・里程標	Milestone	属性	地点	Milestone.point	
	排水施設	DrainageFacilities	属性	範囲	DrainageFacilities.area	
	集水ます	Gully				

パッケージ	クラス		属性／関連			備考
	名称	タグ	種別	名称	タグ	
	排水溝	Ditch	属性	種別	Ditch.type	
	側溝	Gutter	属性	蓋の有無	Gutter.cover	
	排水管	Pipe	属性	種別	Pipe.type	
	排水ポンプ	Pump				
	収容施設	AccomodationFacilities	属性	形状	AccomodationFacilities.shape	
			関連	設置する2	AccomodationFacilities.setTr	対象外
			関連	設置する1	AccomodationFacilities.setHo	対象外
	地下駐車場	UndergroundParking				
	共同溝	CommonDuct	属性	種別	CommonDuct.type	
	電線共同溝	CcBox				
	CAB	Cab				
	情報BOX	InformationBox	関連	つなぐ	InformationBox.connectDu	対象外
	管路	Duct				
	管理用地上施設	Transformer	属性	範囲	Transformer.area	
			属性	種別	Transformer.type	
			関連	設置される2	Transformer.setAf	対象外
	管理用開口部	Hole	属性	形状	Hole.shape	
			属性	種別	Hole.type	
			属性	直径	Hole.diameter	
			関連	設置される1	Hole.setAf	対象外
	停留所	BusStop	属性	地点	BusStop.point	
	消火栓	Fireplug	属性	地点	Fireplug.point	
	郵便ポスト	Post	属性	地点	Post.point	
	電話ボックス	Booth	属性	地点	Booth.point	
	輸送管	TransportPipe	属性	場所	TransportPipe.line	
			属性	種別	TransportPipe.type	
	軌道	Rail	属性	場所	Rail.line	
			属性	鉄道管理者	Rail.rradmin	
			関連	含む	Rail.includeSr	
道路支持地物	道路支持地物	RdSupportFeature	属性	設置期間	RdSupportFeature.period	
			関連	支持される	RdSupportFeature.borneBs	
	法面	ArtificialSlope	属性	範囲	ArtificialSlope.area	
			属性	切盛種別	ArtificialSlope.cut-embankmentType	
			属性	法面保護工	ArtificialSlope.protection	
			属性	法勾配	ArtificialSlope.grade	
			関連	含まれる	ArtificialSlope.includedRr	対象外
			関連	含まれる	ArtificialSlope.includedSpw	対象外
	斜面対策工	SlopeProtection	属性	形状	SlopeProtection.shape	
			属性	種別	SlopeProtection.type	
			関連	含む	SlopeProtection.includeNs	対象外
			関連	含む	SlopeProtection.includeAs	対象外
	擁壁	RetainingWall	属性	範囲	RetainingWall.area	
			属性	工法	RetainingWall.method	
	橋梁	Bridge	属性	範囲	Bridge.area	
			属性	構造種別	Bridge.type	
			属性	材質種別	Bridge.material	
			属性	名称	Bridge.name	
			関連	支持する	Bridge.bearPi	対象外
			関連	添加する17	Bridge.addHs	対象外
			関連	添加する16	Bridge.addRi	対象外
			関連	添加する18	Bridge.addTs	対象外
			関連	添加する19	Bridge.addLi	対象外
	トンネル	Tunnel	属性	範囲	Tunnel.area	
			属性	坑口種別	Tunnel.entrancetype	
			属性	名称	Tunnel.name	

パッケージ		クラス		属性／関連			備考
		名称	タグ	種別	名称	タグ	
		ボックスカルバート	BoxCulvert	属性	範囲	BoxCulvert.area	
				属性	種別	BoxCulvert.type	
		シェッド	Shed	属性	範囲	Shed.area	
				属性	種別	Shed.type	
		シェルター	Shelter	属性	範囲	Shelter.area	
				属性	種別	Shelter.type	
		切盛種別コード	Cut-embankmentTypeCode	※ Enumeration			
	拡張	空地	OpenSpace	属性	範囲	OpenSpace.area	
				属性	種別	OpenSpace.type	
		自然斜面	NaturalSlope	属性	範囲	NaturalSlope.area	
				関連	含まれる	NaturalSlope.includedRr	対象外
				関連	含まれる	NaturalSlope.includedSpw	対象外
境界線		境界	Boundary	属性	境界線	Boundary.line	
		交点	Node	属性	交点	Node.point	
	拡張	用地界	LandBoundary	属性	種別	LandBoundary.type	
		出入口	Gateway	属性	種別	Gateway.type	
		境界標識	BoundaryMark	属性	地点	BoundaryMark.point	
				属性	管理者	BoundaryMark.admin	
				属性	取得レベル	BoundaryMark.level	
				属性	設置期間	BoundaryMark.period	
管理者		管理者	Administrator	属性	名称	Administrator.name	
		道路管理者	RdAdministrator	関連	隣接する	RdAdministrator.neighborRa	対象外
				関連	兼用する	RdAdministrator.joinedCu	対象外
				関連	占用させる1	RdAdministrator.permitOa	対象外
		兼用相手先	CoUser	関連	兼用させる	CoUser.joinRa	対象外
				関連	占用させる2	CoUser.permitOa	対象外
		占用物件管理者	OccupantAdministrator	関連	占用する1	OccupantAdministrator.permittedRa	対象外
				関連	占用する2	OccupantAdministrator.permittedCu	対象外
道路基盤地図情報参照		データ参照	DataReference	属性	関連データ名称	DataReference.name	対象外
				属性	関連データ参照先	DataReference.address	対象外

7.5 符号化仕様

本製品仕様書に基づく道路基盤地図情報（整備促進版）の符号化仕様は，下記Webサイトよりダウンロードが可能な XMLSchema（文書型定義） に従うものとする。

■ XMLSchemaのダウンロードサイト ： 道路工事完成図等作成支援サイト
（http://www.nilim-cdrw.jp/）

7.6 ファイル単位

ファイル単位は，管理者別に路線単位とする。

8 メタデータ

道路基盤地図情報(整備促進版)のメタデータは，道路基盤地図情報製品仕様書（案）に従い，JMP2.0 (Japan Metadata Profile 2.0) を採用する。